

トヨタ純正

SDナビゲーション

トヨタ純正型番

NSCP-W64

取扱書

お買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、
記載された内容にしたがって正しくお使いください。
本書は紛失しないように車の中に保管してください。

本機の操作

1

ナビゲーション

2

オーディオ&
ビジュアル

3

情報

4

周辺監視

5

ETC システム

6

ハンズフリー

7

索引

索引

トヨタ自動車株式会社

安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容」です。
注意	「物的損害の発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意 (警告を含む) しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止 (やってはいけないこと) の内容です。	

MN-001-002T

接続・取り付け

 **警告**

 禁止

本機は、DC12V $\ominus$ アース車専用です24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けけない
交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない
電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

 **警告**

 強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する
取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの $\ominus$ 端子を外す
 $\oplus$ と $\ominus$ 経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。



警告



強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ネジなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



警告



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。



警告



禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

分岐配線をしない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法



警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない

前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけをしながらの後退運転はしない

バックカメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。

警告



禁止

メディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

**画面が映らない、音が出ない、音声
が割れる、歪むなどの異常・故障
状態で使用しない**

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



接触禁止

**雷が鳴り出したら、アンテナコード
や本機に触れない**

落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

実際の交通規制に従って走行する

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があります、交通事故の原因となります。

**運転者がテレビを見るときは、必ず
停車してパーキングブレーキを
かける**

テレビは、安全のため走行中は表示されません。

警告



禁止

本機は車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

アンプの放熱部に手を触れない

やけどの原因となることがあります。



強制

**音量は、車外の音が聞こえる程度
で使用する**

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

注意



指のケガに
注意

**モニターの収納や角度調整時に手
や指を挟まれないように注意する**

ケガの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

**万一異常が起きた場合は、直ちに
使用を中止し、必ず販売店かサー
ビス相談窓口にご相談する**

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

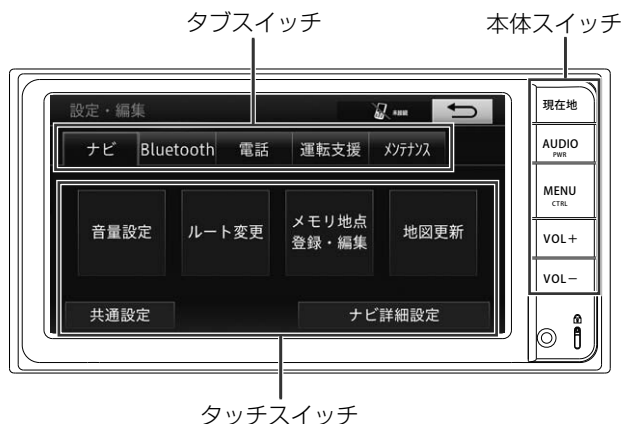
本書の表記のしかた

表記	意味
	インフォメーション 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
【目的地】	画面のスイッチ名称を表示しています（タッチスイッチ）。 例：【目的地】にタッチする
MENU	本機（画面外）のスイッチ名称を表示しています（本体スイッチ）。 例：MENU を押す
ナビ	画面のタブの名称を表示しています（タブスイッチ）。 例：ナビにタッチする
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→「4. 場所を探す」(P.68)
長く押す／ 長くタッチする	「ピッ」と音がするまで押す（タッチする）ことを示します。
押し続ける／ タッチし続ける	押ししている（タッチしている）間だけ動作していることを示します。



インフォメーション

- ・本書では、SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、および SDXC カードを総称して「SD カード」と表記しています。
- ・本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- ・実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- ・本書に記載している製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。



お客様へのご注意

- 緊急施設（病院、消防署、警察署など）の検索やルート案内については、各施設に直接ご確認ください。
- 本機は、パーキングブレーキの ON/OFF を検知して、走行中にテレビの映像を見ることができないようになっていきます。
- ナビゲーションの操作やディスクを出し入れするときは、車を安全な場所に停車させ、車のセレクトレバーを N（ニュートラル）か P（パーキング）位置にし、パーキングブレーキをかけてから行ってください。
- 本機のモニター部が開く際にカップホルダーに入れたジュースなどの容器が干渉する場合があります。
- スマートエントリーが装着されている車では、スマートキーを本機に近づけると作動しなくなる場合がありますので、十分に注意してください。
- 本機を別のお車に乗せ替えた場合、もしくはトヨタ販売店以外の場所でお車に取り付けた場合、必ず販売店で設定等の確認を行ってください。

本機の操作について

本機は、タッチパネルと本体スイッチおよびステアリングスイッチ（装備車のみ）で操作します。

3D ハイブリッドセンサーの自動学習について

本機は、走行を重ねるごとに、3D ハイブリッドセンサーの自動学習が進み、測位の精度が高まっていきます。

車のバッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンをかけていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。



インフォメーション

- 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

バッテリー端子を外した場合の再設定について

整備などでバッテリー端子を外した場合、各機能の設定が出荷状態に戻っている場合がありますので、再度設定してください。その他、お客様自身が設定された機能がございましたら、各ページを参照して再度設定をしてください。

SD メモリーカードについて

- 本機は、SD カード、SDHC カード、および SDXC カードに対応しています。すべての SD カードの動作を保証するものではありません。
- 本機で動作確認されているメモリーカードは以下のとおりです。
 - ・ SD カード：2 GB まで
 - ・ SDHC カード：32 GB まで
 - ・ SDXC カード：256 GB まで
- SD カードの高速インターフェース仕様である UHS (Ultra High Speed) には対応しておりません。
本機で使用する場合は、UHS 対応の SD カードにおいても、HS (High Speed) モードで動作します。

- SD カードは寿命があります。普通にも使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。

- お持ちのパソコンで認識している SD カードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、SD カードの不具合によっては、専用のフォーマットツールでフォーマットする事により認識する場合があります。また、パソコンの標準機能でフォーマットをすると SD 非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しが出来ないなどの不具合が発生することがありますので、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。

ただし、フォーマットした場合は、SD カードに記録されたデータが全て消失します。フォーマットの際は、必ず SD カードデータのバックアップを作成してから行ってください。

SD カードのフォーマットソフトウェアは、SD アソシエーションの以下ホームページより入手できます。

<https://www.sdcard.org/jp/>

注意

- SD カードへのアクセス中は、SD カードを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。
- フォーマット作業による SD カードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により、SD カードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。フォーマットソフトの説明書などをよくお読みになり、あくまで、お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業は実行してください。

地図 SD カードについて

本文中では、地図 SD カードを、便宜上「地図 SD」と表記しています。

注意

- 地図 SD には、地図データや本機を動作させるためのプログラムおよび各種データベースなどが収録されています。パソコンに接続してもファイルは見られません。パソコンでデータを書き込んだり、フォーマットツールなどでフォーマットしないでください。本機が起動しなくなります。

液晶画面について

液晶画面は、構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせてコントラスト、明るさ、および黒の濃さをお好みに応じて調整してください。(→P.26)

お客様の登録されたデータについて

- 本機の修理において、お客様が登録したデータの保証については、ご容赦ください。
- ナビゲーションに登録された各種機能設定などの内容は、事故や故障・修理その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権

本機に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などを行うことはできません。

セキュリティ機能について

本機は、パスワードによるセキュリティ機能（盗難抑止機能）を内蔵しています。出荷時はセキュリティ機能は動作しておりません。必要に応じてセキュリティ機能を設定してください。→「**セキュリティ設定をする**」(P.138)

その他

- 製品の性能改善等を目的として、本機には動作履歴情報（測位結果など）を記録する機能があります。動作履歴情報にお客様の個人情報を含まれません。また、この情報は当社指定の拠点および当社指定の業務委託先でのみ解析ができる仕組みになっており、お客様の同意をいただけた場合に限り使用いたします。
- 弊社は、本機がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- 実際の本機の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。

液晶画面の正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。(→ P.275)
- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。

注意

- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

液晶画面について

- 液晶パネルの特性として表示面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合がありますが、故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。
- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。

LED バックライトについて

- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED 保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LED バックライトの寿命は 1 万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LED バックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。液晶画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

注意

- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。画面が損傷する恐れがあります。

ディスクの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- ・下記マークのついたディスクをご使用ください。

CD



注意

- ひび、キズ、そりのあるディスクを使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。
- ディスクを持つときは、記録面（虹色に光っている面）を触らないようにしてください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができない場合があります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。
- ディスクには、市販のラベルなどを貼りつけないでください。ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。また、再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。



インフォメーション

- ・製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。
- ・再生できるディスクの種類やファイル形式などについては→「再生できるディスクの種類」(P.194)をご覧ください。

お手入れについて

- ・ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。

注意

- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などを使用しないでください。

保管上のご注意

注意

- ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところに、保管しないでください。
- ディスクが反らないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

- ・走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。
- ・低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- ・高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

SD カードの正しい使いかた

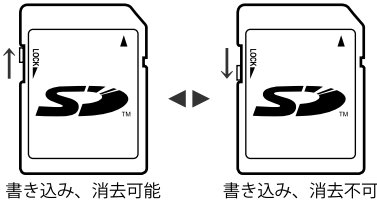
取り扱い上のご注意

注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 曲げたり、衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。故障の原因になります。
- 濡れた手で触らないでください。故障の原因になります。
- 端子部を金属類や手で触らないでください。故障の原因になります。

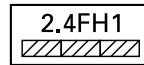
データの保護について

- バックアップされていない大切なデータなどが保存されているときは、ライトプロテクト（書き込み防止）スイッチをスライドして LOCK してください。なお、本機からデータを書き出す場合は LOCK しないでください。



電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
 - * 分解 / 改造すること。
 - * 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声かとぎれたり聞きとりにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
 - * 無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声かとぎれたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
 - * その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声かとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
 - * 火災報知機・ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
 - * 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - * マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - * 自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
 - * 自動制御機器・その他、Bluetooth[®] 対応機器や VICS（道路交通網システム）
 - * アマチュア無線局など



2.4 FH 1
① ② ③

- ① 「2.4」 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- ② 「FH」 変調方式を表します。
- ③ 「1」 想定される干渉距離（約 10 m）を表します。

本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、販売店にお問い合わせください。

安全上のご注意.....	2	2. 基本操作.....	24
本書の見かた	5	1. タッチパネルと操作スイッチ	24
本書の表記のしかた.....	5	タッチパネルで操作する.....	24
お読みください.....	6	本体スイッチで操作する.....	24
お客様へのご注意	6	画面の切り替えかた.....	24
本機の操作について.....	6	2. 画面の調整	26
3D ハイブリッドセンサーの自動学習について.....	6	画面モニターの角度を調整する	26
車のバッテリー上がりを防ぐために	6	画質を調整する	26
バッテリー端子を外した場合の再設定について.....	6	3. リスト画面の操作.....	28
SD メモリーカードについて.....	7	基本的なリストの操作.....	28
地図 SD カードについて.....	7	50 音リストの操作	28
液晶画面について	7	リスト選択の操作	28
お客様の登録されたデータについて	8	表示されない文字の表示操作	29
著作権.....	8	4. ディスクの出し入れ.....	30
セキュリティ機能について.....	8	ディスクの入れかた.....	30
その他.....	8	ディスクの取り出しかた.....	31
取り扱い上のご注意.....	9	5. SD カードの出し入れ.....	32
液晶画面の正しい使いかた.....	9	SD カードの入れかた	32
ディスクの正しい使いかた.....	10	SD カードの取り出しかた.....	33
SD カードの正しい使いかた.....	10	6. 文字の入力操作	34
電波に関するご注意.....	11	文字の入力操作の流れ.....	34
		文字を入力する	34
		無変換、変換を行う.....	36
		文字入力を終了する.....	36
		かな漢字変換できる記号.....	37
1. 本機の実操作		3. はじめに設定しておくこと.....	39
1. 各部の名称とはたらき.....	20	1. QUICK SETUP.....	39
1. ナビゲーション本体		QUICK SETUP を行う	39
(画面モニターを閉じた状態).....	20	QUICK SETUP を開始する	39
2. ナビゲーション本体		2. テレビを見るための準備.....	43
(画面モニターを開いた状態).....	21	3. 案内言語を日本語以外に設定	45
3. ステアリングスイッチ		言語の設定操作	45
(装備車のみ).....	22	4. 本機の設定.....	46
4. 現在地画面のスイッチ.....	23	1. リセットまたは初期化について.....	46
		本体リセットについて.....	46
		個人情報の初期化について	46

2. ナビゲーション

1. ナビゲーションの基本操作 50

1. メニューの操作	50
ナビメニューの操作	50
2. 地図画面の操作	54
現在地画面を表示する	54
地図を動かす（スクロール）	55
地図の縮尺を変える	56
地図の表示方法を変える	57
地図の向きを変える	58
地図色切り替えタイミング設定	59
地図表示カスタマイズ	59
施設記号の表示設定をする	60
近くの施設を検索する	61
座標（緯度経度）を表示する	62
走行軌跡を表示する	62
セーフティインフォメーション	63
エコドライブインフォメーションの設定	63
走行中表示される画面について	64
ハイウェイモードについて	65
3. 自宅へ帰る	67
自宅を登録する	67
自宅までルート探索する	67
4. 場所を探す	68
地図で探す	68
目的地で探す	68
名称で探す	69
住所で探す	70
施設で探す	70
電話番号で探す	71
メモリ地点で探す	72
ジャンルで探す	72
マップコードで探す	73
特別メモリ地点で探す	74
目的地の検索履歴で探す	74
検索結果画面の操作	74

5. 詳細情報を見る	76
目的地メニューから場所を探した場合	76
地図上のマークにカーソルを合わせた場合	77

2. ルートの操作 78

1. ルートを探索する	78
ルート案内開始画面の見かた	79
ルート情報を表示する	79
他のルートを選ぶ	80
デモ走行で確認する	81
ルート探索機能について	81
2. ルート誘導・案内	83
ルート案内中の現在地画面	83
音声による誘導・案内	86
3. ルート案内中の操作と機能	88
ルートから外れたときに自動的にルートを 再探索する	88
ルートの再探索をする	88
状況に応じて新しいルートを提案する	89
ルート上の交通情報を案内させる	89
ターンリストの表示	90
4. ルートを変更する	91
目的地を追加する	91
目的地を消去する	92
目的地への順番を並べ替える	93
探索条件を変更する	93
乗降 IC（出口 IC または入口 IC）を指定する	94

3. 登録地の操作	95
1. 場所を登録する	95
場所を登録する	95
2. 登録内容を修正・消去する	99
メモリ地点の登録内容を修正する	99
特別メモリ地点の登録内容を修正する	100
自宅の登録内容を修正する	101
メモリ地点を消去する	101
特別メモリ地点を消去する	102
自宅を消去する	103
登録データを移行する	103
4. その他の操作	106
1. その他のデータを消去する	106
目的地の検索履歴を消去する	106
ルートの学習内容を消去する	107
走行軌跡を消去する	107
2. FM-VICS 情報を利用する	108
VICS 情報とは	108
VICS・交通情報を表示する	109
地図上で VICS 情報を見る	110
ルート上の交通情報を案内させる	111
VICS の文字・図形情報を見る	112
放送局を選ぶ	112
3. 車両メンテナンスを利用する ...	114
メンテナンス項目を設定する	115
販売店の設定をする	116
販売店の情報を修正・入力する	116
4. エコ情報メニューを使う	117
燃費設定をする	117
エコ運転評価について	117
燃費履歴について	119
5. スマートフォン連携機能を使う	121
スマートフォンアプリをダウンロードする	122
ID 発行・ログイン	122
5. ナビゲーションの設定	123
1. ナビ詳細設定をする	123
地図表示設定	124
案内表示設定	125
音声設定	126
ルート系設定	127
その他	128
2. Bluetooth 設定をする	129
Bluetooth 機器使用上のご注意	129
Bluetooth 機器を初期登録する	129
Bluetooth 機器を切り替える	131
Bluetooth 機器を削除する	132
車載器の Bluetooth 設定を変更する	132
3. ナビゲーションの音量を設定する	134
音量設定をする	134
4. 車両情報を設定する	135
5. その他の設定をする	137
自車位置のずれを修正する	137
走行中の道路を切り替える	137
セキュリティ設定をする	138
安全・快適走行の設定をする	141
タッチしたときの応答音の設定をする	141
テーマカラーを変更する	141
ショートカットキーの設定をする	142
設定を初期状態に戻す	143
6. 知っておいていただきたいこと	144
1. 故障とお考えになる前に	144
共通項目	144
ナビゲーション	145
2. ナビゲーションのしくみ	147
現在地がわかるしくみ	147
測位の精度を高めるためのしくみ	148
誤差について	149
3. VICS 情報有料放送サービス契約約款	151

4. その他の情報	153
検索におけるデータベースについて	153
ルートに関する注意事項	153
VICS 情報に関する注意事項	155
市街図収録エリア	155
阪神高速道路株式会社からのご連絡	157
収録データベースについて	157

3. オーディオ&ビジュアル

1. はじめに	162
1. オーディオの基本操作	162
AV ソース画面を表示する	162
AV ソースを切り替える	162
AV ソースを OFF にする	163
オーディオの音量を調整する	163
緊急警報放送 (EWS) の受信について	164
本機で再生可能なメディアとファイルの種類	164

2. ラジオを聞く

1. ラジオの操作	165
ラジオの放送を受信する	165
プリセットの種類を選ぶ	165
放送局を手動で登録する	165
放送局の自動登録	166
交通情報を受信する	166

3. テレビ (ワンセグ放送) を見る

1. テレビの操作	167
テレビ (ワンセグ放送) を受信する	167
放送局を手動で登録する	168
サービスを切り替える	169
番組表を表示する	169
番組内容を表示する	169
放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)	170

2. ワンセグの機能設定をする	171
プリセットの種類を切り替える	171
オート放送局サーチ設定	171
各種設定を切り替える	172

4. CD プレーヤーの操作

1. 音楽 CD を聞く	174
再生する	174
リストから選んで再生する	175
リピート再生	175
ランダム再生	175
2. CD-R/RW (WMA/MP3) を聞く	176
再生する	176
リストから選んで再生する	176
リピート再生	177
ランダム再生	177

5. SD カードの操作

1. SD の操作のしかた	178
再生する	178
リストから選んで再生する	179
リピート再生	180
ランダム再生	180

6. Bluetooth Audio の操作

1. Bluetooth Audio の操作のしかた	181
Bluetooth Audio 機器の登録	181
再生する	181
リストから選んで再生する	182
リピート再生	183
ランダム再生	183
2. Bluetooth Audio 機器の 接続について	184
一時的に接続が切断された場合	184
Bluetooth Audio 機器が自動的に 接続されない場合	184

7. AUX の操作..... 185

1. AUX を使う 185
 - 外部機器の音声を聞く 185

8. オーディオの設定 186

1. オーディオの設定をする 186
 - イコライザー設定 186
 - フェーダー/バランス設定 188
 - ラウドネス設定 188
 - ソースレベルアジャスター設定 189
 - ASL 設定 189

9. 知っておいていただきたいこと 190

1. 故障とお考えになる前に 190
 - 共通項目 190
 - FM/AM 190
 - CD/CD-R/RW (WMA/MP3) 191
 - テレビ 192
 - SD カード 193
 - AUX 193
2. ディスクについて 194
 - 再生できるディスクの種類 194
 - ディスクの構成について 194
3. WMA/MP3/AAC/WAV
ファイルについて 195
 - フォルダーと WMA/MP3/AAC/WAV
ファイルについて 195
 - WMA とは? 196
 - MP3 とは? 196
 - AAC とは? 197
 - WAV とは? 197

4. 情報**1. 情報について 200**

1. 交通ナビ関連情報について 200
 - JAF または道路交通情報センターの情報を
表示する 200
 - メモリ地点の電話番号を表示する 200
 - 目的地の情報を表示する 200
2. その他の情報の利用 201
 - シリアルナンバーを確認する 201
 - データバージョンを確認する 201

5. 周辺監視**1. バックガイドモニターを使う 204**

1. バックガイドモニターについて 204
 - バックガイドモニターについての注意点
..... 204
 - カメラについての注意 205
2. ガイド方法の選びかた 206
 - 並列駐車（車庫入れ）をするとき 206
 - 縦列駐車をするとき 206
3. バックガイドモニター画面への
切り替え 207
 - 後方の映像を映す 207
 - 画面に映る範囲について 207
4. 並列駐車する
（進路表示モード） 209
 - 画面の見かた 209
 - 並列駐車を開始する 210
5. 並列駐車する
（駐車ガイド線表示モード） 212
 - 画面の見かた 212
 - 並列駐車を開始する 213

6. 縦列駐車する (縦列ガイドモード)	215
車の動きと画面・音声案内の流れ	215
縦列駐車を開始する	217
7. 縦列駐車する (駐車ガイド線表示モード)	226
画面の見かた	226
縦列駐車を開始する	227
8. バックガイドモニターの注意点	230
画面と実際の路面との誤差	230
立体物が近くにあるときの注意点	231
9. バックガイドモニターの設定 ...	232
縦列ガイドの音量の設定	232
はじめのcottの表示	232
駐車ガイド線の表示	233
システム初期化中表示が出たときは	233
バッテリーの脱着、または本機を 載せ換えたときは	234
2. バックモニターを使う	235
1. バックモニターについて	235
バックモニターについての注意点	235
カメラについての注意	235
2. バックモニターの映像	237
後方の映像を映す	237
ガイド線の表示	237
画面の見かたについて	238
3. バックモニターの注意点	240
画面と実際の路面との誤差	240
3. 知っておいていただきたいこと	241
1. 故障とお考えになる前に	241
バックガイドモニター	241

6. ETC システム

1. ETC の操作	244
1. ETC 情報を利用する	244
ETC 利用履歴を表示する	245
ETC 登録情報を表示する	245
ETC 設定を行う	245
2. 故障とお考えになる前に	246

7. ハンズフリー

1. ハンズフリーについて	248
1. ハンズフリー通話をする	248
ハンズフリー通話をするには	248
ハンズフリー通話でエコー（残響音）が 気になるときは	248
2. ハンズフリーの操作	249
1. 電話の受けかた	249
2. 電話のかけかた	250
電話番号を入力して電話をかける	250
電話帳から電話をかける	251
発着信履歴から電話をかける	251
ワンタッチダイヤルから電話をかける	252
交通ナビから電話をかける	252
地図に登録された電話番号にかけると	254
通話中メニューの操作	254

3. ハンズフリーの設定を変更する	255
1. ハンズフリーの詳細設定を変更する	255
着信割り込み表示画面の設定	255
電話帳／履歴転送確認表示の設定	255
音の設定	256
2. 携帯電話情報を設定する	257
電話帳データを転送する	257
電話帳データを削除する	259
ワンタッチダイヤルを登録する	259
ワンタッチダイヤルを削除する	260
発信履歴または着信履歴を削除する	261
電話帳／履歴自動転送を設定する	262
4. 知っておいていただきたいこと	263
1. 故障とお考えになる前に	263
メニュー索引	266
目的地メニュー	266
情報メニュー	266
電話メニュー	266
設定・編集メニュー	267
用語索引	268
五十音順	268
数字・アルファベット順	272
アフターサービスについて	274
仕様	275
商標・著作権など	276
記号・マーク一覧	283

本機 の 操作

1. 各部の名称とはたらき

1. ナビゲーション本体
(画面モニターを閉じた状態)..... 20
2. ナビゲーション本体
(画面モニターを開いた状態)..... 21
3. ステアリングスイッチ
(装備車のみ)..... 22
4. 現在地画面のスイッチ..... 23

2. 基本操作

1. タッチパネルと操作スイッチ 24
 - タッチパネルで操作する 24
 - 本体スイッチで操作する 24
 - 画面の切り替えかた 24
2. 画面の調整 26
 - 画面モニターの角度を調整する 26
 - 画質を調整する 26
3. リスト画面の操作 28
 - 基本的なリストの操作 28
 - 50 音リストの操作 28
 - リスト選択の操作 28
 - 表示されない文字の表示操作 29
4. ディスクの出し入れ 30
 - ディスクの入れかた 30
 - ディスクの取り出しかた 31
5. SD カードの出し入れ 32
 - SD カードの入れかた 32
 - SD カードの取り出しかた 33
6. 文字の入力操作 34
 - 文字の入力操作の流れ 34
 - 文字を入力する 34
 - 無変換、変換を行う 36
 - 文字入力を終了する 36
 - かな漢字変換できる記号 37

3. はじめに設定しておくこと

1. QUICK SETUP 39
 - QUICK SETUP を行う 39
 - QUICK SETUP を開始する 39
2. テレビを見るための準備 43
3. 案内言語を日本語以外に設定 45
 - 言語の設定操作 45

4. 本機の設定

1. リセットまたは初期化について 46
 - 本体リセットについて 46
 - 個人情報の初期化について 46

1. ナビゲーション本体（画面モニターを閉じた状態）

MENUスイッチ（→P.50）

ナビメニューを表示します。

長く押すと、ショートカットコントロール画面（→P.142）を表示します。

AUDIOスイッチ（→P.24, 162）

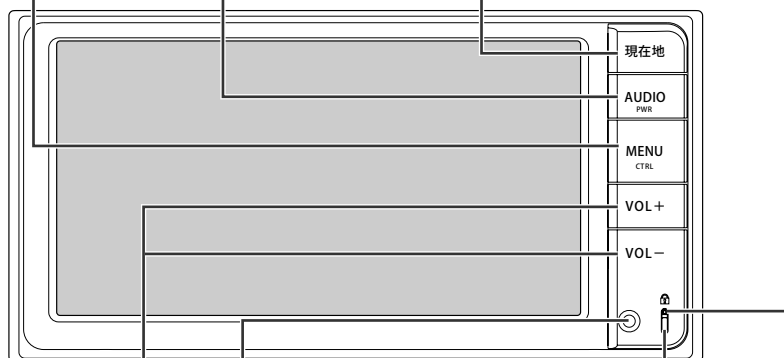
ナビ画面やメニュー画面の場合は、AV ソース画面に切り替えます。

長く押すと、AV ソースを OFF にすることができます。AV ソース OFF 時に長く押すと AV ソースを OFF にする前の AV ソース画面に戻ります。5 秒以上押し続けて手を離すと、画面モニターが開きディスクが強制的に押し出されます。

現在地スイッチ（→P.23, 24, 54）

ナビ画面（現在地以外を表示中）の場合は、現在地を表示します。

AV ソース画面やメニュー画面の場合は、現在地画面に切り替えます。



ハンズフリー用マイク

ハンズフリー通話時の音声を集音します。

AUX 入力端子（→P.185）

ポータブルプレーヤーなどの外部機器を接続します。
φ 3.5 mm ステレオミニプラグを挿入します。

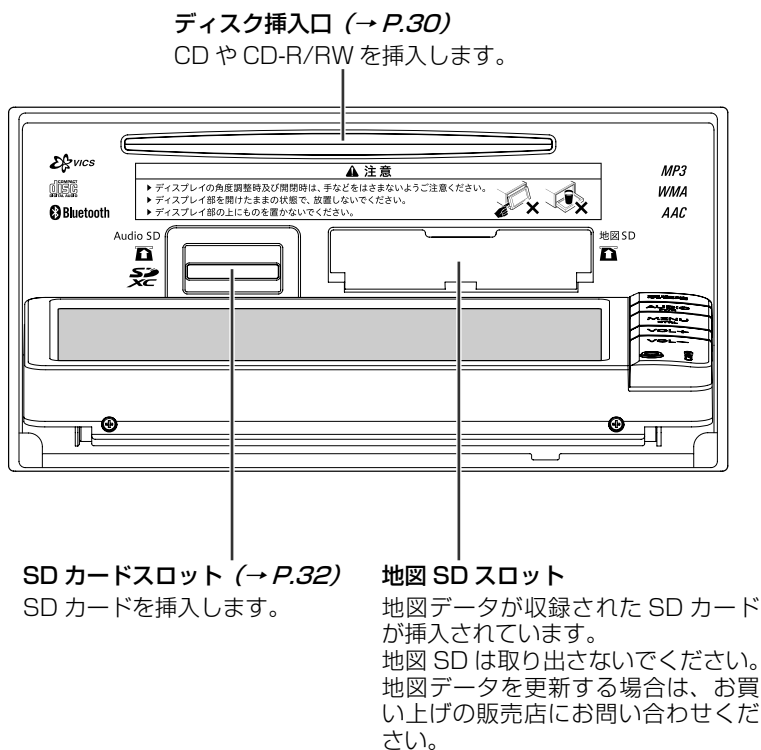
音量調整スイッチ（→P.163）

オーディオの音量調整を行います。

セキュリティインジケーター

セキュリティ機能が動作している場合は、点滅表示させることができます。（→P.138）

2. ナビゲーション本体（画面モニターを開いた状態）



3. ステアリングスイッチ（装備車のみ）

MODE スイッチ	ラジオや CD、テレビなどの AV ソースを切り替えます。AM、FM、交通情報、TV、または AUX ソースで長く押した場合、MUTE の ON/OFF を切り替えます。DISC、Bluetooth、または SD ソースで長く押した場合、PLAY/PAUSE を切り替えます。
DOWN / UP	トラックやファイルのダウン／アップや早戻し／早送りなどのオーディオ操作を行います。
VOL DOWN / VOL UP	オーディオの音量調整を行います。
OFF HOOK	 (発信マーク)が表示されている場合、電話をかけることができます。電話が着信中の場合、通話が可能です。 電話が登録されていない場合、または電話が登録されているが Bluetooth に接続していない場合、登録または接続を促すメッセージが表示されます。
ON HOOK	電話が発信中または通話中の場合、電話を切ります。電話が着信中の場合、着信を拒否します。

4. 現在地画面のスイッチ

座標（緯度経度）スイッチ（→P.62）

タッチすると、現在地の座標情報を表示します。

再探索スイッチ（→P.88）

タッチすると、ルート再探索の画面を表示します。ルート案内中の場合だけ表示されます。

地点登録スイッチ（→P.95）

タッチすると、現在地をメモリ地点に登録します。

広域スイッチ（→P.56）

タッチすると、地図の表示を広域にできます。

表示変更スイッチ（→P.57, 60）

タッチすると、地図表示などの表示変更画面を表示します。

目的地スイッチ（→P.50）

タッチすると、目的地メニューの画面を表示します。

On/Off スイッチ

タッチすると、画面下のタッチスイッチの表示／非表示を切り替えられます。

詳細スイッチ（→P.56）

タッチすると、地図の表示を詳細または市街図にできます。



インフォメーション

- 現在地画面で**現在地**を押すと、画面上部に現在地付近の地名と座標スイッチが表示されます。

1. タッチパネルと操作スイッチ

本機の基本操作について説明します。

タッチパネルで操作する

画面上に表示されるマークや項目（操作スイッチ）に直接指で触れる（タッチする）ことで操作できます。



操作例：

【初期状態】	設定された機能を工場出荷時の状態に戻します。
	現在開いているメニューなどの画面を 1 つ前の画面に戻します。

スライド操作

画面をタッチしたまま指を上下左右にスライドするだけでナビゲーションやオーディオの一部機能を操作することができます。ナビ詳細設定の**【地図スライド操作】**で、地図のスライド操作の設定(する／しない)ができます。(→ P.124)

本体スイッチで操作する

本機の本体スイッチを使って、画面の切り替え、メニュー画面の表示、オーディオの操作などを行うことができます。(→ P.20)



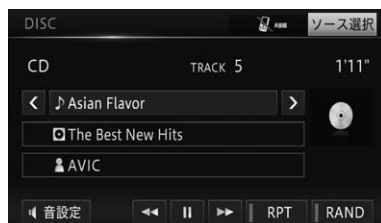
画面の切り替えかた

ナビゲーション画面と AV ソース画面を切り替える

ナビゲーション画面(地図画面)と AV ソース画面(オーディオ/テレビ画面)をワントouchで切り替えることができます。

1 ナビゲーション画面で **AUDIO**を押す

AV ソース画面が表示されます。
(AUDIO OFF のときはソース選択画面)



1 AV ソース画面で **現在地**を押す

ナビゲーション画面が表示されます。





インフォメーション

- AV ソース画面を表示している状態でも、VICS 緊急情報の自動表示などが割り込み表示される場合があります。(→P.111)
- AV ソース画面への交差点拡大図などの割り込み表示を設定(する/しない)できます。(→P.125)
- メニュー画面から、**AUDIO**または**現在地**を押しても各画面に切り替えられます。

画面を一時的に消す

夜間、画面がまぶしい場合など、一時的に画面を消すことができます。

1 **MENU**を押す

2 **【画質・消】**にタッチする



3 **【画面消】**にタッチする



画面が一時的に消えます。



インフォメーション

- **現在地**を押すと、画面を消している状態を解除して現在地画面を表示します。**AUDIO**を押すと、画面を消している状態を解除して AV ソース画面を表示します。
- 画面を消している状態では、ナビゲーションの音声案内も出力されません。オーディオの音声は出力されます。音量の調整は、本体スイッチの音量調整スイッチ(→P.20)で、画面を消している状態のまま調整できます。
- **MENU**を長く押すことで、画面を消している状態でもショートカットコントロール画面(→P.142)を表示できます。
- バックガイドモニター(→P.204)を使用中は、一時的に画面を表示します。カメラ機能の使用を終了した時点で、自動的に画面を消している状態に戻ります。
- 画面を消している状態は、ACC を OFF にしても継続されます。

2. 画面の調整

画面モニターの角度を調整する

画面モニターを見やすい角度に調整して記憶させることができます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **[TILT・EJECT]** にタッチする
(→ P.50)
- 3 **[+ TILT]** または **[- TILT]** にタッチする



[+ TILT]	画面モニターが一段階ずつ開きます。
[- TILT]	画面モニターが一段階ずつ閉じます。

注意

- 画面モニターの角度調整を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- 画面モニターの角度調整をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから調整してください。



インフォメーション

- 調整した画面モニターの角度は本機に記憶され、電源を OFF/ON (エンジンスイッチ OFF/ON) しても自動的に調整した角度になります。別の角度にしたい場合は、再度調整してください。

画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「コントラスト」、「明るさ」、「色合い」、「色の濃さ」、「黒の濃さ」、「色温度」を調整することができます。



インフォメーション

- 「コントラスト」、「明るさ」、「黒の濃さ」の設定は、昼と夜で別々に設定できます。
- 昼と夜の設定の切り替えは、ナビ詳細設定の時刻連動、ライト連動の設定に連動します。(→ P.124)
- 「明るさ」と「色温度」以外の設定内容は、画面の種類ごとに別々に設定できます。
- 「色温度」は、LED バックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示している映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。
- バックガイドモニターの映像表示中も、以下の操作を行うことで画質調整することができます。なお、バックガイドモニター映像の調整は、周囲の安全に十分配慮しながら行ってください。

- 1 調整したい映像の表示画面で、**MENU**を長く押す
- 2 **[画質・消]** にタッチする
(→ P.142)
- 3 **[<]** または **[>]** にタッチして、調整したい項目を選択する



コントラスト（明暗）

【弱】	白黒の差が小さくなる
【強】	白黒の差が大きくなる

明るさ

【暗】	暗くなる
【明】	明るくなる

色合い

■（赤）	赤色を強くする
■（緑）	緑色を強くする

色の濃さ

【淡】	薄くなる
【濃】	濃くなる

黒の濃さ

☐ （白）	薄くなる
■（黒）	濃くなる

色温度

■（赤）	暖色系が強くなる
■（青）	寒色系が強くなる



インフォメーション

- ・「色の濃さ」は、テレビ（ワンセグ放送）またはバックガイドモニター映像を表示している場合のみ、調整することができます。
- ・「色合い」は、バックガイドモニター映像を表示している場合のみ、調整することができます。
- ・【昼画面】が表示されているときにタッチすると、昼夜にかかわらず強制的に昼画面表示に設定されます。（→P.53）
- ・しばらく操作をしない場合、自動的にもとの画面に戻ります。

4 にタッチする

画質・消設定画面からメニュー画面の画質を調整する

メニュー画面の画質は、画質・消設定画面から調整できます。

1 **MENU**を押す2 **【画質・消】** にタッチする
（→ P.50）

画質調整画面が表示されます。

3 **【<】** または **【>】** にタッチして、
調整したい項目を選択する

インフォメーション

- ・【画面消】にタッチすると、画面を一時的に消せます。（→P.25）

4 にタッチする

3. リスト画面の操作

操作中に表示されるリスト画面の共通操作について説明します。

基本的なリストの操作



ページ送り

1画面ずつ移動します。

↑ / ↓ にタッチする。タッチし続けると、連続で移動します。画面上にタッチして、動かしたい方向にスクロールすることもできます。



タブ送り

タブスイッチ付きリストでは、選んだタブのリストに切り替わります。

タブ（例：ナビ）にタッチする。

50音リストの操作



ページ送り

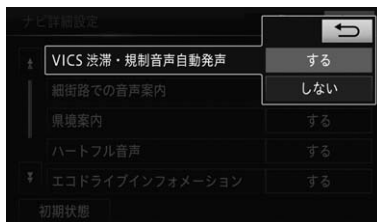
50音順に並んだリストを1画面ずつ表示できます。

↑ / ↓ にタッチする。タッチし続けると、連続で移動します。画面上にタッチして、動かしたい方向にスクロールすることもできます。

行選択または音送り
表示したい行の音を選択できます。

行【**あ**行】～【**わ**行】にタッチする。同じ行をタッチするごとに、その行の音が順次表示されます。
(例：【**か**行】を順次タッチした場合、か→き→く...)

リスト選択の操作



項目設定

同一画面での設定は、ポップアップメニューを表示させて項目を選択します。

リストを選択して、ポップアップメニューの項目を選択する。変更しない場合は、↶ をタッチします。
(例：【**VICS 渋滞・規制音声自動発生**】－【**しない**】または ↶)

表示されない文字の表示操作



文字送り

テキストエリアにすべての文字が表示できない場合、表示されない文字を表示させます。

表示するリストの  にタッチすると、表示されていない文字が表示されます。 にタッチすると、再度先頭部分から表示されます。

4. ディスクの出し入れ

⚠ 注意

- 画面モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

注意

- 画面モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- 画面モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。
- アダプターを装着した 8 cm ディスクは絶対に使用しないでください。
- 安全のため、走行中はディスクの出し入れはしないでください。

ディスクの入れかた

1 **MENU**を押す

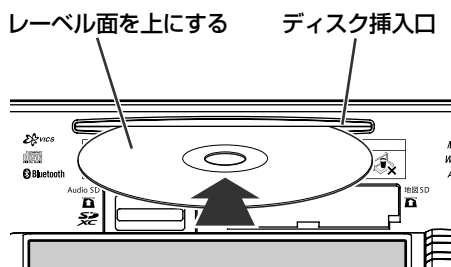
2 **[TILT・EJECT]** にタッチする (→ P.50)

3 **[DISC IN]** にタッチする



▼
画面モニターが開きます。

4 ディスクを差し込む



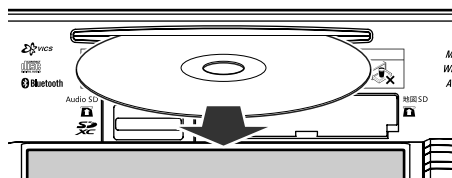
▼
ディスクを途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、画面モニターが閉じます。

ディスクの取り出しかた

- 1 **MENU**を押す
- 2 **[TILT・EJECT]** にタッチする
(→ P.50)
- 3 **[DISC EJECT]** にタッチする



画面モニターが開き、ディスクが自動的に押し出されます。



- 4 **ディスクを取り出し、
[CLOSE] にタッチする**

画面モニターが閉じます。
(どの本体スイッチを押した場合でも画面モニターが閉じます。)

5. SD カードの出し入れ

⚠ 注意

- 画面モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

注意

- 地図 SD は取り出さないでください。地図データを更新する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本機で使用しているときに SD カードのデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。
- 画面モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- 画面モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。
- SD カードの出し入れを無理に行うと、本機や SD カードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- SD カードスロットには、SD カード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。
- 安全のため、走行中は SD カードの出し入れはしないでください。

SD カードの入れかた

1 **[MENU]**を押す

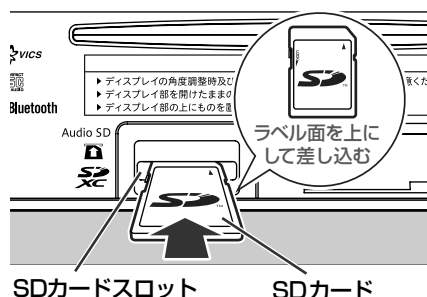
2 **[TILT・EJECT]** にタッチする (→ P.50)

3 **[SD IN]** にタッチする



画面モニターが開きます。

4 “カチッ” と音がするまで SD カードを差し込む



5 **[CLOSE]** にタッチする

画面モニターが閉じます。

注意

- SD カードが完全に挿入されていない状態で **[CLOSE]** にタッチすると、SD カードの正しい挿入を促すメッセージが案内されます。確実に SD カードを挿入してから **[CLOSE]** にタッチしてください。

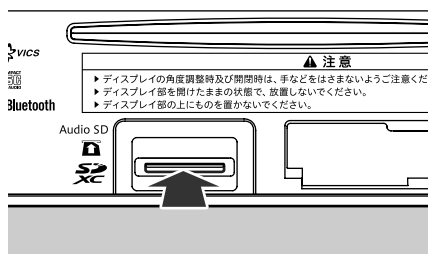
SD カードの取り出しかた

- 1 **[MENU]**を押す
- 2 **[TILT・EJECT]** にタッチする
(→ P.50)
- 3 **[SD EJECT]** にタッチする

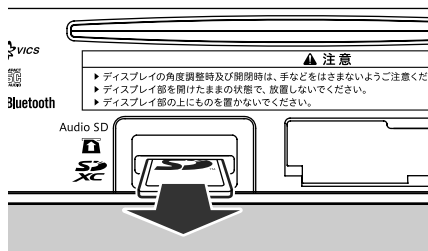


画面モニターが開きます。

- 4 “カチッ” と音がするまで SD カードを押し込んで離す



SD カードが押し出されます。



- 5 SD カードをまっすぐ引き抜き、**[CLOSE]** にタッチする

画面モニターが閉じます。
(どの本体スイッチを押した場合でも画面モニターが閉じます。)

警告

- 取り出した SD カードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことが無いように、保管場所にもご配慮ください。

注意

- SD カードを完全に取り出していない状態で **[CLOSE]** にタッチすると、SD カードの正しい挿入を促すメッセージが案内されます。確実に SD カードを取り出してから **[CLOSE]** にタッチしてください。

6. 文字の入力操作

場所の名前などを登録するときは、文字や数字を入力します。ここでは、メニュー操作中に表示される、文字や数字の入力操作のしかたについて説明します。



インフォメーション

- 英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号が入力できます。
- 項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、名称検索の場合、ひらがな入力以外は選べません。
- 本機は、文字入力変換システムに、株式会社ジャストシステムの「ATOK®」を使用しています。

文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

文字の種類を切り替える → 文字を入力する → 無変換、変換を行う → 文字入力を終了する

文字を入力する

基本操作

1 入力したい文字にタッチする



ひらがなを入力する場合 入力前に【かな】にタッチします。

カタカナを入力する場合 入力前に【カナ】にタッチします。

英数字を入力する場合 入力前に【英数字】にタッチします。

数字や記号を入力する場合 入力前に【数記号】にタッチします。



インフォメーション

- 漢字を入力する場合は、ひらがなを入力してから漢字に変換してください。→「無変換、変換を行う」(P.36)

全角・半角を切り替える

カナ、英数字、および数記号は、全角・半角を切り替えることができます。

1 【全角】または【半角】にタッチする



全角または半角に切り替わります。



インフォメーション

- 半角入力時は【全角】、全角入力時は【半角】が表示され、タッチすることにより全角または半角に切り替わります。

濁点、半濁点を入力する

ひらがなとカタカナの入力方法は同じです。事前にひらがなとカタカナを切り替えてから入力します。

濁点を入力する（例：づ）

1 【づ】 にタッチして、【ゐ】 にタッチする

半濁点を入力する（例：ぱ）

1 【ぱ】 にタッチして、【ぽ】 にタッチする

アルファベットの大文字／小文字を切り替える

アルファベット入力中は、大文字／小文字を切り替えることができます。

1 【大文字】 または 【小文字】 にタッチする

タッチすることにより、大文字と小文字が切り替わります。

カーソル位置を動かす

1 画面左右の【<】 または 【>】 にタッチする

タッチした分だけカーソルの位置を移動することができます。



インフォメーション

- 文字入力中の場合、カーソルは反転中（未確定状態）の文字の範囲内で動かすことができます。
- 検索を行う入力画面の場合は、【<】または【>】でカーソルを移動させることはできません。
- 漢字変換中の場合は、変換する文字の範囲を変更できます。

文字を修正する

1 修正したい文字にカーソルを移動させ、【修正】にタッチする



タッチすることにより、カーソル上の文字が1文字ずつ削除されます。カーソル上に文字がない（カーソルが最後尾にある）場合、カーソル左側の文字が削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。



インフォメーション

- 【修正】に長くタッチすると、文字を連続して削除することができます。

スペースを空ける

- 1 スペースを空けたい文字の右側にカーソルを移動させ、[スペース] にタッチする



タッチした分だけスペースが挿入されます。



文字を挿入する

- 1 文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動させる



カーソルの位置に文字を挿入することができます。



インフォメーション

- カーソルは、文字の選択範囲内で動かすことができます。

無変換、変換を行う

ひらがなをそのまま入力したり、ひらがなを漢字やカタカナなどに変換します。変換は、入力した文字に応じて表示される変換候補から選択（予測変換機能）することができます。

無変換入力をする

- 1 ひらがなで文字を入力し、[無変換] にタッチする



ひらがなで入力されます。

変換入力をする

- 1 ひらがなで文字を入力する
- 2 [変換] にタッチし、変換したい候補にタッチする



インフォメーション

- **↑** または **↓** にタッチすると、候補一覧のページを変更できます。変換したい文字にタッチすると入力できます。
- **[<]** または **[>]** にタッチすると、変換する文字の範囲を変更できます。



変換した文字で入力されます。

文字入力を終了する

- 1 **[完了]** にタッチする

かな漢字変換できる記号

学術記号

読み	記号
いこーる	=
ごうどう	≡
だいなり	>
しょうなり	<
ばつ	×
ふとうごう	≠ < > ≤ ≥ ≪ ≫
ぷらす / たす	+
まいなす / ひく	-
ぷらすまいなす	±
むげん / むげんだい	∞
なぜならば	∴
ゆえに	∴
かける	×
わる	÷

ギリシア文字

読み	記号
あるふぁ / あるふぁー	A α
いーた	H η
いおた	I ι
いぷしろん	E ε
うぷしろん	Y υ
おーむ / おめが	Ω ω
おみくろん	O o
かい / きー	X x
かっぱ	K κ
がんま / がんまー	Γ γ
くしー / ぐざい	Ξ ξ
しーた	Θ θ
じーた	Z ζ
しぐま	Σ σ
たう	T τ
でるた	Δ δ
にゅー	N ν
ばい / びー	Π π
ふあい / ふいー	Φ φ
ぷさい / ぷしー	Ψ ψ
べーた	B β
みゅー	M μ
らむだ	Λ λ
ろー	P ρ

括弧

読み	記号
かっこ	" " ' () [] { } < > <> 「 」 『 』 【 】

記号・マーク

読み	記号
くろぼし	★
くろまる	●
しろぼし	☆
しろまる	○
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
しかく	◇ ◆ □ ■
ずけい	☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ ▲ ▴ ▽ ▼
まる	○ ● ◎
にじゅうまる	◎
ひしがた	◇ ◆
ほし	☆ ★
おす	♂
めす	♀
ゆうびん	〒

単位

読み	記号
えん	¥
おんぐすとろーむ	Å
せっし	℃
せんと	¢
たんい	° ' " °C ¥ \$ ¢ £ %
ど	° °C
どる	\$
ぱーせんと	%
ぱーみる	‰
びょう	”
ふん	′
ぽんど	£

点

読み	記号
だくてん	°
てん	、 , … …
はんだくてん	°
まる	。 .

矢印

読み	記号
やじるし	→ ← ↑ ↓

その他

読み	記号
あすたりすく / あすてりすく	*
あっとまーく	@
あんぱさんど	&
おんぷ	♪
から / ないし	～
こめ / ほし	※
しゃーぷ	#
しゃせん	/ \
せくしょん	§
だがー	†
だぶるだがー	‡
ぶらっと	b

1. QUICK SETUP

本機の基本的な設定を、画面の指示に従ってかんたんに行うことができます。ご購入後、本機をはじめてお使いになるときやセキュリティ設定を行っていない場合は、自動的に QUICK SETUP が起動します。設定した内容は、あとから変更することもできます。

QUICK SETUP を行う

QUICK SETUP で設定できる項目と順序は、以下のとおりです。

セキュリティ設定

ナビゲーションシステムのセキュリティを設定できます。

自宅登録

自宅の登録ができます。

案内音量設定

ナビの案内音量を設定できます。

車両情報設定

長さ、幅、高さ、およびナンバーを設定して、車の有料道路料金区分や駐車制限に反映します。

地図表示カスタマイズ

地図表示色、ルート表示色、または地図に表示される文字サイズを変更できます。

エコ設定

一般道路と高速道路の燃費を設定して、エコルートの計算に反映します。

Bluetooth 設定

本機に接続する Bluetooth 機器を登録できます。

QUICK SETUP を開始する

1 [QUICK SETUP を開始する] にタッチする



インフォメーション

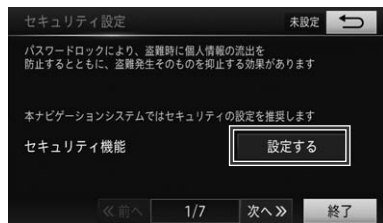
- あとで設定したい場合は、**【次回起動時に設定する】**にタッチしてください。次回起動時も QUICK SETUP が起動します。また、本機の起動時以外から設定を行いたい場合は、**[MENU] - 【設定・編集】 - 【ナビ詳細設定】 - 【その他】 - 【QUICK SETUP】** から設定することもできます。
- **【設定しない】**にタッチすると、QUICK SETUP を行わず、地図画面を表示します。ただし、セキュリティ設定をしていない場合は、**【設定しない】**にタッチできません。
- QUICK SETUP 設定中は、**【次へ】**にタッチすると次の設定へ、**【前へ】**にタッチすると前の設定に移ることができます。
- **【終了】**にタッチすると、その時点までの設定を保存して QUICK SETUP を終了します。
- **【QUICK SETUP を開始する】**にタッチした場合、次回起動時は QUICK SETUP 画面は表示されません。設定の続きは、ナビ詳細設定から操作してください。(→ P.128)

3. はじめに設定しておくこと

1. QUICK SETUP

セキュリティ設定

2 【設定する】にタッチし、セキュリティの設定をする



インフォメーション

- セキュリティの設定にはパスワードの設定が必要です。→「セキュリティ設定をする」(P.138)

3 【次へ】にタッチする

自宅登録

4 【現在地周辺から登録】または【住所から登録】にタッチする



インフォメーション

- 【現在地周辺から登録】にタッチした場合、現在地周辺の地図から選択します。(→P.68)
- 【住所から登録】にタッチした場合、都道府県名から順に選択します。(→P.70)

5 設定後に、【セット】にタッチする



手順 4 の画面に戻ります。

6 【次へ】にタッチする

案内音量設定

7 【小】から【大】の間で選択してタッチする。音声を出力させないときは【消音】にタッチする



【消音】	音声が出力されません（消音）。
【小】	音量が最小となります。
【・】【中】	お好みに合わせて、音量を調節できます。
【大】	音量が最大となります。



インフォメーション

- 消音に設定された場合、SD カード挿入不良などの警告音声も案内されませんので、ご注意ください。
- ETC 音声も連動して設定されます。
- 設定後にアナウンスが流れますので、設定音量を確認してください。

8 [次へ] にタッチする**車両情報設定****9 [全長]、[全幅]、[全高]、および [ナンバー] の各項目にタッチして内容を設定する**


車両情報設定

この車両情報を使用して、
有料道路の料金計算、駐車場検索を行います

全長 480cm

全幅 175cm

全高 170cm

ナンバー 3

前へ 4/7 次へ 終了

[>]	寸法を大きくする、またはナンバープレートの分類番号を選択します。
[<]	寸法を小さくする、またはナンバープレートの分類番号を選択します。

10 [次へ] にタッチする**地図表示カスタマイズ****11 地図色、ルート色、および文字サイズの各タブスイッチにタッチして内容を設定する**


地図表示カスタマイズ

地図色 ルート色 文字サイズ

ストリート ナチュラル

ビジュアル カラフル

フレンドリー

前へ 5/7 次へ 終了

**インフォメーション**

- ・夜画面での各種設定は、車のライトを点灯した状態で行ってください。

12 [次へ] にタッチする**エコ設定****13 [一般道燃費]と[高速道路燃費]にそれぞれタッチして内容を設定する**


エコ設定

高速道路と一般道の燃費を使用して
エコルートの計算を行います

一般道燃費 8.0km/L

高速道路燃費 10.0km/L

前へ 6/7 次へ 終了

[>]	タッチすると燃費の数値が上がります。
[<]	タッチすると燃費の数値が下がります。

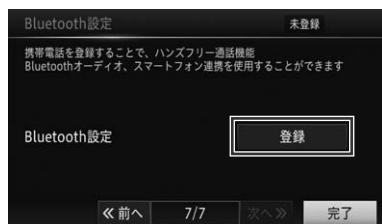
**インフォメーション**

- ・工場出荷時に目安の燃費が入っています。入力する燃費は、お客様が販売店などで確認なさった燃費を入力してください。

14 [次へ] にタッチする

Bluetooth 設定

- 15** **【登録】** にタッチして、
Bluetooth 接続画面に表示される案内にしたがって、携帯電話本体を操作する



接続が完了するとメッセージが表示され、機器の登録が完了します。



インフォメーション

- 中止する場合は **【中止】** にタッチします。
- 接続中の機器がある場合はメッセージが表示されます。切断して登録を続ける場合は **【はい】** にタッチします。
- 詳しくは、→ **「2. Bluetooth 設定をする」** (P.129) をご覧ください。

QUICK SETUP を終了する

- 16** **【完了】** にタッチする

2. テレビを見るための準備

本機をご購入後、はじめてテレビ（ワンセグ放送）をご覧になるときは、受信可能なチャンネルを探して本機に登録する作業（チャンネルスキャン）が必要です。

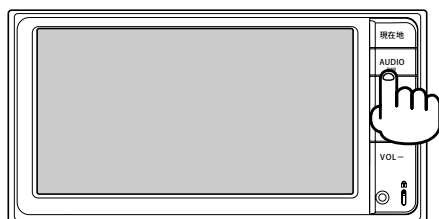
↑ インフォメーション

- ・ テレビに関する詳しい操作方法は、→「3. テレビ（ワンセグ放送）を見る」（P.167）をご覧ください。
- ・ チャンネルスキャンは、テレビの電波を受信しやすい場所で行ってください。（地下駐車場などでは電波を受信しない場合があります。）
- ・ 設定初期化（→P.143）したときにもチャンネルスキャンが必要です。

本機
の
操
作

1 車のエンジンをかける

2 地図画面が表示されたら **AUDIO**を押す



AV ソース画面が表示されます。

3 [TV] にタッチする

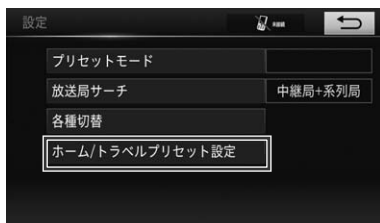


基本操作画面が表示されます。

4 [設定] にタッチする



5 [ホーム / トラベルプリセット 設定] にタッチする



↑ インフォメーション

- ・ 【ホーム / トラベルプリセット設定】が選択できない場合は、プリセットモードをホームプリセット、またはトラベルプリセットに切り替えてください。（→P.171）

6 【スキャン】に長くタッチする



7 チャンネルスキャンが終了すると【OK】が表示されるのでタッチする



設定画面に戻ります。

3. 案内言語を日本語以外に設定

本機で案内する言語を日本語以外に変更できます。



インフォメーション

- 日本語以外の言語に設定しても、すべての表示や案内が設定した言語に切り替わるわけではありません。また、ガイダンス機能の一部は OFF となります。

言語の設定操作

日本語以外に設定できる言語は、英語、中国語、または韓国語です。

1 **MENU** を押し、**【設定・編集】**
— **【共通設定】** にタッチする
(→ P.51)

2 **【言語設定】** にタッチする



選択する言語にタッチします。

【日本語】

【English】

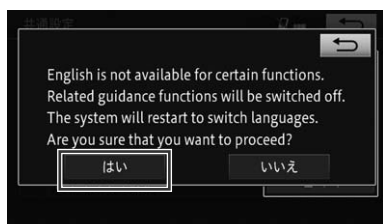
【中文】

【한국어】



再起動の確認メッセージが表示されます。

3 **【はい】** にタッチする



本機が再起動します。

1. リセットまたは初期化について

本体リセットについて



インフォメーション

- 次のようなときは、本機をリセットしてください。
 - 正しく動作しないとき
 - 画面が正しく表示されないとき
- 本体リセットを行っても、本機に登録されている内容や設定は消えません。

1 **MENU**を 10 秒以上押す



本機が再起動します。

個人情報の初期化について

地点情報や電話帳などの個人情報を初期化します。→「**設定を初期状態に戻す**」
(P.143)



インフォメーション

- セキュリティ機能解除の案内メッセージが表示された場合、セキュリティ設定を OFF にしてから再度、個人情報の初期化をしてください。(P.140)

ナビゲーション

1. ナビゲーションの基本操作

1. メニューの操作	50
ナビメニューの操作	50
2. 地図画面の操作	54
現在地画面を表示する	54
地図を動かす（スクロール）	55
地図の縮尺を変える	56
地図の表示方法を変える	57
地図の向きを変える	58
地図色切り替えタイミング設定	59
地図表示カスタマイズ	59
施設記号の表示設定をする	60
近くの施設を検索する	61
座標（緯度経度）を表示する	62
走行軌跡を表示する	62
セーフティインフォメーション	63
エコドライブインフォメーションの設定	63
走行中表示される画面について	64
ハイウェイモードについて	65
3. 自宅へ帰る	67
自宅を登録する	67
自宅までルート探索する	67
4. 場所を探す	68
地図で探す	68
目的地で探す	68
名称で探す	69
住所で探す	70
施設で探す	70
電話番号で探す	71
メモリ地点で探す	72
ジャンルで探す	72
マップコードで探す	73
特別メモリ地点で探す	74

目的地の検索履歴で探す	74
検索結果画面の操作	74

5. 詳細情報を見る

目的地メニューから場所を探した場合	76
地図上のマークにカーソルを合わせた場合	77

2. ルートの操作

1. ルートを探索する	78
ルート案内開始画面の見かた	79
ルート情報を表示する	79
他のルートを選ぶ	80
デモ走行で確認する	81
ルート探索機能について	81
2. ルート誘導・案内	83
ルート案内中の現在地画面	83
音声による誘導・案内	86
3. ルート案内中の操作と機能	88
ルートから外れたときに自動的にルートを再探索する	88
ルートの再探索をする	88
状況に応じて新しいルートを提案する	89
ルート上の交通情報を案内させる	89
ターンリストの表示	90
4. ルートを変更する	91
目的地を追加する	91
目的地を消去する	92
目的地への順番を並べ替える	93
探索条件を変更する	93
乗降 IC（出口 IC または入口 IC）を指定する	94

3. 登録地の操作

1. 場所を登録する	95
場所を登録する	95
2. 登録内容を修正・消去する	99
メモリ地点の登録内容を修正する	99
特別メモリ地点の登録内容を修正する	100
自宅の登録内容を修正する	101
メモリ地点を消去する	101
特別メモリ地点を消去する	102
自宅を消去する	103
登録データを移行する	103

4. その他の操作

1. その他のデータを消去する	106
目的地の検索履歴を消去する	106
ルートの学習内容を消去する	107
走行軌跡を消去する	107
2. FM-VICS 情報を利用する	108
VICS 情報とは	108
VICS・交通情報を表示する	109
地図上で VICS 情報を見る	110
ルート上の交通情報を案内させる	111
VICS の文字・図形情報を見る	112
放送局を選ぶ	112
3. 車両メンテナンスを利用する	114
メンテナンス項目を設定する	115
販売店の設定をする	116
販売店の情報を修正・入力する	116
4. エコ情報メニューを使う	117
燃費設定をする	117
エコ運転評価について	117
燃費履歴について	119

5. スマートフォン連携機能を使う	121
スマートフォンアプリをダウンロードする	122
ID 発行・ログイン	122

5. ナビゲーションの設定

1. ナビ詳細設定をする	123
地図表示設定	124
案内表示設定	125
音声設定	126
ルート系設定	127
その他	128
2. Bluetooth 設定をする	129
Bluetooth 機器使用上のご注意	129
Bluetooth 機器を初期登録する	129
Bluetooth 機器を切り替える	131
Bluetooth 機器を削除する	132
車載器の Bluetooth 設定を変更する	132
3. ナビゲーションの音量を設定する	134
音量設定をする	134
4. 車両情報を設定する	135
5. その他の設定をする	137
自車位置のずれを修正する	137
走行中の道路を切り替える	137
セキュリティ設定をする	138
安全・快適走行の設定をする	141
タッチしたときの応答音の設定をする	141
テーマカラーを変更する	141
ショートカットキーの設定をする	142
設定を初期状態に戻す	143

6. 知っておいていただきたいこと

1. 故障とお考えになる前に 144
 - 共通項目 144
 - ナビゲーション 145
2. ナビゲーションのしくみ 147
 - 現在地がわかるしくみ 147
 - 測位の精度を高めるためのしくみ 148
 - 誤差について 149
3. VICS 情報有料放送サービス契約約款
..... 151
4. その他の情報 153
 - 検索におけるデータベースについて 153
 - ルートに関する注意事項 153
 - VICS 情報に関する注意事項 155
 - 市街図収録エリア 155
 - 阪神高速道路株式会社からのご連絡 157
 - 収録データベースについて 157

1. メニューの操作

ナビメニューの操作

本機のいろいろな機能を使うには、はじめにナビメニューを表示させます。

1 MENUを押す

ナビメニューが表示されます。



【目的地】	目的地や場所を探すためのメニューを表示します。(→ P.50)
【情報】	交通規制や本機のシステム情報など、各種情報の操作を行うメニューを表示します。(→ P.51)
【電話】	携帯電話機能を使うためのメニューを表示します。 Bluetooth 機器が未登録の場合は、登録を促すメッセージが表示されます。【はい】にタッチして、登録操作を行ってください。(→ P.51)
【設定・編集】	ナビゲーション機能の設定、オーディオ設定、電話・通信の設定など、各種設定・編集に関するメニューを表示します。(→ P.51)
【画質・消】	画質の調整画面に切り替えたり、画面を一時的に消したりします。(→ P.53)
【TILT・EJECT】	ディスクやSDカードを出し入れしたり、ディスプレイの角度を調整したりします。(→ P.53)

目的地メニュー



【名称】	目的地の名称を入力して検索します。(→ P.69)
【住所】	目的地の住所を入力して検索します。(→ P.70)
【施設】	目的地のジャンルを指定して検索します。(→ P.70)
【電話番号】	目的地の電話番号を入力して検索します。(→ P.71)
【メモリ地点】	登録したメモリ地点を目的地に設定します。(→ P.72)
【ジャンル】	自車周辺施設のジャンルを指定して検索します。(→ P.72)
【マップコード】	目的地のマップコードを入力して検索します。(→ P.73)
【目的地消去】	目的地までの道がわかるときなど、ルート案内が不要になったときには、目的地を消去することができます。(→ P.92)
特別メモリ地点 【1】～【5】	登録した特別メモリ地点を目的地に設定します。(→ P.74)
【履歴】	過去に検索した地点から目的地を選んで検索します。(→ P.74)
【自宅に帰る】 ／【自宅登録】	自宅までのルートを探索します。(→ P.67) 自宅が未登録の場合は自宅の登録を行います。(→ P.67)

情報メニュー



【燃費設定】	エコなルート表示の計測の基準となる燃費設定を行います。 (→ P.117)
【エコ運転評価履歴】	エコ運転評価の履歴を表示します。 (→ P.118)
【燃費】	給油量と走行距離から燃費を計算して燃費履歴を表示します。 (→ P.119)
【VICS】	交通規制の確認や情報取得を行います。 (→ P.112)
【ETC】	本機に販売店装着オプションのナビ連動 ETC システムを接続したときに表示され、ETC の利用履歴を確認できます。 (→ P.244)

電話メニュー



【交通ナビ】	交通ナビ関連情報を表示します。 (→ P.252)
【接続】	Bluetooth 機器の登録、切り替え、削除の設定を行います。 (→ P.129)
	電話番号を入力して電話をかけます。 (→ P.250)
【電話帳】	登録されている電話帳データを表示します。 (→ P.251)

【ワンタッチダイヤル】	ワンタッチダイヤルに登録されているデータを表示します。 (→ P.252)
【履歴】	発着信の履歴を表示します。 (→ P.251)
【修正】	入力を間違えたときに修正します。

設定・編集メニュー



ナビ	ナビゲーションの設定をします。
Bluetooth	Bluetooth の設定をします。
電話	電話の設定をします。
運転支援	地図の案内表示の設定をします。
メンテナンス	メンテナンス機能の設定をします。
【共通設定】	上記タブスイッチのすべてに表示される共通メニューです。案内言語などの設定をします。 (→ P.45, 138, 141, 142, 201)
【ナビ詳細設定】	ナビゲーションの詳細設定を行います。 (→ P.123)



ETC	ETC の設定をします。 (本機に販売店装着オプションのナビ連動 ETC 車載器を接続した場合だけ表示されます)
【共通設定】	(→ P.51)

1. ナビゲーションの基本操作

1. メニューの操作

ナビ



[音量設定]	ナビゲーションの案内音量を調整します。(→P.134)
[ルート変更]	ルート変更画面を表示します。(→P.91)
[メモリ地点登録・編集]	メモリ地点の登録、修正、または消去を行います。(→P.95, 99)
[地図更新]	地図データのバージョンを表示します。(→P.201)
[共通設定]	(→P.51)
[ナビ詳細設定]	ナビゲーションの詳細設定を行います。(→P.123)

Bluetooth



[機器登録・接続]	本機と Bluetooth 機器の Bluetooth 登録または接続をします。(→P.129)
[共通設定]	(→P.51)
[Bluetooth 詳細設定]	Bluetooth の詳細設定をします。(→P.132)

電話



[音設定]	ハンズフリーの各音量の調整を設定します。(→P.256)
[電話帳設定]	電話帳の登録、編集、または削除などを設定します。(→P.257)
[共通設定]	(→P.51)
[電話詳細設定]	ハンズフリー画面表示の設定をします。(→P.255)

運転支援



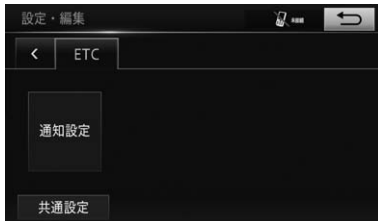
[安全・快適走行設定]	踏み切りなどの案内を設定します。(→P.141)
[バックガイドモニター設定]	バックガイドモニターの設定をします。(→P.232) (本機に販売店装着オプションのバックガイドモニターを装着した場合だけ表示されます)
[共通設定]	(→P.51)

メンテナンス



【項目設定】	車両メンテナンスの各項目の設定をします。(→P.114)
【共通設定】	(→P.51)

ETC



【通知設定】	ETCの設定をします。(→P.245) (本機に販売店装着オプションのナビ連動ETC車載器を接続した場合だけ、ETCが表示されます)
【共通設定】	(→P.51)

画質・消メニュー



【昼画面】	夜画面で表示されている場合だけ 【昼画面】 を選択できます。タッチキーを押すごとに、強制的に昼画面を表示するか設定します (ON/OFF)。
【画面消】	ナビ画面を一時的に非表示にします。(→P.25)
コントラスト	メニュー画面のコントラストを調整します。(→P.27)
明るさ	メニュー画面の明るさを調整します。(→P.27)
黒の濃さ	メニュー画面の黒の濃さを調整します。(→P.27)
色温度	メニュー画面の色温度を調整します。(→P.27)

TILT・EJECTメニュー



【+ TILT】 / 【- TILT】	ディスプレイの角度を調整します。(→P.26)
【DISC IN】 / 【DISC EJECT】	ディスクを挿入、または取り出します。(→P.30, 31)
【SD IN】 / 【SD EJECT】	SDカードを挿入、または取り出します。(→P.32, 33)
【CLOSE】	画面モニターを閉じます。(→P.31, 32, 33)

2. 地図画面の操作

ナビゲーションの地図表示には、自分の車（自車）の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所を表示する「スクロール画面」があります。

現在地画面を表示する

どの画面を表示していても、すばやく現在地画面に戻ることができます。

1 現在地を押す

現在地の地図が表示されます。



現在地画面の見かた





インフォメーション

- ・本機を初めて使うときや、長期間使っていなかったときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。
- ・自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- ・走行中は地図上に細街路は表示されません。ただし、細街路を走行中のときはその細街路が表示されます。
- ・軌跡表示は、今までに通った約250 km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5 km/h未満のときは赤、5 km/h以上20 km/h未満のときは橙の点で表示されます。
- ・現在の時刻は、GPS衛星からの情報に基づいて表示しています。時刻の変更はできません。

地図を動かす(スクロール)

地図上の見たい場所に地図を動かします。

1 地図上にタッチし、カーソルが表示されたら地図を動かしたい方向に指を動かす

指を動かした方向に地図が動きます。
(地図スライド操作)



インフォメーション

- ・ナビ詳細設定の「地図スライド操作」を「しない」に設定することにより、タッチした方向に地図を自動スクロールさせる方法も選べます。(→P.124)
- ・手順2の8方向矢印表示中、または市街図表示(→P.56)の場合、走行中にスクロール操作を行うことはできません。

2 位置を微調整したい場合は、[目的地セット]にタッチしてから、微調整したい方向の矢印(8方向)にタッチする



矢印にタッチするごとに、地図が少しずつ動きます。

↶ にタッチすると、矢印が表示された最初の位置に画面が戻ります。



インフォメーション

- ・微調整の操作は、地図の表示モードが3D地図以外の場合のみ可能です。

スクロール画面の見かた



地図の縮尺を変える

25 m ～ 200 km の範囲で地図の縮尺を変えることができます。

1 【詳細】 または 【広域】 にタッチする



【詳細】	より詳しい地図が表示されます。表示される範囲は狭くなります。
【広域】	より広い範囲で地図が表示されます。細い道路などは表示されません。



インフォメーション

- 【詳細】や【広域】にタッチすることにより、50 m、100 m、200 m、400 m、800 m、1.6 km、3 km、7 km、13 km、26 km、50 km、100 km、200 km と縮尺表示が変わります。
- 【詳細】や【広域】にタッチし続けると、連続して縮尺表示を変えることができます。また、【詳細】や【広域】にタッチしたあとに表示されるスケールバーにタッチしても縮尺を変更できます。
- 市街図収録エリア (→ P.155) では、50 m 縮尺表示で【市街図】にタッチすると、50 m 縮尺の市街図表示に切り替えられます。さらに【詳細】にタッチすると、25 m 縮尺の市街図を表示できます。25 m 縮尺の市街図表示で【広域】にタッチすると、50 m 縮尺の市街図表示に切り替わります。50 m 縮尺表示で【広域】にタッチすると、通常地図に戻ります。

地図の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

1 「表示変更」にタッチする



2 「地図表示」にタッチする



3 地図の表示方法にタッチする



表示方法の種類

地図 1 画面

通常の地図で表示されます。



地図&エコ情報

エコ運転評価画面 (→ P.117) が、地図の右側に表示されます。



ターンリスト表示

分岐する交差点、IC、JCT、追加目的地の名称、案内方向、および距離などの情報が画面に表示されます。(→ P.90)



インフォメーション

- ・ ターンリストの表示または表示解除は、ルート案内中の場合だけ切り替えます。

高速略図表示（ハイウェイモード）

有料道路走行時の専用画面です。前方の有料道路施設までの距離、予想到着（通過）時刻などが表示されます。ハイウェイモードについては、→「**ハイウェイモードについて**」(P.65) をご覧ください。



地図の向きを変える

地図表示の向きは、ノースアップとヘディングアップがあります。

ノースアップとは、車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図を表示します。ヘディングアップとは、車の進行方向が上向きになるように地図を表示します。

画面左上の方位マークをタッチして切り替えます。

ノースアップ



ヘディングアップ



ヘディングアップ（3D）



地図色切り替えタイミング設定

夜間など、周囲が暗いと画面が明るすぎて映像が見えにくくなることがあります。そのため、必要に応じて画面表示を昼画面または夜画面に切り替えることができます。

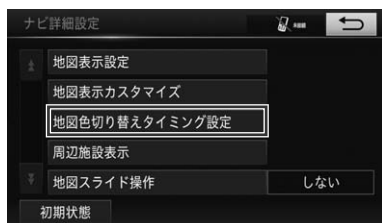
1 **MENU**を押し、**【設定・編集】**にタッチする (→ P.50)

2 **【ナビ詳細設定】**にタッチする (→ P.51)

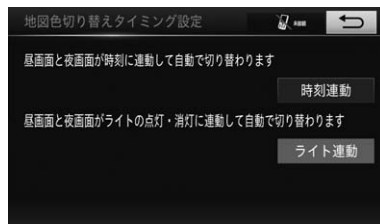
3 **【地図表示設定】**にタッチする



4 **【地図色切り替えタイミング設定】**にタッチする



5 **設定する項目にタッチする**



【時刻連動】	画面表示が時刻に合わせて、昼画面または夜画面に自動で切り替わります。
【ライト連動】	画面表示がライトの点灯・消灯に合わせて、昼画面（消灯時）または夜画面（点灯時）に自動で切り替わります。

地図表示カスタマイズ

地図上の以下の項目を設定できます。

- ・ **地図色**
- ・ **ルート色**
- ・ **文字サイズ**



インフォメーション

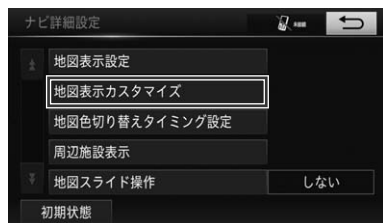
- ・ 夜画面での各種設定は、車のライトを点灯した状態で行ってください。

1 **MENU**を押し、**【設定・編集】**にタッチする (→ P.50)

2 **【ナビ詳細設定】**にタッチする (→ P.51)

3 **【地図表示設定】**にタッチする (→ P.59)

4 [地図表示カスタマイズ]にタッチする



5 設定するタブスイッチにタッチする



地図色	表示されているカラーイメージから、地図の色を選択します。
ルート色	表示されているカラーイメージから、ルートの色を選択します。
文字サイズ	地図上の文字サイズを【標準】または【大】から選択します。

6 設定する項目にタッチする



インフォメーション

- 初期設定の状態に戻す場合は、手順 **5** の画面の【初期状態】にタッチします。

7 戻るにタッチする

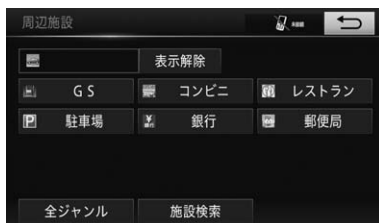
施設記号の表示設定をする

さまざまな施設の施設記号を地図上に表示させることができます。

1 現在地画面で、[表示変更]－[周辺施設] にタッチする



2 施設記号を表示させたいジャンルにタッチする



選んだ施設記号が地図上に表示されます。



インフォメーション

- ナビ詳細設定の「周辺施設表示」でも同じ設定ができます。(→ P.124)
- 操作を繰り返すことにより、施設のジャンルの5個まで表示できます。
- 縮尺表示が800 mを超える場合、施設記号は表示されません。
- 手順 **2** の画面で表示される施設のジャンルは、「周辺施設 走行中呼び出しジャンル」で変更できます。(→ P.128)

全てのジャンルから選ぶ

本機に登録されている全てのジャンルから選びます。

1 現在地画面で、[表示変更]－[周辺施設]－[全ジャンル]にタッチする

2 施設記号を表示させたいジャンルにタッチする



3 施設記号を表示させたい詳細ジャンルにタッチする



地図画面に戻り、選んだ施設記号が表示されます。



インフォメーション

- ナビ詳細設定の「周辺施設表示」でも同じ設定ができます。(→P.124)
- 操作を繰り返すことにより、施設のジャンルを5個まで表示できます。

施設記号の表示を解除する

1 現在地画面で、[表示変更]－[周辺施設]にタッチする



個別に解除する場合

2 選択済みの施設のジャンルにタッチする

すべて解除する場合

2 [表示解除]にタッチする

近くの施設を検索する

地図上に施設の記号を表示させているときに、自車またはカーソルから施設の直線距離と方向を表示させます。

1 現在地画面で、[表示変更]－[周辺施設]－[施設検索]にタッチする

2 施設名称にタッチする



【ソート】にタッチすると、表示する順序を切り替えることができます（初期設定は距離順に表示されます）。

【距離順】	自車、またはカーソルから近い施設の順にソートします。
【種類順】	施設の種類順にソートします。

選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの距離が表示されます。

以降の操作は、検索結果画面の操作（→P.74）を参照してください。

座標（緯度経度）を表示する

現在地の緯度経度情報を表示します。

1 現在地画面で、**現在地**を押す

2 【座標】にタッチする



緯度経度情報が表示されます。



走行軌跡を表示する

地図画面に走行軌跡を表示することができます。

1 現在地画面で、【表示変更】にタッチする（→P.23）

2 【走行軌跡表示】にタッチする



インフォメーション

- 再度、走行軌跡を消去したい場合は、現在地画面で【表示変更】－【走行軌跡解除】にタッチしてください。（→P.107）

セーフティインフォメーション

状況に応じて安全運転のための各種案内が行われます。

県境案内	〇〇県に入ります。
踏切案内	この先踏切です。ご注意ください。 ※ 踏切に近づくと、案内マーク(◆)が表示されます。
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
ライト点灯案内	まもなく日が暮れます。ライトの確認をしてください。
細街路案内	実際の交通規制や道幅に注意して走行してください。
合流案内	この先、右(左)からの合流があります。ご注意ください。 ※ 合流地点に近づくと、案内マーク(◆など)が表示されます。 ※ 合流案内は、有料道路を走行中のときに行われます。
レーン案内	およそ〇〇 m 先右折(左折)専用レーンがあります。ご注意ください。



インフォメーション

- ・ 県境案内は、有料道路または一般国道を走行中のときに行われます。
- ・ 踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、すべての踏切で案内されるわけではありません。
- ・ 日没時刻になっても、すでにライトを点灯している場合は、ライト点灯案内は行われません。
- ・ それぞれの案内については、設定(する/しない)を変更できます。
 - 県境案内 (→ P.126)
 - 踏切案内 (→ P.141)
 - リフレッシュ案内 (→ P.126)
 - ライト点灯案内 (→ P.126)
 - 細街路案内 (→ P.126)
 - 合流案内 (→ P.141)
 - レーン案内 (→ P.141)
- ・ 以下のような条件等の場合は、案内されない場合や実際の状況と異なる案内をすることがあります。実際の交通状況や交通規則・標識などに従って運転してください。
 - 自車位置が正しく表示されていないとき
 - 表示されている地図と実際に走行中の道路状況が異なるとき

2

ナビゲーション

エコドライブインフォメーションの設定

エコな運転に役立つアドバイスを音声で案内させるか設定(する/しない)できます。(→ P.126)

エコドライブインフォメーション音声の例

- ・ 気持ちにゆとりを持った運転がエコドライブに繋がります
- ・ エンジンブレーキを使うと燃費がよくなります
- ・ 空ぶかしを行うと多くの燃料を浪費します



インフォメーション

- ・ エコドライブインフォメーションの音声は一般的なものであり、運転環境やご使用の車により該当しないことがあります。

走行中表示される画面について

信号機が近づくと

進行方向に対して、約 300 m 以内の信号機のマークが最大 5 カ所まで表示されます。



有料道路を走行すると

有料道路を走行すると、自動的にハイウェイモードに切り替わります（オートハイウェイモード）。



インフォメーション

- 一部表示対象外の有料道路もあります。

走行中の名称表示について

一般道を走行中の場合



インフォメーション

- 自車から 1 番近くに表示されている信号機に交差点名称が存在する場合、交差点名称が表示されます。
- 交差点名称が表示されないとき、走行中の道路に道路名称が存在する場合、道路名称が表示されます。

有料道路を走行中の場合



インフォメーション

- 高速施設の手前 500 m に近づくと、高速施設名称が表示されます。
- ルート案内中のとき、高速施設名称が表示されない場合、ルート上の有料道路分岐の手前約 2 km に近づくと、ルートの進行方向の方面名称が表示されます。
- 高速施設名称および方面名称が表示されないとき、走行中の道路に道路名称が存在する場合、道路名称が表示されます。

ハイウェイモードについて

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。また、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り替わります。本線上や分岐先の施設情報も、見ることができます。

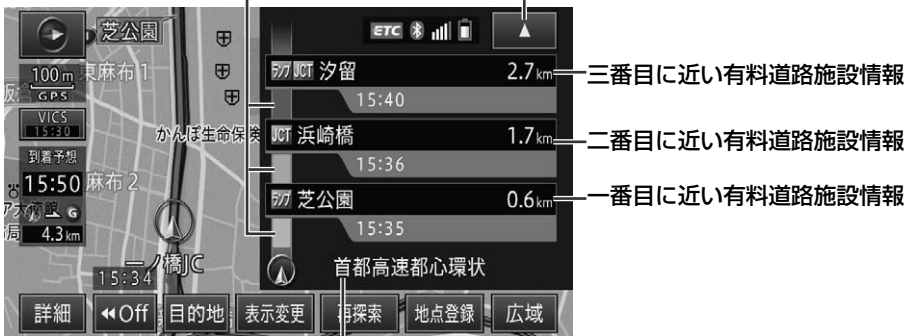
現在地画面の見かた

渋滞情報

施設間の渋滞状況および規制情報が色とマークで表示されます。

施設送りタッチスイッチ

有料道路施設を現在地から近い順に送っていきます。最大 100 件の有料道路施設を確認できます。



道路名称表示

走行中の道路名称が表示されます。



インフォメーション

- ・ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類（IC/PA/SA/JCT/ランプ/料金所/スマートIC）と施設名および現在地からの距離と通過予想時刻が表示されます。
- ・施設情報には、施設のサービス情報（→P.66）が表示されます。
- ・VICS 情報を取得している場合は、VICS 情報（→P.110）が表示されます。
- ・ルート案内中は、有料道路出口のおおよそ 1 km 手前になると有料道路出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- ・【表示変更】にタッチすると、他の地図表示を選んで切り替えることができます。
- ・ほかの地図表示からハイウェイモードに戻すと、左画面は直前の地図表示の向きで表示されます（例えば直前の地図表示が 3D の場合、ハイウェイモードの左画面は 3D で表示されます）。

先の施設情報を見る

ハイウェイモード中は、施設を先送りさせて先の施設情報を見ることができます。

1 [▲]、[▼] にタッチして、表示させたい施設を選ぶ



インフォメーション

- ・ルート案内中は、ルートに沿って施設が送られます。
- ・最大で 100 施設先まで見ることができます。
- ・**【現区間】** にタッチすると、現在地から最寄りの施設を表示します。

サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

	店舗情報
	身障者用トイレ
	レストラン
	ショッピングコーナー
	ハイウェイオアシス
	ドッグラン
	仮眠休憩所
	スナックコーナー
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	風呂
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス
	トイレ



インフォメーション

- ・同時に表示される情報は 7 個までです。8 個以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、8 個目以降は表示されません。

渋滞情報表示について

VICS 情報を取得している場合は、施設間の渋滞状況と規制情報が色とマークで表示されます。(→ P.65)

ETC カード有効期限切れ通知について

本機の電源 ON 時に、本機に接続した販売店装着オプションのナビ連動 ETC 車載器に ETC カードが挿入された場合、ETC のカード情報によりメッセージ表示と音声案内が行われます。



インフォメーション

- ・接続した ETC 車載器が有効期限通知機能に対応していない場合、案内は行いません。

通常時の例

メッセージ	ETC カードが挿入されました
音声案内	ETC カードが挿入されました。

有効期限切れが当月の場合の例

メッセージ	ETC カードの有効期限は今月末です。カードをお確かめください
音声案内	ETC カードの有効期限は今月末です。カードをお確かめください。

有効期限がすでに切れている場合の例

メッセージ	ETC カードの有効期限が切れています
音声案内	ETC カードの有効期限が切れています。

3. 自宅へ帰る

自宅を登録すると、全国どこへ出かけていてもかんたんな操作で自宅までのルート案内を行うことができます。

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、かんたんな操作で自宅へのルート探索ができます。

- 1 **MENU**を押し、**【目的地】** – **【自宅登録】**にタッチする
(→ P.50)



【現在地周辺】	現在地周辺の地図から登録します。(→ P.68)
【目的地/検索履歴】	検索履歴リストから登録します。
【住所指定】	住所から検索して登録します。(→ P.70)

自宅が登録されます。



インフォメーション

- 自宅を新規に登録すると、「自宅」という名前と自宅マーク (🏠) が自動的に入力されます。
- QUICK SETUP (→ P.39) で登録することもできます。
- 自宅の位置は変更できます。(→ P.101)
- すでに自宅が登録済みの場合は、登録済みの自宅を消去 (→ P.103) してから登録してください。QUICK SETUP で自宅を登録し直す場合は、自宅を上書きできます。

自宅までルート探索する

登録した自宅を目的地として、ルート探索を行います。

- 1 **MENU**を押し、**【目的地】** – **【自宅に帰る】**にタッチする



【案内開始】にタッチすると、ルート案内が開始され、状況に応じて画面と音声でルート案内が行われます。自宅に近づくるとルート案内は終了します。



インフォメーション

- 案内中のルートがある場合は、自宅を中心とした地図画面が表示されますので、**【新規目的地】**または**【追加目的地】**にタッチしてください。
- **【5 ルート】**が表示されている場合、タッチすると自宅までのルートが最大5本まで探索されます。

4. 場所を探す

ナビゲーションの操作は場所（行き先、立寄地などの目的地）を探すことから始まります。目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。



インフォメーション

- ・ 検索した場所によっては、表示された地図が目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージが表示され、代表地点の地図が表示されます。
- ・ 施設を検索した場合、検索後はそのままスクロールせずに目的地に設定してください。例えば高速道路上の施設を検索後にスクロールさせて目的地に設定すると、一般道路上が目的地になる場合があります。
- ・ 自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所では、地図をスクロールして近くの道路上に目的地を設定してください。周囲の道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。
- ・ 検索した場所（施設）に駐車場データが収録されている場合、その施設の駐車場を目的地として案内する場合があります。

地図で探す

地図上で探すことができます。

1 地図をスクロールさせて、目的の場所にカーソルを合わせる



以降の操作は、検索結果画面の操作（→P.74）を参照してください。

目的地で探す

1 MENUを押し、【目的地】にタッチする



項目	機能
【名称】	名称で検索した施設がある地点の地図を表示します。（→P.69）
【住所】	地名、番地で指定した地点の地図を表示します。（→P.70）
【施設】	さまざまなジャンルから検索した施設がある地域の地図を表示します。（→P.70）
【電話番号】	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示します。（→P.71）

【メモリ地点】	メモリ地点を登録している場合、メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示します。(→ P.72)
【ジャンル】	現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示します。(→ P.72)
【マップコード】	入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示します。(→ P.73)
特別メモリ地点 【1】～【5】	登録されている特別メモリ地点の地図を表示します。(→ P.74)
【履歴】	過去に設定した目的地の履歴から選択した地点の地図を表示します。(→ P.74)



インフォメーション

- ・ ひらがな以外の入力はできません。カタカナ、漢字、および英数字などを含む施設を探すときも、すべてひらがなで入力します。
- ・ 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます（キーワード検索）。
- ・ 修正するときは【修正】にタッチします。
- ・ 濁音(゜)や半濁音(゜)の入力は省略できます。また、促音(ょ)などは(よ)などで代用できます。
- ・ 名称は20文字目まで入力できます。
- ・ 入力された内容や絞り込み条件によっては、検索の結果、該当するデータが無い旨のメッセージが表示される場合があります。

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 **MENU** を押し、【目的地】－【名称】にタッチする (→ P.50)

2 施設の名称をひらがな入力し【検索】にタッチする

3 目的の施設をリストから探し、施設名称にタッチする

【エリアで絞る】 住所（都道府県・市町村）、現在地周辺、または目的地周辺などによる絞り込みができます。

【ジャンルで絞る】 ジャンルによる絞り込みができます。

施設付近の地図が表示されます。
以降の操作は、検索結果画面の操作(→ P.74)を参照してください。

4. 場所を探す

住所で探す

住所や地名で探すことができます。

- 1 **MENU** を押し、**【目的地】**
— **【住所】** にタッチする
(→ P.50)

- 2 都道府県名、市区町村名、地名の順にタッチする



インフォメーション

- 各主要部にタッチすると、選んだ地域の代表地点の地図が表示されます。
- 郡・大字・字は表示されません。郡・大字・字が含まれる住所を検索するときは、省略して入力します。

例：実際の住所が「東京都大島町元町字北の山」のとき、「東京都－大島町－元町－北の山」で検索。

- 3 リストから番地を選んでタッチする



入力した住所を中心とした地図が表示されます。

以降の操作は、検索結果画面の操作 (→ P.74) を参照してください。

施設で探す

表示されているジャンルから各種施設を探すことができます。

- ゴルフ場
- 駅
- ホテル
- 役所
- 空港
- 式場
- 病院
- 販売店
- その他

- 1 **MENU** を押し、**【目的地】**
— **【施設】** にタッチする
(→ P.50)

- 2 検索する施設のジャンルにタッチする



該当するジャンルがない場合は、**【その他】** をタッチして該当するジャンルを選択してください。

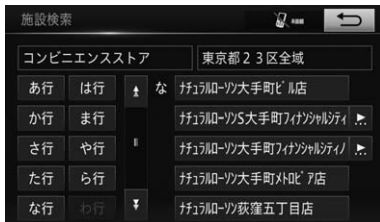
【その他】 にタッチした場合



3 都道府県名、市区町村名の順にタッチする



4 施設を選んでタッチする



施設付近の地図が表示されます。
以降の操作は、検索結果画面の操作
(→ P.74) を参照してください。

電話番号で探す

電話番号で探すことができます。

1 MENU を押し、[目的地] — [電話番号] にタッチする (→ P.50)

2 検索する電話番号を入力し、[検索] にタッチする



↑ インフォメーション

- ・市外局番から入力します。
- ・入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- ・入力した番号が以下のとき、市外または市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
 - 該当する施設がないとき
 - 個人住宅などのとき
- ・間違えたときは【修正】にタッチして修正します。
- ・同じ電話番号で複数の地点がある場合、電話番号検索候補表示リスト画面が表示されます。表示したい地点の施設を選んでタッチします。

施設付近の地図が表示されます。
以降の操作は、検索結果画面の操作
(→ P.74) を参照してください。

4. 場所を探す

メモリ地点で探す

メモリ地点を登録している場合、登録されているメモリ地点から探すことができます。

- 1 **MENU** を押し、**【目的地】** - **【メモリ地点】** にタッチする (→ P.50)

- 2 地点を選んでタッチする



インフォメーション

・ **【ソート】** にタッチして、**【マーク順】** または **【登録順】** に並べ替えることもできます。



施設付近の地図が表示されます。
以降の操作は、検索結果画面の操作 (→ P.74) を参照してください。

ジャンルで探す

現在地または目的地周辺など施設を検索するエリアを変更し、変更したエリア周辺の施設を探すことができます。

- 1 **MENU** を押し、**【目的地】** にタッチする (→ P.50)

- 2 **【その他の方法】** にタッチする



- 3 **【ジャンル】** にタッチする



- 4 施設のジャンルにタッチする

- 5 詳細な施設のジャンルにタッチし、**【検索】** にタッチする

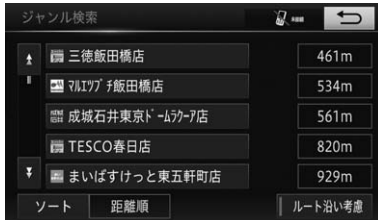




インフォメーション

- ・ 5 つまで選択することができます。
- ・ 間違えた場合は、**【選択解除】** または **【選択済みのジャンルにタッチします】**。

6 施設名称にタッチする



【ソート】 にタッチすると、表示する順序を切り替えることができます（初期設定は距離順に表示されます）。

【距離順】	自車から近い施設の順にソートします。
【種類順】	施設のマーク順にソートします。



インフォメーション

- ・ **【ルート沿い考慮】** にタッチするとルート沿いの施設だけをリストに表示します。
 - 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右のどちらの方向にあるかを表示します。
 - ルートを考慮したリストを表示しているときは、「ルート沿い考慮」のスイッチ左横のインジケーターが点灯します。
 - 表示していた地図にルートが表示されていないときは、ルートを考慮したリストは表示されません。
 - 表示することができる施設は、ルート沿いにある施設だけです。



施設付近の地図が表示されます。

以降の操作は、検索結果画面の操作（→ P.74）を参照してください。

マップコードで探す

マップコードを入力することで、その地点をすばやく呼び出すことができます。



インフォメーション

- ・ マップコードは、日本全国さまざまな場所の位置データを最大 13 桁（拡張マップコードの場合）の数字で特定するものです。住所などでは特定することが困難な場所もマップコードでは特定することができます。

1 **【MENU】** を押し、**【目的地】** にタッチする（→ P.50）2 **【その他の方法】** にタッチする（→ P.72）3 **【マップコード】** にタッチする4 マップコードを入力して、**【検索】** にタッチする

インフォメーション

- ・ 間違えた場合は **【修正】** にタッチして修正します。



該当する地図が表示されます。

以降の操作は、検索結果画面の操作（→ P.74）を参照してください。

4. 場所を探す

特別メモリ地点で探す

特別メモリ地点を登録している場合、登録されている特別メモリ地点から探すことができます。

1 **MENU**を押し、**【目的地】**にタッチする (→ P.50)

2 登録してある特別メモリ地点を選んでタッチする



目的地の検索履歴で探す

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され目的地の設定のときなどに検索履歴から地図を呼び出せます。

1 **MENU**を押し、**【目的地】**
— **【履歴】**にタッチする
(→ P.50)

2 表示したい目的地の検索履歴にタッチする



該当する地図が表示されます。
以降の操作は、検索結果画面の操作
(→ P.74) を参照してください。

目的地の検索履歴を消去する

不要な目的地の検索履歴を選択して消去します。すべての検索履歴を消去することもできます。(→ P.106)

検索結果画面の操作

地図を動かしたあとや、場所を探したあとに、自動的に検索結果画面が表示されます。この画面からルート探索、地点登録、および詳細情報の表示などができます。

1 **地図をスクロール** (→ P.55)
または場所を探す (→ P.68)

カーソルの位置や地図の表示状況によって、それぞれに応じた検索結果画面が表示されます。

スクロール画面のとき



【情報】	検索した場所に詳細情報のデータが収録されている場合は、詳細情報を表示します。 (→ P.76)
【詳細】	地図の範囲を狭くします。 (→ P.56)
【<<Off】	画面下に表示されているスイッチを非表示にすることができます。再度表示させるには、【>>On】にタッチします。
【目的地】	目的地を検索します。 (→ P.50)
【表示変更】	地図表示などの表示変更画面を表示します。 (→ P.57, 60, 79)
【目的地セット】	検索結果画面が表示されます。 (→ P.75)
【地点登録】	メモリ地点に登録します。 (→ P.95)
【広域】	地図の範囲を広くします。 (→ P.56)

検索結果画面のとき



【情報】	検索した場所に詳細情報のデータが収録されている場合は、詳細情報を表示します。 (→ P.76)
【詳細】	地図の範囲を狭くします。 (→ P.56)
【地点登録】	メモリ地点に登録します。 (→ P.95)
【目的地セット】	検索結果画面が表示されます。 (→ P.75)
【追加目的地】	カーソル位置を目的地に追加して、ルート探索を行います。 (→ P.78)
【新規目的地】	目的地を全て消去し、カーソル位置を目的地としてルート探索を行います。 (→ P.78)
【広域】	地図の範囲を広くします。 (→ P.56)

5. 詳細情報を見る

目的地メニューを使って探した場所については、その場所の情報が収録されている場合に限り詳細情報を表示することができます。



インフォメーション

- 利用した目的地メニューの項目によって、表示できる詳細情報の内容やスイッチの表示が異なります。

目的地メニューから場所を探した場合

1 目的地メニューを使って場所を探す (→ P.68)

メモリ地点 (→ P.95)、特別メモリ地点 (→ P.96)、および自宅 (→ P.97) の登録から探索する場合も含まれます。

2 [情報] にタッチする (→ P.75)

3 情報を確認する

名称／周辺施設／電話番号／ジャンル／施設から探した場合：

	登録されている電話番号に電話をかけます。 (→ P.254)
【地点登録】	検索した情報をメモリ地点に登録します。 (→ P.95)
【目的地セット】	カーソル位置を目的地として、ルートを探します。 (→ P.78)
【追加目的地】	カーソル位置を目的地に追加します。 (→ P.78)
【新規目的地】	目的地をすべて消去し、カーソル位置を新規目的地としてルートを探索します。 (→ P.78)

メモリ地点／電話番号 (該当施設がメモリ地点登録されている場合)から探した場合：

	登録されている電話番号に電話をかけます。 (→ P.254)
【目的地セット】	目的地を設定します。 (→ P.78)

地図上のマークにカーソルを合わせた場合

1 地図をスクロールさせてカーソルを地図上のマークに合わせ、**【情報】** にタッチする



インフォメーション

- 表示対象となるのは、下記のマークです。
 - 周辺施設表示の施設記号
 - メモリ地点マーク
 - 目的地マーク
 - VICS マーク

2 情報を確認する



周辺施設表示の施設記号にカーソルを合わせた場合：

	登録されている電話番号に電話をかけます。 (→ P.253)
【地点登録】	検索した情報をメモリ地点に登録します。 (→ P.95)
【目的地セット】	カーソル位置を目的地として、ルートを探します。(→ P.78)

【追加目的地】	カーソル位置を目的地に追加します。(→ P.78)
【新規目的地】	目的地をすべて消去し、カーソル位置を新規目的地としてルートを探します。(→ P.78)
【次ページ】	店舗の営業時間などその他の情報がある場合に、その情報を表示します。

メモリ地点マークにカーソルを合わせた場合：

	登録されている電話番号に電話をかけます。 (→ P.253)
【修正】	メモリ地点を修正します。(→ P.99)
【消去】	メモリ地点を消去します。(→ P.101)
【目的地セット】	カーソル位置を目的地として、ルートを探します。(→ P.78)
【追加目的地】	カーソル位置を目的地に追加します。(→ P.78)
【新規目的地】	目的地をすべて消去し、カーソル位置を新規目的地としてルートを探します。(→ P.78)

目的地マーク／追加目的地マークにカーソルを合わせた場合：

	登録されている電話番号に電話をかけます。(→ P.253)
【消去】	目的地を消去します。(→ P.92)

VICS マークにカーソルを合わせた場合 (→ P.111)：

VICS マークの規制情報を表示します。

1. ルートを探索する

検索した場所を「目的地」として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

1 場所を探す (→ P.68)

2 [目的地セット] にタッチする



インフォメーション

- 目的地の近くに有料道路があるときは、有料道路の設定を確認するメッセージが表示され、**【設定する】**にタッチすると有料道路を利用するルートを案内します。**【他の道路】**にタッチすると、一般道路を利用するルートを案内します。
- VICS 交通規制考慮ルート探索 (→ P.82) では、VICS 情報を考慮したルート探索を行います。
- すでにルートが設定されている場合は、探した場所を最終目的地にするか追加目的地にするかを選択します。
 - **【新規目的地】**にタッチすると、現在の目的地を消去し、新しい目的地を行き先としてルートを探索します。
 - **【追加目的地】**にタッチすると、目的地はそのまま、探した場所に立ち寄るルートを探索します。
 - **【追加目的地】**にタッチしたあとに、目的地追加の画面が表示された場合は、追加目的地を設定する区間を選択します。(→ P.92)



ルート案内開始画面が表示されます。



【情報】	出発地から行き先までの間に通る道路名、区間距離、通過予想時刻などの情報を確認できます。(→ P.79)
入口 IC 名 / 出口 IC 名	有料道路を通るルートの場合、乗降 IC を指定できます。(→ P.94)
【5 ルート】 (探索ルートが複数の場合)	現在選ばれているルートとは異なる探索条件のルートを選ぶことができます。(→ P.80)
【ルート変更】	下記の操作ができます。 • 追加目的地指定 (→ P.91) • 乗降 IC 指定 (→ P.94) • 目的地の並び順変更 (→ P.93) • 探索条件の変更 (→ P.93) • 目的地または追加目的地の消去 (→ P.92)
【案内開始】	現在選ばれているルートで案内を開始します。長くタッチすると、設定したルートのデモ走行を見ることができます。(→ P.81)



インフォメーション

- 走行を開始することで、案内を開始させることもできます。
- 追加目的地や乗降 IC を指定した場合、探索されるルートは 1 本のみとなります。

1. ルートを探索する

ルート案内開始画面の見かた

探索条件

現在選ばれているルートの探索条件が表示されます。

IC（インターチェンジ）表示

利用する有料道路の最初の IC と最後の IC が表示されます。



有料道

ルートに使用する有料道路の総距離が表示されます。有料道を使用しない場合は、「一般道」と表示されます。

料金

有料道路使用時の料金が表示されます。

ルート表示

現在選ばれているルートが概略表示されます。

全行程

選ばれているルートの総距離が表示されます。

フェリーを利用

フェリーを使用する場合に表示されます。

ルート情報を表示する

1 【情報】 にタッチする
(→ P.78)

ルート情報画面が表示されます。



全ルート図を表示する

1 現在地画面で、【表示変更】に
タッチする (→ P.23)

2 【全ルート】 にタッチする



2 全ルート図にタッチする

ルート案内開始画面が表示されます。



インフォメーション

- 目的地や指定した乗降 IC 付近の地図を確認する場合は、それぞれの地点に表示されている【地図】にタッチします。

2. ルートの操作

1. ルートを探索する

他のルートを選ぶ

最大 5 本のルートから選択できます。ただし、追加目的地や乗降 IC を指定した場合、ルートは 1 本だけとなります。

5 ルート地図から選ぶ

1 [5 ルート] にタッチする (→ P.78)

2 ルートを選択してタッチする



【推奨】	一般的なルートを案内します。
【有料優先】	有料道路を優先して通るルートを案内します。
【一般優先】	一般道路を優先して通るルートを案内します。
【距離優先】	総距離が一番短くなるルートを案内します。
【別ルート】	推奨ルートとなるべく異なる道を通るルートを案内します。
【全行程一覧】	5 ルートの情報を一覧で表示します。(→ P.80)



選んだルートが設定され、ルート案内開始画面に戻ります。



インフォメーション

- 候補ルートが同じになる場合もあります。
- 推奨ルートは必ずしも最短時間になるルートとは限りません。
- 燃費設定 (→ P.117) にしたがって、ルート探索結果の中から最も燃料消費量の少ないルートをエコなルートとして表示させることができます。

5 ルートリストから選ぶ

1 [5 ルート] にタッチする (→ P.78)

2 [全行程一覧] にタッチする



3 ルートを選択してタッチする

全行程一覧表				
探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間 エコ度
推奨	78km	76km	2350円	1時間10分
有料優先	78km	76km	2350円	1時間10分
一般優先	84km	0.0km		2時間56分
距離優先	78km	76km	2350円	1時間10分
別ルート	83km	81km	2550円	1時間12分



インフォメーション

- 総距離、有料道路走行距離、料金、所要時間、エコ度が表示されます。

1. ルートを探索する

デモ走行で確認する

1 【案内開始】に長くタッチする
(→ P.78)

インフォメーション

- デモ走行中は、画面左側に【デモ案内中】が表示されます。タッチすると、デモ走行終了の確認メッセージが表示されます。終了する場合は【はい】にタッチします。
- デモ走行は、終了させるまで繰り返し行われます。

ルート探索機能について

ルート探索時に自動的に考慮される機能について説明します。スマート IC 考慮の機能は設定を解除することもできます。

学習ルート探索

追加目的地、最終目的地付近でよく使う道を考慮してルート探索を行います。



インフォメーション

- ルート学習結果は消去できます。(→ P.127)
- 学習したルートを表示する機能はありません。
- 学習した道が必ず使われるとは限りません。
- よく使う道が無くなってしまったときや変更した場合などは、学習ルートを消去(→ P.107)してから新しいルートを学習させてください。ただし、消去を行うと学習したすべてのルートが消去されますのでご注意ください。

スマート IC を考慮したルート探索

スマート IC とは、ETC 専用の簡易インターチェンジのことをいいます。スマート IC 考慮ルート探索が「ON」に設定されている場合は(→ P.127)、スマート IC を乗降 IC の対象としてルート探索を行います。



インフォメーション

- すでに案内中のルートがある場合は、設定変更できません。
- スマート IC に営業時間がある場合は、営業時間を考慮したルート探索を行います。スマート IC の営業時間は、時間規制(→ P.82)と同様に考慮されます。
- スマート IC は施設管理者の都合で閉鎖される場合があります。この場合はルート案内の対象となっても実際には利用できませんのでご注意ください。

2. ルートの操作

1. ルートを探索する

交通規制を考慮したルート探索 (VICS 交通規制考慮ルート探索)

FM 多重放送 (→ P.112) による交通規制情報を考慮してルート探索を行います。



インフォメーション

- 交通規制情報が取得できないときは、VICS 交通規制考慮ルート探索はできません。
- 必ずしも実際の交通規制を避けるルートになるとは限りません。

時間規制を考慮したルート探索

通行規制の地域や時刻を考慮したルート探索を行います。



インフォメーション

- 目的地によっては、時間規制考慮ルート探索の結果、探索できない場合があります。その場合はメッセージが表示され、規制を無視するか無視しないかを選ぶことができます。
- 時間・曜日・月日の条件付きで時間規制考慮ルート探索を行う場合は、探索開始時刻を基準に考慮します。
- 複数ルートの探索においては、規制がかかった道路を通らずに目的地に到着できる場合、すべてのルートが時間規制道路を通らないルートになります。
また、規制のかかった道路を通らないと到着できない場合は、すべてのルートが時間規制道路を通るルートになります。

2. ルート誘導・案内

ルート案内中の表示や音声案内について説明します。

ルート案内中の現在地画面

目的地までの距離と到着予想時刻

走行中の名称（現在地など）



案内中のルート



インフォメーション

- 案内中のルートは、色塗り表示されます。また、目的地付近は細街路まで探索され、細街路はルートの道塗りより薄い色で表示されます。フェリー航路は点線で表示されます。場所によっては道塗りされない場合もあります。
- 到着予想時刻には、→「案内表示設定」(P.125) で設定した到着予想時刻速度が反映されます。また VICS 情報も考慮されます。表示される時刻はあくまでも推測時刻で実際の到着時刻とは異なります。
- 誘導中のレーンが灰色に白の矢印で表示され、通行が推奨される誘導レーンは青色に白の矢印で表示されます。
- ルート探索については、→「ルートに関する注意事項」(P.153) を参照してください。
- 地図表示の設定によって表示は変わります。設定項目については、→「地図表示設定」(P.124) を参照してください。

2. ルートの操作

2. ルート誘導・案内

案内地に近づく

案内地の手前約 300 m に近づく、交差点案内表示の画面に切り替わり、曲がる方向が表示されます。

拡大図



インフォメーション

- 交差点案内表示は、AV ソース画面を表示している状態でも割り込み表示される場合があります。
- AV ソース画面への交差点案内表示割り込み表示は ON/OFF できます。(→ P.125)
- 交差点案内表示中は、**【拡大解除】** が表示されタッチすると、交差点案内を消すことができます。再度、交差点案内を表示したいときは **現在地** を押します。

案内地のイラスト表示

進行方向に立体交差になる側道がある場合や、交差点イラストのデータが収録されている場合は、交差点案内図の代わりに立体的に描画されたイラストが表示されます。

交差点イラスト



立体交差イラスト



都市高速道路の入口に近づく

ルート上の都市高速道路入口の手前約 300 m に近づく、イラストが表示されます。





インフォメーション

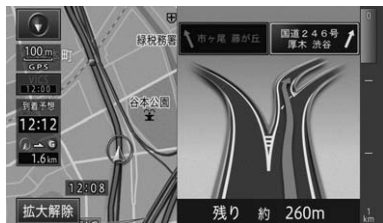
- 一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。
- 都市高速入口の直前に案内地点がある場合には、イラストが表示されないことがあります。

有料道路の入口や出口の料金所に近づくとき

本機に販売店装着オプションのナビ連動ETCシステムを接続している場合は、ETCの情報が受信できている場合は、ETCの利用可否と料金が音声案内されます。また、料金についてはメッセージ表示も行います。

有料道路の入口、出口、または料金所を通過すると

ルート上の有料道路の入口、出口、または料金所を通過後に分岐情報がある場合は、進行方向を示すイラストが表示されます。



インフォメーション

- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

細街路に近づくとき

ルート上の細街路に近づくとき、メッセージと音声で案内されます。



インフォメーション

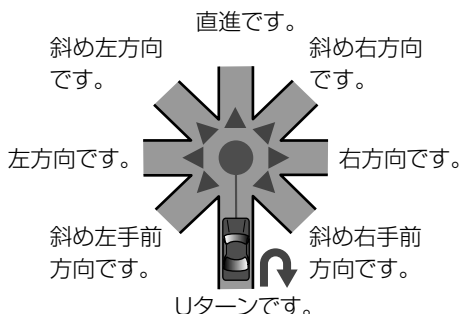
- メッセージは細街路走行中、表示し続けます。
- 細街路内からルート走行を開始した、または細街路内でエンジン ON/OFF した場合は、音声案内は行われません。ただし、メッセージは表示されます。
- 細街路案内は変更（する／しない）できます。
(→ P.126)

音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。案内する音声の言語は、日本語・英語・中国語・韓国語から選択できます。→「**言語の設定操作**」(P.45)

進行方向案内

進行方向（8 方向）は、音声で以下のように案内されます。



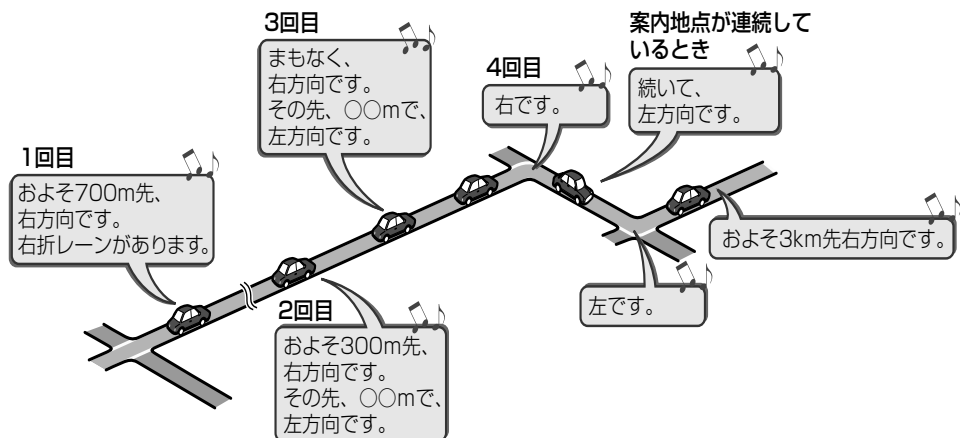
インフォメーション

- 右方向や左方向などの案内だけではうまく案内できない地点においては、走行すべきレーンなども案内します。
- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 本機の ETC 情報案内機能を利用するには、本機に販売店装着オプションのナビ連動 ETC システムを接続する必要があります。
- ETC 情報案内は、情報提供施設からの情報により、案内が行われます。

種類	案内例
側道案内	およそ〇〇 m 先、側道を左方向です。
有料道路入口・出口案内	およそ〇〇 m 先、左方向、入口です。
有料道路料金所案内	およそ〇〇 km 先、料金所です。
ETC 料金案内	料金は、〇〇円でした。 払い戻し料金は〇〇円です。
スマート IC 案内	その先、スマート IC です。 実際の案内標識に従ってお進みください。
レーン案内	およそ〇〇 m 先、右方向です。 右折レーンがあります。
信号機ジャスト案内	この信号を左です。

一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大 4 回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。



2

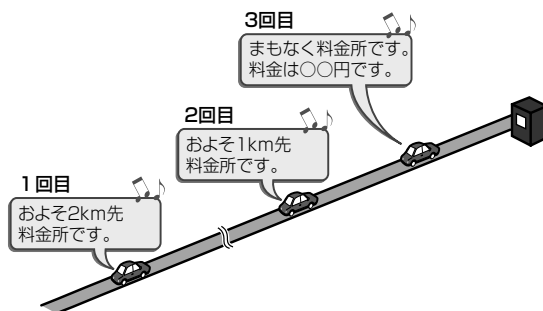
ナビゲーション

追加目的地に近づいたら

追加目的地の約 300 m 手前に近づくと、「まもなく目的地周辺です」と音声案内が流れます。

有料道路走行時の案内

車の走行に合わせ、分岐や出口、料金所の手前で最大 3 回、音声案内が流れます。また、そのタイミングで方面名称や分岐イラスト (→P.85) などが表示されます。



3. ルート案内中の操作と機能

ルート案内中にできる操作と、いろいろな機能を説明します。

ルートから外れたときに自動的にルートを再探索する

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します（オートリルート）。



インフォメーション

- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います。

ルートの再探索をする

ルート案内中の現在地画面を表示させるとときに、ルートの再探索ができます。再探索するルートは、探索条件を選ぶことにより異なります。



インフォメーション

- 目的地が複数設定されている場合、現在地から一番近い目的地と現在地までの一区間だけを、選択された探索条件で再探索します。

2 再探索する項目にタッチする



【推奨】	一般的なルートを案内します。
【有料優先】	有料道路を優先して通るルートを案内します。
【一般優先】	一般道路を優先して通るルートを案内します。
【距離優先】	総距離が一番短くなるルートを案内します。
【次の●消去】	現在地の次の目的地を消去して、再探索します。
【指定IC解除】	次のICの指定を解除して、再探索します。

1 [再探索] にタッチする



状況に応じて新しいルート を提案する

新しいルートが見つかった、「新しい候補ルートが見つかりました」と音声案内が流れ、状況に応じた新しいルートを提案します。



インフォメーション

- ・案内地付近や案内地が連続している場合は、機能しない場合があります。
- ・新しい候補ルートは、元のルートより所要時間、または距離が増加するルートが提示されることがあります。
- ・新しい候補ルートが提案された時は、元ルートと新ルートのどちらを利用するか選択することができます。ただし下記の場合、自動的に新ルートが選択されます。
 - 10 秒間操作をしなかった場合
 - 新旧ルートの分岐点まで 400 m（高速道路は 900 m）以内に到達した場合
 - 次の案内地点まで 400 m（高速道路は 900 m）以内に到達した場合
 - 新旧ルートの提案から 500 m（高速道路は 1,500 m）以上走行した場合

ルート上に通行止めが発生した場合

ルート上に通行止めが発生した場合は、「ルート上に通行止めが発生したため新ルートで案内します」と音声案内と画面表示され、新ルートの方の案内となります。**【了解】** にタッチしてください。（通行止め考慮オートリルート）

ルート上の交通情報を案内させる

ルート上に発生した VICS の渋滞・規制情報を地図や音声で案内させることができます。



インフォメーション

- ・VICS 情報が取得できないときなどは働かないことがあります。
- ・音声では、例：“およそ 3 km 先、1 km の渋滞が発生しています。通過に 5 分ほどかかります。”と案内されます。

渋滞オートガイド

ルート上に発生した交通情報を自動的に音声で案内します。



インフォメーション

- ・案内中のルートが無い場合は、案内されません。

渋滞チェック

【VICS】 にタッチすると、ルート上に発生している交通情報を音声案内で確認することができます。



インフォメーション

- ・案内中のルートが無い場合は、案内されません。
- ・VICS 情報が受信できていない場合、VICS 地図情報提供時刻が灰色となり選択はできません。（→ P.110）

ターンリストの表示

ターンリストは、ルート上で通過予定の分岐する交差点、IC、JCT、追加目的地の名称や案内方向、距離などの情報を画面に表示させることができます。

案内ポイントから次のポイントまでの距離

案内ポイントとなる交差点、IC、JCT、PA名、または目的地など



案内ポイントで案内する方向 現在走行中の路線名



インフォメーション

- ターンリストは自動表示の設定（する／しない）ができます。（→P.125）
- 地図データに情報のない交差点、IC、JCT名および路線名は表示されません。
- 目的地やフェリーの場合、案内方向表示の代わりにアイコンを表示します。

4. ルートを変更する

設定したルートを確認したり、追加目的地や乗降 IC などを指定したり、ルート
を編集することができます。

1 MENU を押し、[設定・編集]
にタッチする



2 [ルート変更] にタッチする



▼
ルートの変更画面が表示されます。



[追加]	目的地を追加します。 (→ P.91)
[消去]	目的地を消去します。 (→ P.92)
[並び替え]	目的地を並び替えます。 (→ P.93)
[探索条件変更]	探索条件を変更します。 (→ P.93)

出口 IC	出口 IC を指定します。 (→ P.94)
入口 IC	入口 IC を指定します。 (→ P.94)

目的地を追加する

目的地を設定したあと、さらに追加して目
的地を設定することができます。

1 [追加] にタッチする



2 目的地の検索方法を選び、追加
したい地点の地図を表示する



3 [目的地セット] にタッチする



2. ルートの操作

4. ルートを変更する

4 目的地を設定する区間の【設定】にタッチする



インフォメーション

- 目的地は5カ所まで追加できます。
- あとから順番を並べ替えることもできます。

3 消去する目的地を選んで【消去】にタッチする



インフォメーション

- すべての目的地を消去する場合、【全選択】にタッチして【消去】にタッチします。
- 追加目的地を設定していない場合、この手順は発生しません。

目的地を消去する

追加目的地または最終目的地を消去します。案内中のルートが消去する場合は、すべての目的地を消去します。

1 **MENU**を押し、【目的地】にタッチする (→ P.50)

2 【目的地消去】にタッチする



4 【はい】にタッチして、目的地を消去する



インフォメーション

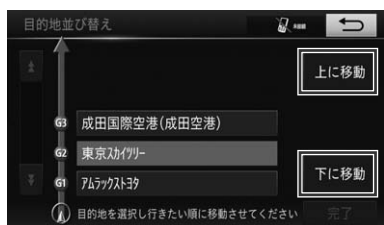
- **MENU** - 【設定・編集】 - 【ルート変更】 - 【消去】でも同じ操作ができます。
- すべての目的地を消去すると、ルートが消去され、ルート案内が中止されます。

目的地への順番を並べ替える

1 【並び替え】にタッチする (→ P.91)



2 順番を変更したい目的地にタッチして、【上に移動】または【下に移動】で目的地を並べ替える



3 【完了】にタッチする



探索条件を変更する

目的地を複数設定しているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。

1 【探索条件変更】にタッチする (→ P.91)



2 変更したい探索条件にタッチして、【探索開始】にタッチする



2. ルートの操作

4. ルートを変更する

乗降 IC（出口 IC または入口 IC）を指定する

目的地を設定したあと、ルート案内の出口 IC、または入口 IC を 1 カ所ずつ指定できます。



インフォメーション

- 設定されているルートで使用されている入口または出口によっては、乗降 IC が指定できない場合があります。
- 目的地の追加、削除、または並べ替えをすると、指定した乗降 IC は解除されます。
- スマート IC 考慮ルート探索が機能している場合は、スマート IC を乗降 IC として指定することもできます。（→ P.81）

1 指定する出口 IC、または入口 IC にタッチする（→ P.91）



インフォメーション

- ルート案内開始画面からも指定できます。（→ P.79）

2 IC リストから、選択する IC 名称にタッチする



インフォメーション

- ジャンクション（JCT）を選べると、分岐先の有料道路のインターチェンジリストが表示されます。

3 [探索開始] にタッチする



乗降 IC を解除する

1 解除する出口 IC、または入口 IC にタッチする



2 [出口解除] または [入口解除] にタッチする



1. 場所を登録する

自宅や友人宅などの覚えておきたい場所を登録しておく、ルート設定などの操作がかんたんになります。



インフォメーション

- ・メモリ地点 400 件、特別メモリ地点 5 件、および自宅 1 件まで登録できます。
- ・メモリ地点や特別メモリ地点の情報を SD カードに保存したり、メモリ地点のデータを SD カードから、本機に読み込ませたりすることができます。→ **「登録データを移行する」(P.103)**
- ・メモリ地点や特別メモリ地点の名称やマークは変更することができます。
 - → **「メモリ地点の登録内容を修正する」(P.99)**
 - → **「特別メモリ地点の登録内容を修正する」(P.100)**

2

ナビゲーション

場所を登録する

探した場所やドライブで訪れた場所を登録しておく、次回そこへ行くときにかんたんにルートを探索することができます。また、登録した場所へ近づくと自動的に音を鳴らすこともできます。(→ P.98)

メモリ地点を登録する

登録したい場所を、メモリ地点として 400 件まで登録できます。

- 1 MENU** を押し、**【設定・編集】** → **【メモリ地点登録・編集】** にタッチする (→ P.52)

簡単な操作で登録する

- 1 場所を探す** (→ P.68)

- 2 【地点登録】 にタッチする**



検索した地点がメモリ地点として登録されます。

- 2 【メモリ地点】 にタッチする**



3. 登録地の操作

1. 場所を登録する

【メモリ地点移行】	パスワードを設定することで、登録データをSDカードに保存したり、SDカード内の登録データをナビ本体へ読み込ませることが出来ます。(→P.103)
	メモリ地点登録・編集画面に戻ります。
【登録】	新規にメモリ地点を登録することができます。(→P.95)
【修正】	メモリ地点の登録時に設定した内容を修正することができます。(→P.99)
【消去】	メモリ地点を消去することができます。(→P.101)

3 【登録】 にタッチする

4 検索方法を選択して、場所を探す(→ P.68)

5 【セット】 にタッチする



検索した地点がメモリ地点として登録され、メモリ地点編集画面が表示されます。

登録内容を修正する場合は、→「メモリ地点の登録内容を修正する」(P.99)の手順 **3** 以降を参照してください。

特別メモリ地点を登録する

通常のメモリ地点とは別に、特別メモリ地点を5件まで登録できます。よく行く地点などは特別メモリ地点として登録しておくことで検索時などに便利です。

1 **MENU** を押し、【設定・編集】→【メモリ地点登録・編集】にタッチする(→ P.52)

2 【特別メモリ】 にタッチする



【メモリ地点移行】	パスワードを設定することで、登録データをSDカードに保存したり、SDカード内の登録データをナビ本体へ読み込ませることが出来ます。(→P.103)
	メモリ地点登録・編集画面に戻ります。
【登録】	新規に特別メモリ地点を登録することができます。(→P.96)
【修正】	特別メモリ地点の登録時に設定した内容を修正することができます。(→P.100)
【消去】	特別メモリ地点を消去することができます。(→P.102)

3 【登録】 にタッチする

4 検索方法を選択して、場所を探す(→ P.68)

5 [セット] にタッチする (→ P.96)

6 登録先の番号を選んでタッチする



インフォメーション

- すでに登録してある特別メモリを置き替える場合は、置き替えたい登録先の番号にタッチして、上書き確認のメッセージが表示されたら **【はい】** にタッチします。



検索した地点が特別メモリ地点として登録され、メモリ地点編集画面が表示されます。

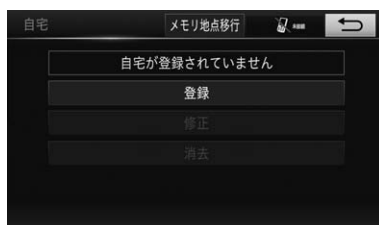
登録内容を修正する場合は、→「**特別メモリ地点の登録内容を修正する**」(P.100) の手順 **4** 以降を参照してください。

自宅を登録する

自宅の場所を 1 件登録できます。

1 MENU を押し、[設定・編集] — [メモリ地点登録・編集] に タッチする (→ P.52)

2 [自宅] にタッチする



【メモリ地点 移行】



パスワードを設定することで、登録データを SD カードに保存したり、SD カード内の登録データをナビ本体へ読み込ませることができます。(→ P.103)

【登録】

自宅が未登録の場合、自宅を登録することができます。(→ P.97)

【修正】

自宅の登録時に設定した内容を修正することができます。(→ P.101)

【消去】

自宅を消去することができます。(→ P.103)

3 [登録] にタッチする

4 検索方法を選択して、場所を探す (→ P.68)

3. 登録地の操作

1. 場所を登録する

5 【セット】にタッチする (→ P.96)



検索した地点が自宅として登録され、自宅編集画面が表示されます。

登録内容を修正する場合は、→「**自宅の登録内容を修正する**」(P.101)の手順

3以降を参照してください。



インフォメーション

- すでに自宅が登録済みの場合は、登録済みの自宅を消去 (→ P.103) してから登録してください。QUICK SETUP で自宅を登録し直す場合は、自宅を上書きできます。

効果音について

効果音を設定することで、メモリ地点、特別メモリ地点、または自宅の各登録地に近づくと、自動的に音を鳴らすことができます。

効果音は、各登録地の内容画面から**【マーク】**－**【効果音】**で設定できます。
(→ P.99, 100, 101)



インフォメーション

- 効果音を設定された各登録地が、自転車から約 500 m 以内に近づくと効果音が鳴ります。
- 自転車から約 500 m 以内に各登録地が複数ある場合は、近いものから効果音が鳴ります。
- 一度効果音が鳴ると、30 分経過するか本機の電源を入れ直さないと（エンジンをかけ直さないと）、効果音は再度鳴りません。
- 各登録地の効果音よりも、ルートや VICS の音声案内が優先されます。

2. 登録内容を修正・消去する

メモリ地点や特別メモリ地点に関する情報（名称、電話番号、マーク、効果音、位置）を変更、または登録を消去できます。

メモリ地点の登録内容を修正する

- 1 【修正】 にタッチする
（→ P.96）
- 2 登録内容を修正したい地点に
タッチする



👉 インフォメーション

・ 【ソート】 にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとリストを並べ替えることができます。	
【マーク順】	マークごとに並べ替えます。
【登録順】	登録日時順に並べ替えます。

3 変更したい項目にタッチする



【マーク】	地図上に表示されるメモリ地点の2Dマークを変更します。また、メモリ地点に近づくときに鳴らす効果音を設定できます。（→ P.98）
【地図への名称表示】	地図上に名称を表示できます。（→ P.100）
【名称】	変更したい名称を全角で20文字（半角で20文字）まで入力できます。
【位置】	メモリ地点の位置を修正します。
【電話番号】	電話番号を入力します。電話番号を設定しておくと、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。

4 ↩ にタッチする

手順 2 の画面に戻ります。

登録した場所の名称を地図上に表示させる

【地図への名称表示】にタッチして ON にすることで、マークに加え登録した場所の名称も地図上に表示されます。タッチすると ON/OFF を設定できます。



地図への名称表示の ON/OFF によって、表示されるマークが変わります。



ON にすると、【地図への名称表示】の左横にあるインジケーターが点灯します。



インフォメーション

- 画面上に名称を表示できるメモリ地点は 100 件までです。101 件目以降はマークだけの表示となります。
- 名称表示を ON にしている場合、マークの表示は変更できません。

特別メモリ地点の登録内容を修正する

1 【修正】にタッチする (→ P.96)

2 登録内容を修正したい地点にタッチする



インフォメーション

- リストは特別メモリ地点 ID 順で表示されます。

3 変更したい項目にタッチする



【マーク】 地図上に表示される特別メモリ地点の 2D マークを変更します。また、特別メモリ地点に近づいたときに鳴らす効果音を設定できます。(→ P.98)

【地図への名称表示】 地図上に名称を表示できます。(→ P.100)

【名称】 変更したい名称を全角で 20 文字（半角で 20 文字）まで入力できます。

【位置】 特別メモリ地点の位置を修正します。

【電話番号】	電話番号を入力します。電話番号を設定しておく、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。
---------------	--

4 にタッチする

特別メモリ編集選択リスト画面に戻ります。

自宅の登録内容を修正する

1 **【修正】** にタッチする (→ P.97)

2 変更したい項目にタッチする



【マーク】	地図上に表示される自宅の2Dマークを変更します。また、自宅に近づいたときに鳴らす効果音を設定できます。(→ P.98)
--------------	---

【地図への名称表示】	地図上に名称を表示できます。(→ P.100)
-------------------	-------------------------

【名称】	変更したい名称を全角で20文字(半角で20文字)まで入力できます。
-------------	-----------------------------------

【位置】	自宅の位置を修正します。
-------------	--------------

【電話番号】	電話番号を入力します。電話番号を設定しておく、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。
---------------	--

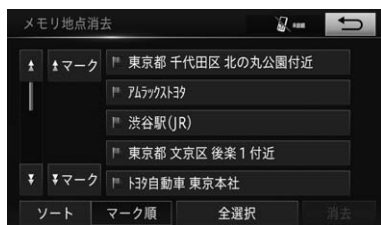
3 にタッチする

自宅編集選択リスト画面に戻ります。

メモリ地点を消去する

1 **【消去】** にタッチする (→ P.96)

2 消したいメモリ地点にタッチする



タッチしたメモリ地点は色が変わり、引き続き選択できます。選択を解除する場合は、再度そのメモリ地点にタッチします。

【全選択】	すべてのメモリ地点が選択されます。
【全選択解除】	選択されているメモリ地点すべてを解除します。



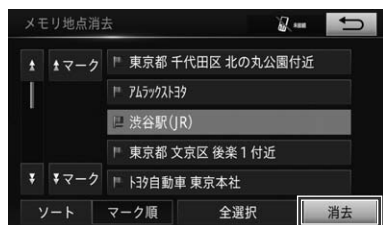
インフォメーション

- ・ **【ソート】** にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとリストを並べ替えることができます。

【マーク順】	マークごとに並べ替えます。
---------------	---------------

【登録順】	登録日時順に並べ替えます。
--------------	---------------

3 [消去] にタッチする



▼
確認メッセージが表示されます。

4 [はい] にタッチする

▼
メモリ地点が消去されます。

特別メモリ地点を消去する

1 [消去] にタッチする (→ P.96)

2 消したい特別メモリ地点にタッチする



▼
タッチした特別メモリ地点は色が変わり、引き続き選択できます。選択を解除する場合は、再度その特別メモリ地点にタッチします。

【全選択】	すべての特別メモリ地点が選択されます。
【全選択解除】	選択されている特別メモリ地点すべてを解除します。

3 [消去] にタッチする

▼
確認メッセージが表示されます。

4 [はい] にタッチする

▼
特別メモリ地点が消去されます。

自宅を消去する

1 【消去】にタッチする (→ P.97)

確認メッセージが表示されます。

2 【はい】にタッチする

自宅が消去されます。

登録データを移行する

登録したメモリ地点、特別メモリ地点、および自宅の全データをSDカードに保存できます。また、SDカードに保存されているデータを読み込むこともできます。

1 【メモリ地点移行】にタッチする (→ P.96)



インフォメーション

- メモリ地点登録・編集画面で、【特別メモリ】－【メモリ地点移行】、または【自宅】－【メモリ地点移行】でも同じ操作ができます。

メモリ地点移行メニュー画面が表示されます。



保存－【SD】	本機に登録したメモリ地点、特別メモリ地点、および自宅の全データをSDカードに保存します。(→ P.104)
---------	---

読み込み－【SD】	SDカードに保存されているメモリ地点、特別メモリ地点、および自宅の全データを本機に読み込ませます。(→ P.104)
パスワード－【設定】	登録データの保存、または読み込み時に使用するパスワードを設定します。(→ P.103)
パスワード－【初期化】	設定したパスワードを初期化します。(→ P.105)

パスワードを設定する

登録データの保存や読み込みには、パスワードの設定が必要です。

1 「パスワード」の【設定】にタッチする (→ P.103)

2 パスワードを入力して【完了】にタッチする



インフォメーション

- 入力できるパスワードは、半角数字で4桁までです。

確認のため再度、パスワード入力画面が表示されます。

3 手順 2 で入力したパスワードを入力して【完了】にタッチする

パスワードが設定されます。

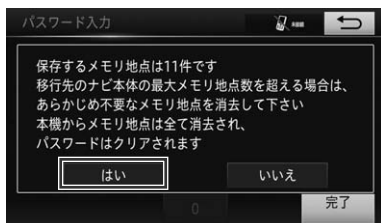
登録データを SD カードに保存する

1 「保存」の【SD】にタッチする (→ P.103)

2 パスワードを入力して【完了】にタッチする



3 【はい】にタッチする



登録されているメモリ地点、特別メモリ地点、および自宅の全データを一括でSDカードに保存します。

注意

- データ保存中は、本機の電源を OFF にしたり、SD カードを抜いたりしないでください。

保存処理終了メッセージが表示されます。

4 【了解】にタッチする



インフォメーション

- すでにメモリ地点などがSDカードに保存されている場合は、【はい】にタッチするとSDカードに保存されているデータが上書き(消去)され、本機に登録されているデータをSDカードに保存します。キャンセルする場合は【いいえ】にタッチしてください。
- SDカードに保存するメモリ地点のデータは、アクセス日時順で保存します。
- メモリ地点、特別メモリ地点、および自宅を合わせて最大 406 件まで保存できます。
- SDカードへの保存が正常に終了した場合、本機のメモリ地点、特別メモリ地点、および自宅のデータがすべて消去され、パスワードが初期化されます。

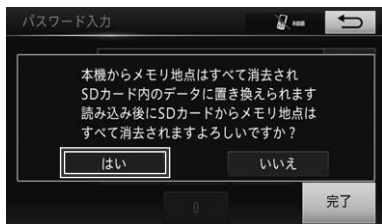
登録データを SD カードから読み込む

1 「読み込み」の【SD】にタッチする (→ P.103)

2 パスワードを入力して【完了】にタッチする



3 【はい】 にタッチする



SD カードに保存されているメモリ地点、特別メモリ地点、および自宅の全データを一括で本機に読み込みます。

注意

- データ読み込み中は、本機の電源を OFF にしたり、SD カードを抜いたりしないでください。

読み込み処理終了メッセージが表示されます。

4 【了解】 にタッチする



インフォメーション

- ・すでにメモリ地点などが本機に登録されている場合は、【はい】 にタッチすると本機に登録されているデータが上書き (消去) され、SD カードに登録されているデータを本機に移行します。キャンセルする場合は【いいえ】 にタッチしてください。
- ・本機へ正常に読み込みが行われた場合は、SD カード内のメモリ地点、特別メモリ地点、および自宅のデータは消去されます。
- ・SD カードからの読み込み中に本機のメモリ地点、特別メモリ地点、および自宅の各件数が登録可能最大数に達した場合は、その旨メッセージを表示し、それ以上の読み込みは行いません。

パスワードを初期化する

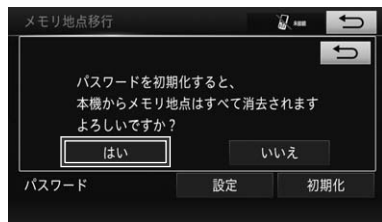


インフォメーション

- ・パスワードを初期化した場合、同時に本機のメモリ地点、特別メモリ地点、および自宅の全データも消去されます。初期化する際は、事前に SD カードへ登録データを保存 (→ P.104) することをお勧めします。

1 「パスワード」の【初期化】にタッチする (→ P.103)

2 【はい】 にタッチする



再確認メッセージが表示されます。

3 【はい】 にタッチする

パスワードが初期化されます。

1. その他のデータを消去する

本機に保存されたいろいろな機能のデータを消去することができます。

目的地の検索履歴を消去する

場所を探すと、探した場所が自動的に検索履歴として 100 件まで保存されていきます。

次の手順で検索履歴を消去することができます。

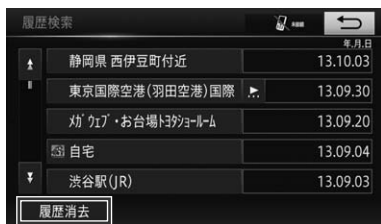
1 **MENU** を押し、**【目的地】** にタッチする



2 **【履歴】** にタッチする



3 **【履歴消去】** にタッチする



4 消去したい検索履歴にタッチする



タッチした検索履歴は色が変わり、引き続き選択できます。選択を解除する場合は、再度その検索履歴にタッチします。

【全選択】	すべての検索履歴が選択されます。
【全選択解除】	選択されている検索履歴すべてを解除します。

5 **【消去】** にタッチする

確認メッセージが表示されます。

6 **【はい】** にタッチする

選んだ検索履歴が消去されます。



インフォメーション

・ **MENU** を押し、**【設定・編集】** - **【ナビ詳細設定】** - **【その他】** - **【目的地/検索履歴の消去】** でも、手順 **3** からと同様に検索履歴を消去できます。

ルートの学習内容を消去する

本機は、よく使用する道を学習しており、ルート探索時に学習した道を優先的に使用します。→「学習ルート探索」(P.81)

よく使用する道を変更した場合などは、学習ルートを消去してから再学習を行います。

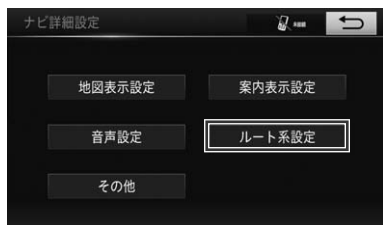


インフォメーション

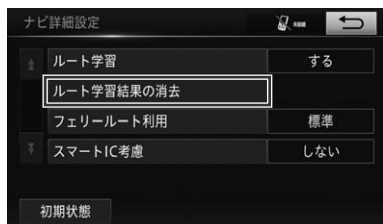
- すべての学習ルートが消去されますのでご注意ください。

1 MENUを押し、[設定・編集] — [ナビ詳細設定] にタッチする (→ P.51)

2 [ルート系設定] にタッチする



3 [ルート学習結果の消去] にタッチする



確認メッセージが表示されます。

4 [はい] にタッチする

学習ルートが消去されます。

走行軌跡を消去する

地図画面に表示される走行軌跡を消去することができます。

工場出荷時の設定は「走行軌跡解除」です。

1 現在地画面で、[表示変更] にタッチする (→ P.23)

2 [走行軌跡解除] にタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 [はい] にタッチする

走行軌跡が消去されます。



インフォメーション

- 走行軌跡を解除すると、地図上に表示されていた走行軌跡も消去されます。
- これまでの走行軌跡を保存しておきたい場合は、手順 **3** で確認メッセージの **【いいえ】** にタッチしてください。
- 再度、走行軌跡を表示させる場合は、現在地画面で **[表示変更] — [走行軌跡表示]** にタッチしてください。(→ P.62)

2. FM-VICS 情報を利用する

車載のアンテナで FM-VICS 情報（VICS センターから提供）を受信し、交通規制などを確認することができます。

VICS 情報とは

VICS（Vehicle Information & Communication System：道路交通情報通信システム）とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。

VICS 情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、かんたんな地図イラストや文字で見することもできます。

簡易図形

かんたんな地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。



文字

文字で道路交通情報が表示されます。



VICS 情報の表示形態

ドライバーは VICS センターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

- 渋滞情報（順調情報も含む）
- 旅行時間情報
- 交通障害情報
- 交通規制情報
- 駐車場情報

地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



インフォメーション

- ・ 情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

VICS・交通情報を表示する

- 1 現在地画面で、**【表示変更】**－**【VICS・交通情報】**にタッチする



- 2 **VICS・交通情報を表示する道路にタッチする**

【全て】	高速道路と一般道路に表示します。
【高速道のみ】	高速道路だけに表示します。
【一般道のみ】	一般道路だけに表示します。
【非表示】	交通情報を表示しません。



インフォメーション

- ・ハイウェイモード (→ P.65) では、一般道のみを設定している場合でも、VICS・交通情報が表示されます。

表示する VICS・交通情報を選択する

- 1 現在地画面で、**【表示変更】**－**【VICS・交通情報】**にタッチする
- 2 **【表示設定】**にタッチする
- 3 表示する VICS・交通情報にタッチする

【渋滞・混雑】	渋滞や混雑している道路を表示します。
【空き道】	空いている道路を表示します。
【規制情報】	規制がある道路を表示します。
【駐車場】	駐車場情報を表示します。



インフォメーション

- ・選択したスイッチは、スイッチ左横のインジケーターが点灯します。再度タッチするとインジケーターが消灯し選択が解除されます。

地図上で VICS 情報を見る

地図の表示形態では、VICS センターから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りや VICS マークで地図上に表示されます。

一般道路への表示

渋滞	赤色に灰色（※）の縁取り
混雑	橙色に灰色（※）の縁取り
順調	明るい青に灰色（※）の縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
通行止め	黒

有料道路への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	橙色に青い縁取り
順調	明るい青に青い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
入口閉鎖・通行止め	黒

※地図色が「ストレート」以外の場合は、白になります。



VICS 地図情報提供時刻表示（背景色）

赤色	直近の交通情報が「渋滞」
橙色	直近の交通情報が「混雑」
黄色	直近の交通情報が「規制」
黒色	直近の交通情報が「渋滞」、「混雑」、「規制」以外、または交通情報を受信していない



インフォメーション

- 本機の電源を ON（エンジンを ON）にしてから受信した VICS 情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り替えてください。（→P.112）
- VICS 情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。
- **[VICS]** の情報提供時刻部にタッチすると、ルート案内中はルート上前方の渋滞や規制の情報を音声案内でお知らせします。（→P.111）
- VICS 交通情報は、800 m 縮尺表示より広域の地図には表示されません。ただし、通行止め考慮オートリルート画面（→P.89）では、800 m 縮尺表示より広域の地図でも、VICS の規制情報マークのみ表示されます。

VICS マークの種類

VICS 情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。

	大型通行止め		故障車
	作業		路上障害
	チェーン規制		凍結
	進入禁止		入口制限
	通行止め・閉鎖		事故
	工事中		入口閉鎖
	片側交互通行		対面通行
	車線規制		徐行
	速度規制 (数字は制限速度)		行事
	気象		火災
	災害		原因なし
	駐車場 (閉鎖)		
	駐車場 (空車:青、混雑:橙色、満車:赤、不明:黒)		



インフォメーション

- VICS マークにタッチすると、詳細な情報が表示できます。

「VICS 地図情報提供時刻表示」の内容

FM 多重放送による VICS 情報提供時刻が表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

受信中の放送局の受信感度を確認してください。→「**放送局の受信状態の確認について**」(P.113)

2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現在地周辺の VICS 情報（道塗り情報）と別のエリア（隣接する都道府県など）の VICS 情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

ルート上の交通情報を案内させる

ルート上に発生した VICS の交通情報を音声で案内させることができます。



インフォメーション

- VICS 情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、例：“およそ 3 km 先、1 km の渋滞が発生しています。通過に 5 分ほどかかります。”と案内されます。

渋滞オートガイド

ルート上に発生した交通情報を自動的に音声で案内します。



インフォメーション

- 案内中のルートが無い場合は、案内されません。

渋滞チェック

VICS 地図情報提供時刻表示 (→P.110) にタッチすると、ルート上に発生している交通情報を音声案内で確認することができます。

VICS の文字・図形情報を見る

文字や図形の VICS 情報を表示させることができます。

1 MENU を押し、【情報】にタッチする

2 【VICS】にタッチする



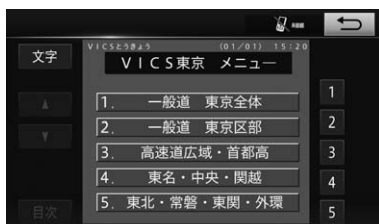
3 表示させたい情報にタッチする



【FM 図形】	図形情報の広域情報を表示します。
【FM 文字】	文字情報の広域情報を表示します。

4 見たい情報の番号にタッチする

メニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。渋滞や交通規制などに関する情報が表示されます。



インフォメーション

- 全情報画面が複数のページにおよぶときは、**【▲】**、**【▼】** にタッチすると、ページを送ります。
- すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- **【目次】** にタッチすると、VICS 情報目次画面に戻ります。
- **【文字】** / **【図形】** にタッチすると、VICS 文字情報目次画面と VICS 図形情報目次画面を切り替えます。

放送局を選ぶ

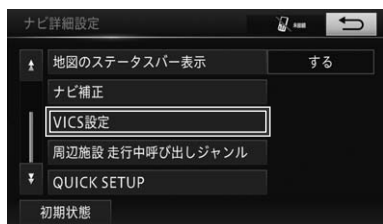
VICS 情報を FM 多重放送から受信するときは、最も受信感度の良い放送局を選びます。

1 MENUを押し、[設定・編集] ー [ナビ詳細設定] にタッチする (→ P.51)

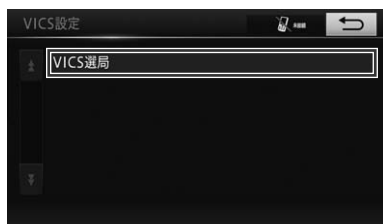
2 [その他] にタッチする



3 [VICS 設定] にタッチする



4 [VICS 選局] にタッチする



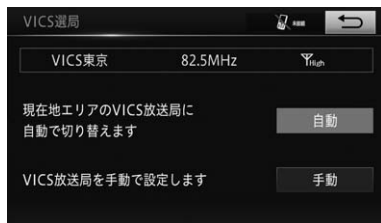
5 放送局を探す方法にタッチする



インフォメーション

- ・【自動】 / 【手動】 にタッチすると、放送局を探す方法を切り替えます。

自動の場合



手動の場合

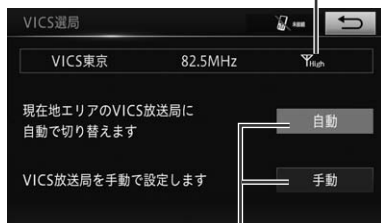


リスト項目	放送局リストから選びます。
【V】 / 【A】	周波数の自動チューニングを行います。受信可能な放送局を受信したところで止まります。

放送局の受信状態の確認について

VICS 選局設定画面では、受信中の放送局名、周波数、受信状態などが表示されます。

受信状態表示



選局方法 (自動/手動)

受信状態表示は、受信感度が高い場合「High」、受信感度が低い場合「Low」と表示されます。

3. 車両メンテナンスを利用する

お車の消耗品の交換時期などの更新時期を設定しておく、交換または更新時期が近づいたことをお知らせするメッセージを表示することができます。

車両メンテナンスとは、GPS (→ P.147) のカレンダー機能と車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期、各種点検時期、または免許証の更新などのイベント時期の案内を行う機能です。車両メンテナンスでは、以下の消耗品があらかじめ設定されています。

必要により、「任意入力1～5」を利用して、消耗品を任意に設定することができます。

- ・ エンジンオイル交換
- ・ オイルフィルター交換
- ・ タイヤローテーション
- ・ タイヤ交換
- ・ エアクリーナー
- ・ ブレーキパッド交換
- ・ Vベルト
- ・ 冷却水 (LLC) 交換
- ・ ブレーキフルード交換
- ・ ATF 交換
- ・ 任意入力
- ・ 任意入力
- ・ 任意入力
- ・ 任意入力
- ・ 任意入力

1 **MENU**を押し、**【設定・編集】**
－メンテナンスにタッチする
(→ P.51)

2 **【項目設定】にタッチする**



メンテナンスメニューが表示されます。

【自動通知】	本機起動時に交換時期のお知らせをするかしないかの設定が行えます。
【設定全消去】	設定したお知らせ時期の項目をすべて消去します。
【自動全更新】	お知らせ時期が過ぎた項目をすべて更新します。
【販売店設定】	販売店を設定します。 (→ P.116)

3. 車両メンテナンスを利用する

メンテナンス項目を設定する

1 **MENU**を押し、**【設定・編集】**
—メンテナンス— **【項目設定】**
 にタッチする (→ P.114)

2 設定する項目にタッチする



インフォメーション

- 任意入力を選択すると、表示されているメンテナンス項目以外の項目を任意で設定できます。

3 入力する項目にタッチして、**メンテナンス項目を設定する**

例：エンジンオイル交換

【マーク】	任意で表示するマークを設定します。 (任意入力のメンテナンス項目を選択した場合だけ表示されます)
【お知らせ日】	お知らせする日付を入力して設定します。
【お知らせ距離】	お知らせする走行距離(km)を入力して設定します。

【設定消去】	全ての設定を未設定状態にします。
【自動更新】	最新の設定に更新します。
【修正】	項目の名称などを間違えて入力した場合、タッチして修正します。 (任意入力のメンテナンス項目を選択した場合だけ表示されます)

各項目設定後、 にタッチすると手順 2 の画面に戻ります。

インフォメーション

- 【自動更新】** は、お知らせ時期を過ぎると選択できます。
- 日付入力画面で、西暦年を入力するときは上2桁の入力は不要です。また、1桁の月・日を入力するときは、先頭に「0」を入力する必要はありません。
 例：2015年7月8日の場合、入力値は「15」、「7」、「8」となります。

販売店の設定をする

- 1 **MENU** を押し、**【設定・編集】** → **メンテナンス** → **【項目設定】** にタッチする (→ P.114)
- 2 **【販売店設定】** にタッチする



- 3 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する (→ P.68)

- 4 **【セット】** にタッチする



インフォメーション

- **「施設で探す」(P.70)** でトヨタ販売店を呼び出し、そのまま位置を調整せずに **【セット】** を選択すると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

販売店の情報を修正・入力する

- 1 **MENU** を押し、**【設定・編集】** → **メンテナンス** → **【項目設定】** にタッチする (→ P.114)
- 2 **【販売店設定】** にタッチする
- 3 変更したい項目にタッチして、修正または入力する

【販売店名】	販売店を修正または入力します。
【スタッフ名前】	スタッフ名を修正または入力します。
【位置】	販売店の位置を修正または設定します。
【電話番号】	販売店の電話番号を修正または入力します。



インフォメーション

- **【販売店に行く】** を選択すると、販売店の地図が表示されます。
- 販売店を消去したいときは、**【販売店の消去】** を選択し、**【はい】** を選択します。

4. エコ情報メニューを使う

エコなルート表示を行うための燃費設定、エコ運転評価の履歴確認、および燃費履歴の表示を行います。

燃費設定をする

一般道路、高速道路走行時の燃費を設定します。ここで設定した内容がエコなルート表示（→P.80）に反映されます。

1 **MENU**を押し、**【情報】**－**【燃費設定】**にタッチする
(→P.51)

2 **【一般道燃費】**または**【高速道路燃費】**にタッチする



3 燃費を入力し、**↩**にタッチする

例：一般道燃費



インフォメーション

- 工場出荷時に目安の燃費が入っています。入力する燃費は、お客様が販売店等で確認なさった燃費を入力してください。また、実際の走行では道路状況、季節、運転のしかたなど各使用状況で燃費は異なることがありますので、選んだルートが必ずしもエコなルートであるとは限りません。

エコ運転評価について

エコ運転評価画面では、エコ運転を急発進、急加速、急減速、巡航、アイドリングの状態から5段階で評価し、運転のアドバイスをを行います。画面は、地図の表示がエコ情報表示のとき表示されます。(→P.57)

警告

- エコ運転評価を参考にして運転する場合は、ナビ画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。



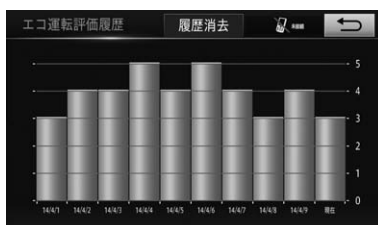
インフォメーション

- 速度と経過時間から計算されます。車速が算出されない状態では正しく計算されない場合があります。(→ P.149)
- 急な坂道など走行環境によりエコ運転評価が低く評価される場合がありますので、ご了承ください。
- 評価は一日単位で行われ、日付が変わると最新のエコ運転評価が履歴に追加保存されます。すでに履歴が9件ある場合、一番古い履歴は削除されます。履歴を確認するには情報メニュー画面で【エコ運転評価履歴】にタッチしてください。
- 以下の場合、エコ運転評価画面は表示されません。
 - 交差点案内表示中
 - レーン情報表示中
 - 方面看板表示中
 - ターンリスト表示中
 - ハイウェイモード表示中

エコ運転履歴の表示

過去 9 件分と最新のエコ運転評価履歴を表示します。

- 1 **MENU** を押し、**【情報】** — **【エコ運転評価履歴】** にタッチする (→ P.51)



インフォメーション

- 履歴を消去したい場合は、**【履歴消去】** — **【はい】** の順にタッチします (履歴は全件消去されます)。

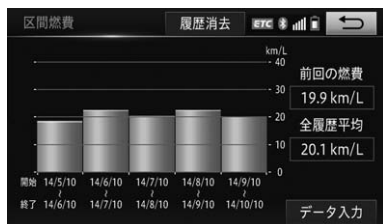
燃費履歴について

給油した量と給油した時点での走行距離から、燃費が計算されます。また、燃費の履歴から平均燃費が計算されます。

燃費の履歴・グラフを表示する

前回の燃費と全履歴の平均燃費が数値で表示され、過去 5 回分の燃費がグラフで表示されます。

1 **MENU** を押し、**【情報】** - **【燃費】** にタッチする (→ P.51)



↑ インフォメーション

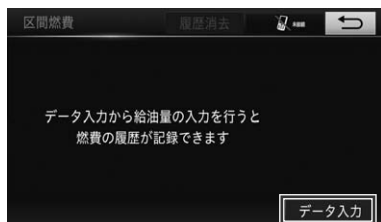
- 履歴を消去したいときは、**【履歴消去】** - **【はい】** の順にタッチします。
- 給油量を入力していない場合、履歴は表示されません。(→ P.119)
- 満タンに給油しない場合、燃費が正確に計算されません。
- グラフの表示は、最大 60 km/L になります。
- 数値の表示は、0.1 km/L から 99.9 km/L になります。

給油量を入力する

ガソリンスタンド給油時に給油量を入力すると、それまでの燃費が計算されます。燃費の計算が終了すると、走行距離はリセット (0.0 km) されます。

1 **MENU** を押し、**【情報】** - **【燃費】** にタッチする (→ P.51)

2 **【データ入力】** にタッチする



3 **【給油量入力】** にタッチする



↑ インフォメーション

- 前回給油時に給油量を入力しなかった場合、給油量を入力しても正しい燃費は計算されません。その場合、給油後に**【走行距離リセット】** - **【はい】** の順にタッチして走行距離をリセットし、次回給油時に改めて給油量を入力してください。
- 走行距離の表示は、0.0 km から 9999.9 km になります。

4 給油量を入力して、[完了] にタッチする



インフォメーション

- 間違えた場合は、**[修正]** にタッチして修正します。
- 入力できる給油量は、0.1 L から 99.9 L になります。

5. スマートフォン連携機能を使う

スマートフォンに専用のアプリケーションをインストールすることでスマートフォンと連携した機能を使用することができます。アプリケーションの機能の詳細や操作の説明は、アプリケーションのホームページをご覧ください。

警告

- スマートフォンは必ず固定してお使いください。走行中に転がり、ブレーキペダルの下に入り込むと大変危険です。
- エアバッグなどの車の安全装置が働いたときに動作の妨げになる場所や視認の妨げになる場所には固定しないでください。

注意

- スマートフォンは車室内に放置しないでください。（炎天下など、車室内が高温となる場合があります。）
- スマートフォンを本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、接続状態が悪化することがあります。



インフォメーション

- ・ 本機能をお使いになるには、専用のアプリケーションをスマートフォンにダウンロードする必要があります。スマートフォンの設定や利用方法については、App Store または Google Play のヘルプをご覧ください。
- ・ スマートフォン連携機能を使うためには、本機とスマートフォンを Bluetooth 接続 (HFP で接続) する必要があります。→ **「2. Bluetooth 設定をする」 (P.129)**
- ・ 接続対応スマートフォンについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・ スマートフォンアプリサービスは、予告なく変更あるいは終了する場合がございます。

スマートフォンアプリをダウンロードする

T-Connect は、スマートフォンやパソコンからも情報確認や各種設定ができます。T-Connect アプリ（無料）を下記のホームページからダウンロードしてください。

- URL : <http://tconnect.jp/spappdl/>
- QR コード



- App Store または Google Play™ で、「T-Connect」と検索すると表示されます。



警告

- 安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。



インフォメーション

- T-Connect アプリの機能紹介や詳細説明については、下記のホームページでご確認ください。
URL : <http://tconnect.jp>

ID 発行・ログイン

初めてご利用いただく際は、T-Connect（スマートフォンアプリ）起動後に表示されるログイン画面で、ID を発行してください。



インフォメーション

- ID は、パソコンサイトログイン時にもご利用いただけます。
- smart G-BOOK アプリをご利用いただいていた方は、ID とパスワードを引き続きご利用いただけます。

1. ナビ詳細設定をする

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

ナビゲーションの設定項目は、機能ごとのメニューに分類されています。

1 MENU を押し、[設定・編集] にタッチする



4 設定する機能のメニューにタッチする



インフォメーション

- ・ 初期設定の状態に戻す場合は、各画面の【初期状態】にタッチします。

2

ナビゲーション

2 [ナビ詳細設定] にタッチする



3 設定を変更したい項目にタッチする



【地図表示設定】 (→ P.124)

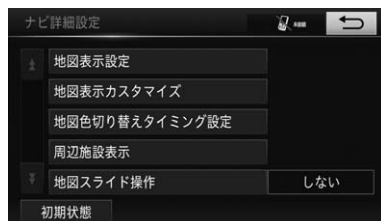
【案内表示設定】 (→ P.125)

【音声設定】 (→ P.126)

【ルート系設定】 (→ P.127)

【その他】 (→ P.128)

地図表示設定



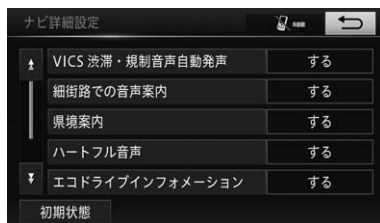
項目	設定	機能
【地図表示設定】	【地図 1 画面】 【地図 & エコ情報】	地図表示設定を変更します。
【地図表示カスタマイズ】	地図色 タブスイッチ ルート色 タブスイッチ 文字サイズ タブスイッチ	地図表示色、ルート表示色、または地図に表示される文字サイズを変更します。
【地図色切り替えタイミング設定】	【時刻連動】 【ライト連動】	昼画面と夜画面の切り替え設定を変更します。
【周辺施設表示】	【GS】 【コンビニ】 【レストラン】 【駐車場】 【銀行】 【郵便局】 【全ジャンル】	地図上に表示させたい施設記号を設定します。 左記表示は工場出荷時の設定です。 【全ジャンル】以外の表示項目は、「周辺施設 走行中呼び出しジャンル」で変更できます。(→ P.128) 表示されている施設以外を設定する場合は、【全ジャンル】をタッチします。(→ P.61)
【地図スライド操作】	【する】 【しない】	地図画面をタッチしたまま指をずらすと、指の動きに合わせて画面が移動する、スライド操作の設定を変更します。

案内表示設定



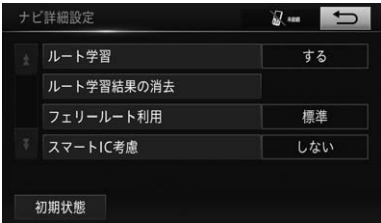
項目	設定	機能
【ターンリスト自動表示】	【する】 【しない】	分岐する交差点などのターンリストの表示設定を変更します。
【縮尺切替メッセージ表示】	【する】 【しない】	縮尺切り替え時のメッセージ表示の設定を変更します。
【オーディオ画面への割り込み】	【する】 【しない】	AV ソース画面への交差点拡大図などの割り込み表示を設定します。
【到着予想時刻用速度設定】	「一般道路」(10 km/h単位で設定) 「有料道路」(20 km/h単位で設定) 【初期状態】	設定した平均速度から、到着予想時刻を計算して表示させます。
【到着予想時刻表示】	【デジタル】 【アナログ】	到着予想時刻の表示設定を変更します。

音声設定



項目	設定	機能
【VICS 渋滞・規制音声自動発声】	【する】 【しない】	VICS 交通情報の音声案内の設定を変更します。
【細街路での音声案内】	【する】 【しない】	細街路の手前 100 mでの音声案内の設定を変更します。
【県境案内】	【する】 【しない】	県境での音声案内の設定を変更します。
【ハートフル音声】	【する】 【しない】	ハートフル音声の設定を変更します。 (一日の最初の起動時に、今日の日付や記念日などを音声で案内します。)
【エコドライブインフォメーション】	【する】 【しない】	エコドライブのアドバイス音声案内の設定を変更します。
【リフレッシュ案内】	【する】 【しない】	休憩案内の音声案内の設定を変更します。
【ライト点灯案内】	【する】 【しない】	ライト点灯の音声案内の設定を変更します。

ルート系設定

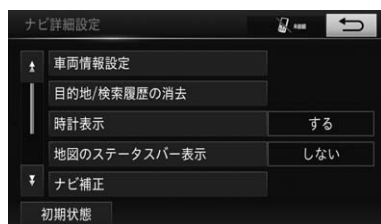


項目	設定	機能
【ルート学習】	【する】 【しない】	ルート学習の設定を変更します。
【ルート学習結果の消去】	-	ルート学習の結果を消去します。
【フェリールート利用】	【標準】 【優先】 【回避】	フェリールートの設定を変更します。
【スマート IC 考慮】	【する】 【しない】	スマート IC を考慮したルート探索の設定を変更します。 (すでに案内中のルートがある場合は、設定変更できません。)

5. ナビゲーションの設定

1. ナビ詳細設定をする

その他



項目	設定	機能
【車両情報設定】	【全長】 【全幅】 【全高】 【ナンバー】	有料道路の料金計算や提携駐車場を検索するときの基準である車両情報を変更します。 (目的地を設定している場合、車両情報の設定と変更はできません。)
【目的地 / 検索履歴の消去】	-	検索履歴を消去します。(→P.106)
【時計表示】	【する】 【しない】	地図画面の時計表示の設定を変更します。
【地図のステータスバー表示】	【する】 【しない】	地図画面のステータスバー表示の設定を変更します。
【ナビ補正】	【現在地修正】 【別道路切替】	・ 現在地の修正をします。 ・ 現在地の一般道路と有料道路を切り替えます。
【VICS 設定】	【自動】 【手動】	VICS 選局の設定を変更します。
【周辺施設 走行中呼び出しジャンル】	【GS】 【コンビニ】 【レストラン】 【駐車場】 【銀行】 【郵便局】 【初期状態】	走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更します。 左記表示は工場出荷時の設定です。【初期状態】以外は変更できます。変更する場合は、変更したい施設にタッチして、「走行中呼出ジャンル」から設定したい施設を選択して変更します。
【QUICK SETUP】	「セキュリティ設定」 「自宅登録」 「案内音量設定」 「車両情報設定」 「地図表示カスタマイズ」 「エコ設定」 「Bluetooth 設定」	QUICK SETUP (→P.39) の設定や設定した内容を修正します。

2. Bluetooth 設定をする

Bluetooth では、さまざまな機器間でデータのやりとりをするため、従来の通信技術のように単に回線を確認してデータを転送するだけではなく、手順を共通化する Bluetooth プロファイルを使用します。

ハンズフリー機能や Bluetooth Audio 機能、スマートフォン連携機能などをお使いになるには、Bluetooth 機器をあらかじめ設定する必要があります。



インフォメーション

- 最大5台の Bluetooth 機器を登録できます。Bluetooth 機器の切り替えかたや削除の方法は→「Bluetooth 機器を切り替える」(P.131)、→「Bluetooth 機器を削除する」(P.132) をご覧ください。
- AV プロファイルを持つ Bluetooth 対応携帯電話を登録した場合、Bluetooth Audio の優先接続機器として設定されます。詳しくは→「1. Bluetooth Audio の操作のしかた」(P.181) をご覧ください。
- QUICK SETUP (→P.39) で設定することもできます。
- スマートフォン連携機能については、→「5. スマートフォン連携機能を使う」(P.121) をご覧ください。

Bluetooth 機器使用上のご注意

本機は、以下の Bluetooth プロファイルに対応しています。

プロファイル名	用途
HFP (HandsFreeProfile)	ハンズフリー通話
SPP (Serial Port Profile)	シリアル通信
OPP (Object Push Profile)	名刺交換データ転送
PBAP (Phone Book Access Profile)	電話帳データ読み込み
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオデータ転送
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)	AV 機器のリモコン機能



インフォメーション

- スマートフォンと本機を HFP で接続することで、スマートフォン連携機能を利用できます。(→P.121)
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などのロック機能を解除してから接続してください。

Bluetooth 機器を初期登録する

ハンズフリーや Bluetooth オーディオを使用するためには、携帯電話／ポータブル機を本機に初期登録する必要があります。初期登録完了後は、エンジン／パワースイッチを OFF から ON にするたびに自動で Bluetooth 接続します。

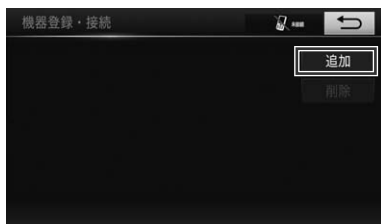
1 MENU を押し、[設定・編集] - Bluetooth にタッチする



2 [機器登録・接続] にタッチする



3 [追加] にタッチする



インフォメーション

- 複数の携帯電話／ポータブル機を使用する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

4 Bluetooth 接続画面が表示されたら、携帯電話／ポータブル機から Bluetooth 登録する



インフォメーション

- 携帯電話側／ポータブル機側の登録操作は、必ずこの Bluetooth 接続画面を表示させて行ってください。
- 携帯電話／ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にしてください。
- 中止するときは、【中止】を選択してください。

5 携帯電話本体／ポータブル機本体で、本機に表示されている機器名称を選択し、PIN コードを入力する



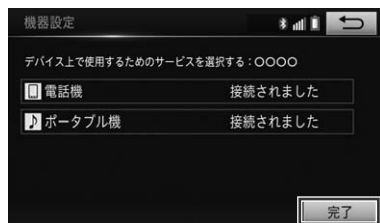
インフォメーション

- PIN コードとは、携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。4 ～ 16 桁の任意の数字に変更することができます。
- 携帯電話／ポータブル機の機種により、PIN コード入力後に携帯電話／ポータブル機の操作が必要になる場合があります。
- SSP (Secure Simple Pairing) に対応している携帯電話は、PIN コードを入力する必要はありません。ただし、機種によっては携帯電話に確認メッセージが表示される場合があります。表示にしたがって操作してください。
- ポータブル機で PIN コード入力できない場合、本機の PIN コードをポータブル機の PIN コードに変更し操作してください。

6 初期登録が完了すると、メッセージが表示されます

失敗画面が表示された場合、画面の案内に従い、操作してください。

7 [完了] にタッチする



インフォメーション

- PBAP 接続 (→ P.129) に対応した携帯電話の場合、機器登録とハンズフリーの接続が完了すると、PBAP を接続して電話帳と履歴が自動転送されます。お使いの携帯電話によってはアクセス許可を認めるかのメッセージが携帯電話側に表示されますので、アクセス許可の操作をしてください。アクセスが許可されるまでは、プロファイルの接続が完了しませんのでご注意ください。

Bluetooth 機器を切り替える

Bluetooth Audio を使用中に Bluetooth 機器の切り替え操作を行うと、Bluetooth Audio の再生が中断されます。

1 **MENU** を押し、**【設定・編集】** - **Bluetooth** - **【機器登録・接続】** にタッチする
(→ P.129)

2 切り替える Bluetooth 機器にタッチする



3 項目を選んでタッチする



【機器詳細設定】	登録した機器の設定を変更します。(→ P.131)
【全接続】	対応しているプロファイルをすべて接続します。
【全切断】	選択された機器と接続中のプロファイルをすべて切断します。

【電話機の接続】 ／ 【電話機の切断】	選択した機器が未接続の場合、 【電話機の接続】 にタッチして接続します。 選択した機器が接続中の場合、 【電話機の切断】 にタッチして切断します。
【ポータブル機の接続】 ／ 【ポータブル機の切断】	選択した機器が未接続の場合、 【ポータブル機の接続】 にタッチして接続します。 選択した機器が接続中の場合、 【ポータブル機の切断】 にタッチして切断します。

2

ナビゲーション

Bluetooth 機器の登録設定を変更する

1 **【機器詳細設定】** にタッチする
(→ P.131)

2 項目を選んでタッチする



【機器名称】	機器名称を入力または変更します。
【接続方法】	接続方法を 【車載機から】 、または 【ポータブル機から】 にタッチして変更できます。
【初期状態】	【はい】 にタッチすると、機器の登録をクリア（初期化）します。

Bluetooth 機器を削除する



インフォメーション

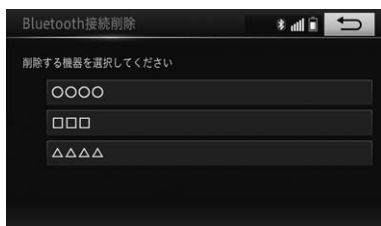
- 選んだ Bluetooth 機器が発着信中、通話中
の場合は削除できません。動作終了後に操
作してください。

1 **MENU** を押し、**【設定・編集】**－**Bluetooth**－**【機器登録・接続】** にタッチする
(→ P.129)

2 **【削除】** にタッチする



3 削除する Bluetooth 機器に
タッチする



▼
確認メッセージが表示されます。

4 **【はい】** にタッチする

▼
選択した Bluetooth 機器が削除されま
す。

車載器の Bluetooth 設定 を変更する

Bluetooth 設定は、車載器に関する
Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更
ができます。

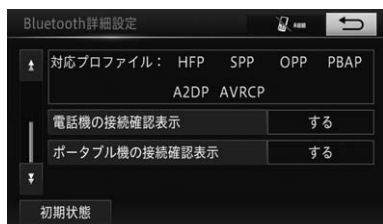
1 **MENU** を押し、**【設定・編集】**
－**Bluetooth**－**【Bluetooth**
詳細設定】 にタッチする

2 変更する項目にタッチする



【ACC ON 時の自動接続】	ACC ON にしたときに、Bluetooth に自動接続するかを設定します。 【する】 または 【しない】 にタッチします。
【機器名称】	Bluetooth ネットワーク内での車載器の名称です。任意の名称に変更できます。
【PIN コード】	接続機器を本機に登録するときのパスワードです。4 ～ 16 桁の任意の数字に変更できます。
機器アドレス	本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更はできません。機器名称や PIN コードを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまった場合などに、識別の参考にできます。

次ページ



対応プロファイル 本機で対応している Bluetooth プロファイルが表示されます。
(→ P.129)

【電話機の接続確認表示】 ACC を ON にしたあと、本機と携帯電話を自動的に Bluetooth 接続した場合に、本機の画面に接続確認の案内表示をするか設定 (する／しない) できます。

【ポータブル機の接続確認表示】 Bluetooth 接続されると、接続完了の案内を本機の画面に表示するか設定 (する／しない) できます。

3 各項目を変更する



インフォメーション

- 機器名称は英数字と数記号だけの入力です。ひらがなとカタカナの入力はできません。
- PIN コードは、4 ～ 16 桁の範囲で任意の数字を入力します。
- 間違えた場合は、**【修正】** にタッチします。

4 変更が終わったら**【完了】**にタッチする

Bluetooth 設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

1 **MENU** を押し、**【設定・編集】** – **Bluetooth** – **【Bluetooth 詳細設定】** – **【初期状態】** にタッチする (→ P.131)



確認メッセージが表示されます。

2 **【はい】** にタッチする

3. ナビゲーションの音量を設定する

ナビゲーションの案内音量の調整を行います。



インフォメーション

- オーディオの音量の調整については、→「オーディオの音量を調整する」(P.163) をご覧ください。

音量設定をする

ナビゲーションの案内音量を設定します。



インフォメーション

- QUICK SETUP (→ P.39) で設定することもできます。

1 MENUを押し、**【設定・編集】**
— **【音量設定】**にタッチする
(→ P.52)

2 設定したい項目にタッチする



【消音】	音声が出力されません（消音）。
【小】	音量が最小となります。
【・】 【中】	お好みに合わせて、音量を調節できます。
【大】	音量が最大となります。



インフォメーション

- 消音に設定された場合、SD カード挿入不良などの警告音声も案内されませんので、ご注意ください。
- ETC 音声も連動して設定されます。
- 設定後にアナウンスが流れますので、設定音量を確認してください。

4. 車両情報を設定する

車両の長さ、幅、高さ、およびナンバー（車種）を設定します。
ここで設定された内容が駐車場および有料道路料金の案内に反映されます。

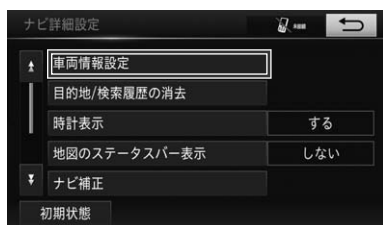


インフォメーション

- ここで設定された車両情報は、以下の検索方法で駐車場を検索した際に考慮されます。
 - 名称検索 → 「名称で探す」(P.69)
 - 電話番号検索 → 「電話番号で探す」(P.71)
 - 周辺検索（周辺施設） → 「近くの施設を検索する」(P.61)
 - 周辺検索（ジャンル） → 「ジャンルで探す」(P.72)
- QUICK SETUP (→ P.39) で設定することもできます。
- 目的地を設定している場合、車両情報の設定と変更はできません。

1 MENU を押し、[設定・編集] - [ナビ詳細設定] - [その他] にタッチする (→ P.123)

2 [車両情報設定] にタッチする



3 車検証などを参考に、各項目を選んで [<] または [>] で内容を設定し、[戻る] にタッチする



全長

設定していない場合	「未設定」が表示されます。
450 cm 以下の場合	「450cm 以下」を選択してください。
600 cm 以上の場合	「600cm 以上」を選択してください。
それ以外の場合 (455 cm ~ 590 cm)	自車の全長に近い値を選択してください。455 cm ~ 500 cm までは 5 cm 単位、500 cm ~ 590 cm までは 10 cm 単位で表示されます。

全幅

設定していない場合	「未設定」が表示されます。
160 cm 以下の場合	「160cm 以下」を選択してください。
250 cm 以上の場合	「250cm 以上」を選択してください。
それ以外の場合 (165 cm ~ 240 cm)	自車の全幅に近い値を選択してください。165 cm ~ 200 cm までは 5 cm 単位、200 cm ~ 240 cm までは 10 cm 単位で表示されます。

4. 車両情報を設定する

全高

設定していない場合	「未設定」が表示されます。
150 cm 以下の場合	「150cm 以下」を選択してください。
300 cm 以上の場合	「300cm 以上」を選択してください。
それ以外の場合 (155 cm ~ 290 cm)	自車の全高に近い値を選択してください。155 cm ~ 200 cm までは 5 cm 単位、200 cm ~ 290 cm までは 10 cm 単位で表示されます。

ナンバー（車種）

1 の場合	「1」を選択してください。
3 の場合	「3」を選択してください。
5 または 7 の場合	「5・7」を選択してください。
軽自動車の場合	「軽」を選択してください。



インフォメーション

- **【初期状態】** をタッチすると、設定した値がすべてクリアされます。

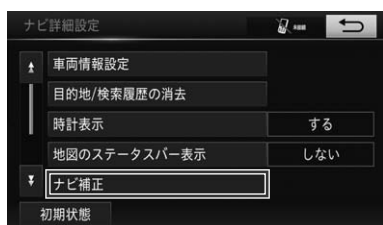
5. その他の設定をする

自車位置のずれを修正する

自車位置がずれた場合は、修正することができます。自車位置修正は必ず停車した状態で行ってください。

1 **MENU** を押し、**【設定・編集】**
— **【ナビ詳細設定】** — **【その他】**
にタッチする (→ P.123)

2 **【ナビ補正】** にタッチする



3 **【現在地修正】** にタッチする



4 **8 方向矢印キー** にタッチして、
カーソルを現在地に合わせる



5 **【セット】** にタッチする

6 左右の回転矢印にタッチして自
車の向きを調整する



7 **【セット】** にタッチする

自車位置が修正されます。

走行中の道路を切り替える

一般道路と有料道路が並行している場所を走行中、自車位置が実際と異なる種別の道路に乗ってしまった場合に、自車位置を一般道路または有料道路へ切り替えることができます。

1 **MENU** を押し、**【設定・編集】**
— **【ナビ詳細設定】** — **【その他】**
にタッチする (→ P.123)

2 **【ナビ補正】** にタッチする
(→ P.137)

3 **【別道路切替】** にタッチする

異なる種別の道路へ自車位置が修正されます。





インフォメーション

- ・ 自車位置が修正できない場合もあります。
- ・ ルート案内中は、自車位置を修正後ルート探索し直します。

セキュリティ設定をする

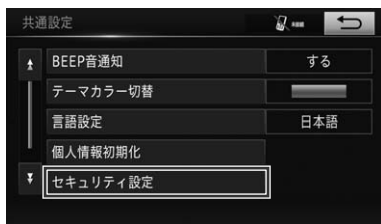
セキュリティ設定をすることで、盗難抑止効果や盗難予防効果が期待できます。

注意

- 本機能をご利用いただくことが、必ずしも盗難防止につながるわけではありません。車から離れるときは必ずキーを抜いてドアをロックするなど、基本的な対策はお客様ご自身で注意していただきますようお願いします。
- お車を手放す場合は、セキュリティ設定の解除 (→ P.140) と個人情報の初期化 (→ P.143) をしてください。

1 **[MENU]** を押し、**[設定・編集]**
— **[共通設定]** にタッチする
(→ P.51)

2 **[セキュリティ設定]** にタッチ
する



セキュリティ設定画面が表示されます。



セキュリティ
[設定] / [解除]

本機が一度バッテリーから外された場合、パスワードが一致しない限り、主な機能が使えないように設定することができます。セキュリティ機能の設定は、セキュリティ解除時に必要となるパスワードと、それを入力する際に表示されるヒントを設定します。(→ P.138)

インジケータ
[ON] / [OFF]

セキュリティ機能を有効に設定した場合、本機の電源を OFF (エンジンスイッチを OFF) にすると盗難予防としてのセキュリティインジケータを点滅させるように設定することができます。(→ P.140)

セキュリティ機能を設定する

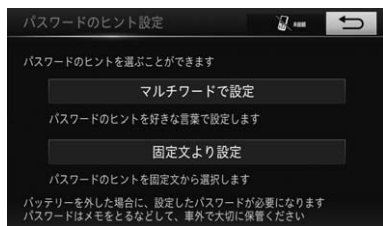
1 **「セキュリティ」の[設定]** にタッチする (→ P.138)



インフォメーション

- ・ すでにパスワードが設定されている場合は、パスワードを変更するかしないかのメッセージが表示されます。変更する場合は、**[はい]** にタッチして現在のパスワードを入力して **[完了]** にタッチします。

ヒントの設定

2 【マルチワードで設定】 または 【固定文より設定】を選んでタッチする

【マルチワードで設定】	お好みの言葉をパスワードのヒントとして設定できます。
【固定文より設定】	5つの固定文からパスワードのヒントを選んで設定できます。

例：固定文より設定を選んだとき

3 5つの固定文からヒントを選んでタッチする

 インフォメーション

- ・【マルチワードで設定】を選んだときは、半角または全角 12 文字以内でお好みの言葉をヒントとして入力し、【完了】にタッチします。

パスワードの設定

4 設定したいパスワードを入力し、【完了】にタッチする

 インフォメーション

- ・入力できるパスワードは、半角または全角で 12 文字以内です。

5 設定したパスワードとヒントを確認し、【完了】にタッチする▼
セキュリティ機能が設定されます。

セキュリティ機能が働いた場合の操作

セキュリティ機能を有効に設定した状態で、バッテリー交換などを行った場合、ACCをONにすると、以下の画面が表示されます。

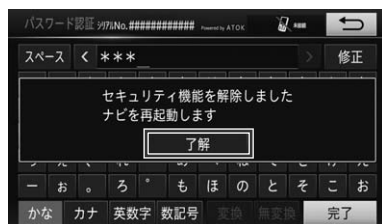
1 設定したパスワードを入力して【完了】にタッチする



インフォメーション

- 万が一、パスワードを忘れた場合は、販売店にご相談ください。

2 【了解】にタッチする



ナビゲーションが起動します。

インジケータを設定する



インフォメーション

- セキュリティ機能が有効に設定されている場合だけ、インジケータを設定できます。

1 「インジケータ」の【ON】または【OFF】にタッチする



【ON】	セキュリティインジケータが点滅します。
【OFF】	セキュリティインジケータは点滅しません。

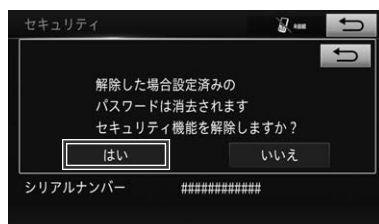
セキュリティ機能を解除する

セキュリティ機能を解除したい場合は、以下のように操作します。

1 「セキュリティ」の【解除】にタッチする



2 【はい】にタッチする



3 パスワードを入力し、[完了]にタッチする



▼
セキュリティ機能が解除されます。

安全・快適走行の設定をする

- 1 **MENU** を押し、[設定・編集] - **運転支援** にタッチする (→ P.51)
- 2 [安全・快適走行設定] にタッチする (→ P.52)
- 3 設定を変更したい項目にタッチする



[踏切案内]	踏切案内を設定します (する／しない)。 (→ P.63)
[合流案内]	合流案内を設定します (する／しない)。 (→ P.63)
[レーン案内]	専用レーン案内を設定します (する／しない)。 (→ P.63)

タッチしたときの応答音の設定をする

タッチパネルにタッチしたときの応答音の出力を設定 (する／しない) できます。

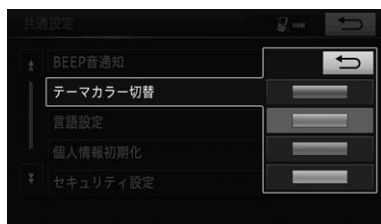
- 1 **MENU** を押し、[設定・編集] - **[共通設定]** にタッチする (→ P.51)
- 2 [BEEP 音通知] にタッチして、[する] または [しない] にタッチする



テーマカラーを変更する

画面のテーマカラーを変更できます。

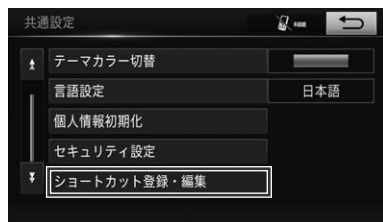
- 1 **MENU** を押し、[設定・編集] - **[共通設定]** にタッチする (→ P.51)
- 2 [テーマカラー切替] にタッチして、変更したい色にタッチする



ショートカットキーの設定をする

1 **MENU**を押し、**【設定・編集】**
— **【共通設定】**にタッチする
(→ P.51)

2 **【ショートカット登録・編集】**
にタッチする



3 画面右側の **【未登録】**、または
ショートカットから置き替えた
いメニューにタッチする



4 新しくショートカットにしたい
メニューを、下記のタブスイッ
チから選んでタッチする

ナビ

目的地

オーディオ

情報

設定・編集



インフォメーション

- ・ ショートカットに登録したメニューを削除したい場合は、手順 **3** の画面右側から削除したいメニューにタッチして、**【削除】** にタッチします。

ショートカットコントロール画面を表示する

1 **MENU**を長く押す

2 操作したいメニューにタッチする

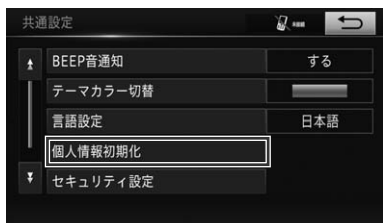


設定を初期状態に戻す

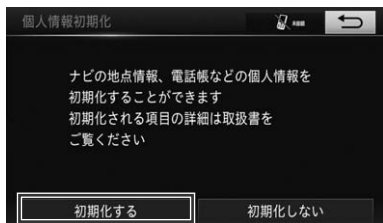
設定された機能を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 **MENU** を押し、**[設定・編集]** — **[共通設定]** にタッチする (→ P.51)

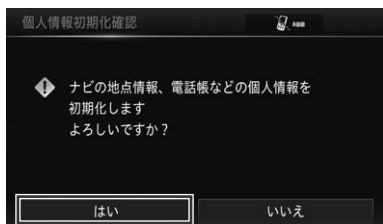
2 **[個人情報初期化]** にタッチする



3 **[初期化する]** にタッチする



4 **[はい]** にタッチする



▼
本機が再起動し、設定が初期化されます。

注意

- 一度消去したデータは元に戻せません。十分注意してから操作してください。
- 必要な情報は、事前に控えておいてください。
- お車を手放す場合は、セキュリティ設定の解除 (→ P.140) と個人情報の初期化 (→ P.143) をしてください。

消去される項目は、以下のとおりです。

消去される項目

機能設定、オーディオ設定、画質調整設定、音量設定、車両情報設定、地図のビューと縮尺の設定、走行軌跡、自車位置情報、VICS FM 地図データ、VICS 放送局 受信モード設定・受信周波数、電話帳データ、Bluetooth 設定、施設記号表示設定、学習ルートデータ、販売店情報など



インフォメーション

- それぞれの設定を個別に初期化する場合は、各設定画面から操作してください。
- セキュリティ設定 (→ P.138) が設定されていた場合、情報を削除できません。セキュリティ設定を解除してから、再度操作を行ってください。

1. 故障とお考えになる前に

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

共通項目

症状	考えられること	処置
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネルの特性として、表示面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある場合があります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ、または黒の濃さの調整が適正でない。	画面のコントラスト、明るさ、または黒の濃さを調整してください。 (→ P.26)
車両のエンジンを ACC または、ON にしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。
地図 SD の挿入検知(半押しなど)。	地図 SD が正しく挿入されていない。	地図 SD を“カチッ”と音がするまで差し込んでください。(地図 SD カードは取り出さないでください。地図データを更新する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください)
タッチパネルが効かない、ずれる、反応が悪い。	画面に保護シートが貼られている。	保護シートを剥がしてご使用ください。
「高温あるいは低温を検出したためシステムを一時停止します。復帰するまでしばらくお待ちください。」というメッセージが表示される。	エアコン吹き出し口の近くに設置したことなどが原因で、ナビゲーション本体の内部温度が、高くまたは低くなる場合があります。	正常に動作する温度になるまでお待ちください。正常な温度に戻ると、「高温あるいは低温状態からシステムが動作可能な状態に復帰しました。」と表示されます。

ナビゲーション

症状	考えられること	処置
地図が表示されない。	地図 SD が差しこまれていない。	地図 SD が地図 SD スロットに正しく挿入されているかご確認ください。
	地図 SD が LOCK（書き込み防止）されている。	地図 SD の LOCK を解除してください。（→P.11）
「地図 SD が正しく挿入されていない可能性があります」の表示が出て、動作しない。	地図 SD に異物などが付着し、SD カードのデータが読み込めない。	地図 SD を確認し再挿入してください。地図 SD を奥まで差し込み、画面モニターを閉じて、エンジンをかけ直してください。
「挿入された SD カードには正常なプログラムがありません」の表示が出て、動作しない。	地図 SD 以外の SD カードが挿入されている。	地図 SD を確認し、挿入してください。地図 SD を奥まで差し込み、画面モニターを閉じて、エンジンをかけ直してください。
「地図 SD が挿入されていません」の表示が出て、動作しない。	地図 SD が完全に挿入されていない、もしくは未挿入状態となっている。	地図 SD を奥まで差し込み、画面モニターを閉じて、エンジンをかけ直してください。
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっている。	現在地画面を表示させてください。（→P.54）
自車マークが表示されない。		
自車マークが実際の現在地とずれている。	測位誤差。	測位誤差の発生しやすい場所については、→「 誤差について 」（P.149）をご覧ください。
自車位置を測位できない。測位誤差が大きい。	GPS アンテナの近くに、電波をさえぎる物や電子機器などが設置されている。	GPS アンテナ付近には物を設置しないでください。機器を取り外し、GPS の受信状況が改善するかご確認ください。
音声案内が出力されない。	案内の音量が小さく、または消音になっている。	音量を大きくしてください。（→P.134）
FM-VICS が受信されない。	FM-VICS 選局が「手動」で設定している。（そのため、現在地エリアの FM-VICS 放送局が選局されていないため、FM-VICS 放送を受信できない。）	FM-VICS 放送局を「自動」に切り替えてください。
	VICS 情報の表示設定をしていないため。	VICS 情報の表示設定を行ってください。
車両情報を変更できない。	目的地が設定されている（  が残っている）。	目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。目的地を消去（→P.92）してから、変更または設定をしてください。
車両情報を設定できない。		
車両情報設定の【 変更する 】にタッチできない。		

6. 知っておいていただきたいこと

1. 故障とお考えになる前に

症状	考えられること	処置
Bluetooth 機器と接続できない。	本機が Bluetooth 機器と通信できない状態になっている。	Bluetooth 機器の電源を入れ直すか、車のエンジンスイッチ (ACC) を OFF/ON してください。あとから Bluetooth 機器の電源を入れたときは、1 分ほどお待ちいただくか、→ 「Bluetooth 機器を切り替える」(P.131) の操作をして、Bluetooth 接続する Bluetooth 機器を選択してください。

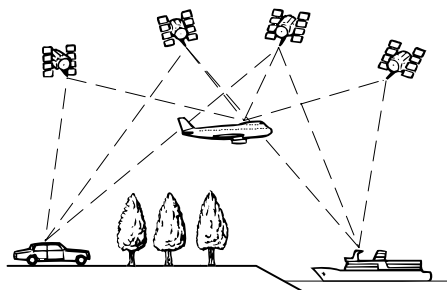
2. ナビゲーションのしくみ

現在地がわかるしくみ

本機では、現在地（自車位置）を測位する方法として GPS に加え、自立航法による測位が可能です。

GPS による測位

GPS 衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。GPS 衛星は、地球の周り高度 21,000 km に打ち上げられています。3 つ以上の GPS 衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPS による測位には、3 次元測位と 2 次元測位の 2 種類があります。



種類	内容
3 次元測位	GPS 衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の 3 次元で測位できる。
2 次元測位	GPS 衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の 2 次元で測位する。高度は測位できないため、3 次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

自立航法による測位

内蔵の 3D ハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計（G センサー）で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPS と自立航法を組み合わせた測位の特徴

- GPS による現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS 衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPS と自立航法を組み合わせると、GPS 測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

3D ハイブリッドセンサーの役割

内蔵の 3D ハイブリッドセンサーは、自立航法自体の測位精度を高めるために、高精度 3D ハイブリッドシステムで活用されています。

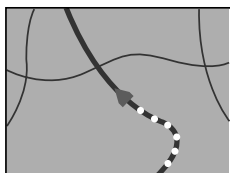
高精度 3D ハイブリッドシステム

車速パルスが入力されているときは、3D ハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能になります（高精度 3D ハイブリッドシステム）。

マップマッチング

GPS や自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合



本機では、GPS と自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。



インフォメーション

- 市街図で道路が表示されていても、その道路をルート探索またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

誤差について

次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

GPS 測位不能による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的に GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。
 - GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。
- GPS アンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、アンテナに雪が積もると感度が低下しますので、除雪してください。

GPS 衛星自体による誤差

- GPS 衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉（受信）できている衛星の数が少ないときは、2 次元測位となり誤差が大きくなります。

有料・高架道路での誤差について

有料道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、勾配を検知して距離補正を行います。勾配データが収録されていない道路では、補正されないため誤差が大きくなることがあります。

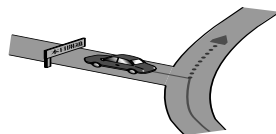
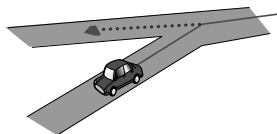
低速時の自転車位置精度について

車種によっては数 km/h 程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で数 km/h 程度の低速走行が続くと、自転車位置が正確に表示されないことがあります。

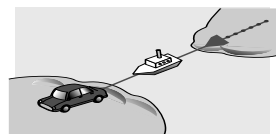
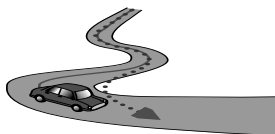
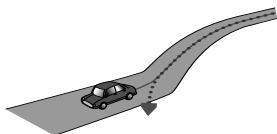
2. ナビゲーションのしくみ

その他の誤差について

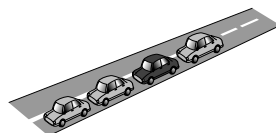
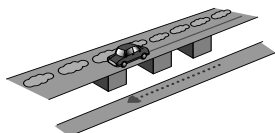
- 角度の小さなY字路を走った場合。
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



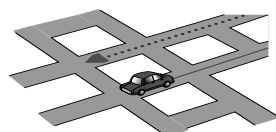
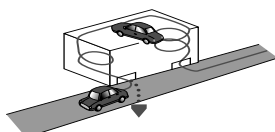
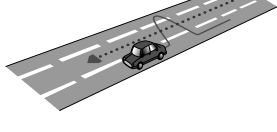
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。
- ヘアピンカーブが続いた場合。
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



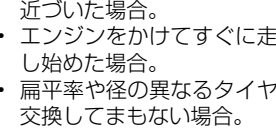
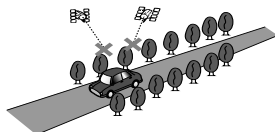
- 砂利道や雪道などでタイヤがスリップした場合。
- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。
- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



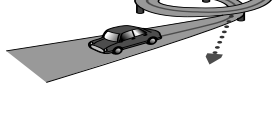
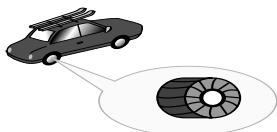
- 蛇行運転をした場合。
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。
- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。
- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。



- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。
- ループ橋などを通った場合。



3. VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターからVICS サービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICS サービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランブラー

FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICS サービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー1台毎に1のVICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれたFM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応したVICS 対応FM 受信機を購入することにより、第4条に示すVICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICS サービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者がVICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有するVICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第11条又は第12条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

3. VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 4 章 料金

(料金の支払い義務)

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表 視聴料金

視聴料金：300 円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれておりません。

第 5 章 保守

(当センターの保守管理責任)

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第 15 条 1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第 17 条 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは当該変更においても変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間

4. その他の情報

検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

- NTT タウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

自然物に関するデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、タウンページのデータが収録されています。

施設記号の表示について

- 施設記号が表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

ルートに関する注意事項

警告

- ルート探索をすると、自動的にルート / 音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、ルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。
- 運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索は 100 m 縮尺の地図に表示される道路を対象としています。市街図にだけ表示される道路は対象となりません。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などのフェリーが運航されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 設定されているルートで使用されている入口または出口によっては、乗降 IC 指定の操作ができない場合があります。

4. その他の情報

ルート探索のしかた

- ・現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- ・河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- ・一般優先ルート、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- ・推奨できるルートが5本に満たない場合、各条件のルートが同じになることがあります。
- ・場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地付近の「大きな交差点※」付近に追加目的地を設定してみてください。
※「大きな交差点」とは、細街路（100 m 縮尺でグレー表示の細い道（→「**記号・マーク一覧**」(P.283)）以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- ・道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- ・目的地の前後では道塗りされない場合があります。

音声案内について

- ・オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常の案内を行います。
- ・有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。

交差点拡大図について

- ・2D 交差点拡大図は、交差点とその約 150 m 手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状によっては、ヘディングアップにならない場合があります。
- ・第 1 案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

ルート候補選択画面での有料料金について

- ・特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- ・料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されます。
- ・料金計算ができないルートの場合は、「不明」と表示されます。
- ・一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- ・有料道路上およびランプ上からルートを探したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- ・一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- ・有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

VICS 情報に関する注意事項

FM 多重放送について

- VICS センターからの FM 多重放送を使用した VICS 情報は、NHK-FM の FM 多重放送の電波によって提供されます。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICS センター情報などで確認してください。

VICS センターのお問い合わせ先

VICS の概念、計画、または FM 多重放送により提供される VICS 情報に関することは、(一財) VICS センターへお問い合わせください。

電話受付時間：9:30～17:45

(土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く)

電話番号：0570-00-8831

(ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます)

FAX 受付時間：24 時間

FAX 番号：03-3562-1719 (全国)

また、VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは下記のホームページでご覧いただけます。

URL：<http://www.vics.or.jp/>

市街図収録エリア

本機には、以下の都市の詳細市街図が収録されています。

整備面積 95% 以上 (237 都市)

水戸市、つくば市、ひたちなか市、小山市、伊勢崎市、太田市、玉村町、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、所沢市、春日部市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町、千葉市、市川市、船橋市、松戸市、成田市、佐倉市、習志野市、柏市、市原市、流山市、八千代市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、白井市、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、

中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、新潟市、岐阜市、岐阜町、笠松町、熱海市、名古屋市長区、豊橋市、一宮市、半田市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋、弥富市、東郷町、長久手市、豊山町、大口町、扶桑町、あま市、大治町、豊江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町、みよし市、四日市市、向日市、長岡京市、大山崎町、久御山町、大阪市、堺市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、高砂市、川西市、稲美町、播磨町、和歌山市、倉敷市、早島町、府中市、海田市、熊野町、坂町、北九州市、福岡市、熊本市、那覇市、宜野湾市、浦添市、糸満市、沖縄市、豊見城市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町

整備面積 80% 以上 (15 都市)

室蘭市、宇都宮市、吉岡町、相模原市、伊東市、磐田市、豊川市、鈴鹿市、岸和田市、泉佐野市、島本町、広島市、久留米市、粕屋町、うるま市

整備面積 50% 以上 (61 都市)

北広島市、八戸市、仙台市、前橋市、高崎市、渋川市、榛東村、大泉町、八潮市、松伏町、秦野市、大井町、高岡市、舟橋村、野々市市、内灘町、山形村、土岐市、安八町、北方町、沼津市、富士市、清水町、岡崎市、瀬戸市、

4. その他の情報

志摩市、木曽岬町、大津市、京都市、宇治市、八幡市、高槻市、貝塚市、茨木市、和泉市、箕面市、泉南市、豊能町、能勢町、河南町、姫路市、猪名川町、太子町、生駒市、岡山市、呉市、福山市、徳島市、北島町、高松市、高知市、中間市、志免町、水巻町、長崎市、佐々町、嘉島町、大分市、鹿児島市、南城市、今帰仁村

整備面積 50% 未満 (451 都市)

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、森狩市、北斗市、当別町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、江差町、上ノ国町、倶知安町、岩内町、仁木町、余市町、南幌町、奈井江町、上砂川町、長沼町、栗山町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、羽幌町、美幌町、斜里町、遠軽町、白老町、洞爺湖町、浦河町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、広尾町、幕別町、池田町、足寄町、釧路町、弟子屈町、中標津町、青森市、弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、南部町、階上町、盛岡市、花巻市、北上市、雫石町、滝沢市、紫波町、矢巾町、石巻市、名取市、多賀城市、東松島市、村田町、利府町、大和町、富谷町、秋田市、潟上市、山形市、上山市、天童市、山辺町、中山町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、須賀川市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、川俣町、磐梯町、湯川村、会津美里町、三春町、日立市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎町、下妻市、常総市、常陸太田市、北茨城市、笠間市、取手市、牛久市、守谷市、那珂市、筑西市、桜川市、つくばみらい市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、河内町、足利市、栃木市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、那須塩原市、さくら市、下野市、上三川町、芳賀町、壬生町、野木町、高根沢町、那須町、桐生市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、甘楽町、草津町、東吾妻町、昭和村、千代田町、邑楽町、行田市、飯能市、本庄市、東松山市、狭山市、鴻巣市、深谷市、入間市、桶川市、三郷市、蓮田市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、伊奈町、滑川町、嵐山市、川島町、上里町、宮代町、杉戸町、木更津市、野田市、茂原市、我孫子市、君津市、袖ヶ浦市、八街

市、印西市、富里市、香取市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、大網白里市、芝山町、長柄町、長南町、大多喜町、檜原村、奥多摩町、三浦市、南足柄市、松田町、清川村、長岡市、三条市、新発田市、小千谷市、加茂市、見附市、燕市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、魚沼市、聖籠町、弥彦村、田上町、湯沢町、富山市、砺波市、小矢部市、射水市、上市町、立山町、金沢市、七尾市、小松市、加賀市、白山市、津幡町、福井市、鯖江市、あわら市、坂井市、永平寺町、越前町、甲府市、富士吉田市、甲斐市、笛吹市、上野原市、中央市、昭和町、鳴沢村、富士河口湖町、長野市、松本市、上田市、須坂市、中野市、塩尻市、千曲市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、小布施町、飯綱町、大垣市、高山市、多治見市、関市、瑞浪市、羽島市、恵那市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、飛騨市、本巣市、下呂市、海津市、養老町、垂井町、神戸町、輪之内町、坂祝町、静岡市、浜松市、三島市、富士宮市、焼津市、藤枝市、御殿場市、袋井市、裾野市、湖西市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、函南町、長泉町、森町、豊田市、新城市、津市、松阪市、桑名市、亀山市、鳥羽市、いなべ市、東員町、菰野町、朝日町、川越町、多気町、明和町、南伊勢町、草津市、守山市、亀岡市、城陽市、京田辺市、南丹市、木津川市、宇治田原町、河内長野市、千早赤阪村、豊岡市、三木市、小野市、三田市、加西市、養父市、宍粟市、たつの市、福崎町、奈良市、大和郡山市、天理市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、海南市、紀の川市、岩出市、白浜町、上富田町、鳥取市、八頭町、松江市、出雲市、安来市、雲南市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、瀬戸内市、赤磐市、浅口市、矢掛町、竹原市、尾道市、府中市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、下関市、宇部市、山口市、防府市、山陽小野田市、小松島市、石井町、松茂町、藍住町、坂出市、三木町、綾川町、松山市、今治市、東温市、松前町、砥部町、南国市、土佐市、いの町、直方市、筑後市、大川市、行橋市、小郡市、春日市、大野城市、糸島市、うきは市、朝倉市、那珂川町、新宮町、久山町、芦屋町、大刀洗町、大木町、広川町、香春町、刈田町、佐賀市、鳥栖市、小城市、神埼市、みやき町、有田町、佐世保市、諫早市、長与町、時津町、川棚町、波佐見町、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、合志市、玉東町、菊陽町、益城町、別府市、由布市、宮崎市、都

城市、三股町、国富町、新富町、指宿市、日置市、曾於市、霧島市、始良市、石垣市、名護市、宮古島市、恩納村、金武町

阪神高速道路株式会社からのご連絡

阪神高速道路にはネットワークの未整備区間を補完するため、乗継券を受け取り、一般道路を経由した後その乗継券で再度、通行料金を支払わずに阪神高速道路を利用できる「乗り継ぎ区間」があります。（乗り継ぎ区間ではETCが利用可能。）また、「乗り継ぎ区間」の詳細につきましては、以下をご覧ください。

3号神戸線（京橋・摩耶出入口）⇔ 5号湾岸線（住吉浜出入口）

4号湾岸線（大浜出入口）⇔ 15号堺線（堺出入口）

3号神戸線（中之島西出口）→ 1号環状線（堂島入口）

16号大阪港線（波除出口）→ 1号環状線（堂島入口）

収録データベースについて

地図データについて

- ・日本測地系に対応しています。
- ・いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- ・この地図の作成にあたっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第44条に基づく成果使用承認 13-131）「© 2009-2013 一般財団法人日本デジタル道路地図協会」2013年3月発行を使用。
- ・この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。（承認番号）小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認

- ・この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。（承認番号）平10.近公.第34号
- ・この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。（測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号）
- ・この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。（承認番号 15大木建第734号）
- ・この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。（承認番号 伊建農発229号 平成17年7月14日承認）
- ・この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2,500地形図を使用して作成したものである。（承認番号：18東デ共041号）
- ・この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。（承認番号）18都市基交 第478号
- ・この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。（承認番号 指令宇都第13号 平成18年5月15日承認）
- ・この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。（承認番号 指令宇都第14号 平成18年5月31日承認）
- ・この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。（承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認）
- ・この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。（承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認）

4. その他の情報

- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図 1/10,000 を使用して調製したものである。(長都政第 477 号 平成 18 年 3 月 28 日承認)
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成 19 年 3 月 1 日 森整第 1561 号
- この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成 18 年 11 月 24 日付け森第 1286 号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成 19 年 2 月 27 日付け森第 1736 号)
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(広島県使用承認林振第 115 号 平成 19 年 2 月 15 日承認)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号林 18-1 平成 18 年 12 月 5 日)。
- この地図は宮崎県知事の承認を得て 5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使 18-1 号 平成 18 年 12 月 8 日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て 5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使 18-3 号 平成 19 年 3 月 8 日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 18 林振第 360 号)
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の 10,000 分の 1 の全図を使用し、作成したものである。(承認番号 笛まち 第 12-25 号 平成 19 年 12 月 13 日承認)
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18 国地部公発第 334 号)を使用したものである。(承認番号 情企第 590 号 平成 20 年 3 月 24 日承認)
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成 19 年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。(承認番号) 平 21 樽港事第 33 号
- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の 2 千 5 百分の 1 幕別町現況図を使用し、調整したものである。(承認番号) H22 幕都計第 185 号
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第 180 号 平成 22 年 9 月 28 日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 19 林振第 246 号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 千分の 1 国土基本図を使用した。(承認番号 平 23 情使、第 43 号 -10 号)
- この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。(承認番号) 23 田街第 55 号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。(承認番号 平 24 情使、第 199 号 -10 号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平 24 情使、第 780 号 -10 号)
- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なる場合がありますのでご了承ください。

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2013年9月までの独自調査結果に基づき作成したものを使用しています。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。
- 本製品に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車などの規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

有料道路料金データについて

- 本製品に使用している有料道路の料金データは2013年9月までの調査で2014年4月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のものです。2012年1月1日実施の距離別料金制については現金車料金のみに対応とする。

VICS サービスエリアについて

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。
北海道(北見)(旭川)(札幌)(釧路)(函館)、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- VICS サービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでの地図表示はできません。

放送局リストのデータについて

- VICS、AM、FM、地上デジタルテレビの放送局名リストは2013年11月調査時点のものです。

その他情報提供元

- NTTタウンページ株式会社(2013年9月現在のタウンページデータ)
- (株)アイ・エム・ジェイ(2013年10月現在の駐車場データ)



インフォメーション

- 収録データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は補償するものではありません。

オーディオ&ビジュアル

1. はじめに

1. オーディオの基本操作.....	162
AV ソース画面を表示する	162
AV ソースを切り替える	162
AV ソースを OFF にする	163
オーディオの音量を調整する.....	163
緊急警報放送 (EWS) の受信について	164
本機で再生可能なメディアとファイルの種類.....	164

2. ラジオを聞く

1. ラジオの操作	165
ラジオの放送を受信する	165
プリセットの種類を選ぶ	165
放送局を手動で登録する	165
放送局の自動登録.....	166
交通情報を受信する	166

3. テレビ (ワンセグ放送) を見る

1. テレビの操作	167
テレビ (ワンセグ放送) を受信する	167
放送局を手動で登録する	168
サービスを切り替える	169
番組表を表示する	169
番組内容を表示する	169
放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)	170
2. ワンセグの機能設定をする	171
プリセットの種類を切り替える.....	171
オート放送局サーチ設定	171
各種設定を切り替える	172

4. CD プレーヤーの操作

1. 音楽 CD を聞く	174
再生する	174
リストから選んで再生する	175
リピート再生.....	175
ランダム再生.....	175
2. CD-R/RW (WMA/MP3) を聞く	176
再生する	176
リストから選んで再生する	176
リピート再生.....	177
ランダム再生.....	177

5. SD カードの操作

1. SD の操作のしかた	178
再生する	178
リストから選んで再生する	179
リピート再生.....	180
ランダム再生.....	180

6. Bluetooth Audio の操作

1. Bluetooth Audio の操作のしかた	181
Bluetooth Audio 機器の登録	181
再生する	181
リストから選んで再生する	182
リピート再生.....	183
ランダム再生.....	183
2. Bluetooth Audio 機器の接続について	184
一時的に接続が切断された場合.....	184
Bluetooth Audio 機器が自動的に接続されない場合.....	184

7. AUX の操作

1. AUX を使う 185
 - 外部機器の音声を聞く 185

8. オーディオの設定

1. オーディオの設定をする 186
 - イコライザー設定 186
 - フェーダー／バランス設定 188
 - ラウドネス設定 188
 - ソースレベルアジャスター設定 189
 - ASL 設定 189

9. 知っておいていただきたいこと

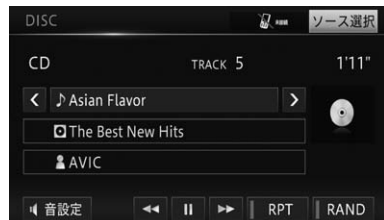
1. 故障とお考えになる前に 190
 - 共通項目 190
 - FM/AM 190
 - CD/CD-R/RW (WMA/MP3) 191
 - テレビ 192
 - SD カード 193
 - AUX 193
2. ディスクについて 194
 - 再生できるディスクの種類 194
 - ディスクの構成について 194
3. WMA/MP3/AAC/WAV
 - ファイルについて 195
 - フォルダーと WMA/MP3/AAC/WAV
ファイルについて 195
 - WMA とは？ 196
 - MP3 とは？ 196
 - AAC とは？ 197
 - WAV とは？ 197

1. オーディオの基本操作

AV ソース画面を表示する

1 ナビゲーション画面やメニュー画面のときに**AUDIO**を押す

AV ソースが ON のときは、AV ソース画面が表示されます。



AV ソースが OFF のときは、AV ソース選択画面が表示されます。

ナビゲーション画面に戻るには、**現在地**を押します。



インフォメーション

- AV ソースが ON の状態で**現在地**を押したときは、AV ソースの音声はそのままにナビゲーション画面に戻ります。

AV ソースプレートの表示について

地図画面のまま、本体の音量調整スイッチやステアリングスイッチ（装備車のみ）などによる選局・選曲操作などを行った場合は、地図画面上部に AV ソースプレートが表示されます。AV ソースプレートは、表示されてから数秒間何も操作されないと表示が消えます。AV ソースプレートには、現在再生中の AV ソースの状態が表示されます。

AV ソースプレート



AV ソースを切り替える

AV ソースの切り替えは、タッチ操作（AV ソースアイコン）で行います。

1 [ソース選択] にタッチする



2 お好みの AV ソースアイコンにタッチする



選んだ AV ソースに切り替わります。



インフォメーション

- 機器を接続していないソースはご使用になれません。
- ステアリングスイッチ装備車では、MODE スイッチでソースを順に切り替えることができます。

AV ソースアイコンについて

	AM ラジオ放送を聞きたいときに選びます。
	FM ラジオ放送を聞きたいときに選びます。
	音楽 CD や CD-R/RW などを再生したいときに選びます。
	SD カードに保存した音楽ファイルを再生したいときに選びます。
	テレビ（ワンセグ放送）を見たいときに選びます。
	Bluetooth Audio を使いたいときに選びます。
	外部オーディオ機器などを使いたいときに選びます。
	選択中の AV ソースを OFF にしたいときに選びます。
	幹線道路などで放送されている交通情報を受信したいときに選びます。



インフォメーション

- ソースによっては、設定や接続が必要です。詳しくは、各ソースの説明ページをご覧ください。

AV ソースを OFF にする

AV ソースの再生や受信をやめる場合は、AV ソースを OFF にします。

1 [AUDIO OFF] にタッチする
(→ P.163)

▼
AV ソースが OFF になります。



インフォメーション

- **AUDIO** を長く押しても、AV ソースを OFF にすることができます。

オーディオの音量を調整する

オーディオの音量調整をします。



警告

- 車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因となります。安全運転をさまたげないように適度な音量でお使いください。

1 **VOL+**または**VOL-**(音量調整)を押す (→ P.20)

[VOL+] 音量が大きくなります。

[VOL-] 音量が小さくなります。



インフォメーション

- AV ソースごとの音量の差を調整することもできます。→ 「ソースレベルアジャスター設定」(P.189)
- ステアリングスイッチ装備車では、-/+ スイッチで音量を調整することができます。

緊急警報放送（EWS）の受信について

EWS（Emergency Warning System）とは、テレビで緊急警報を受信して、災害の発生を知らせるシステムです。テレビ（ワンセグ放送）を受信中、視聴番組でEWSがあった場合、緊急メッセージが警告音声とともに表示されます。

また、その他の画面を表示中でもEWSを受信した場合は、テレビ（ワンセグ放送）への切り替え確認のメッセージが表示されます。

本機で再生可能なメディアとファイルの種類

本機で再生可能なメディアとファイル形式の組み合わせには制限があります。以下の表をご覧ください、対応の可（○）否（×）をご確認のうえ、ご利用ください。

なお、ファイル形式や拡張子が対応可の場合でも、ファイルの作成方法などによっては再生できない場合もあります（→P.194）。また、以下の表に記載されている以外のメディアやファイル形式は再生できません。

ファイル形式	拡張子	 CD-R/RW	 SDカード
WMA	.wma	○	○
MP3	.mp3	○	○
AAC	.m4a	×	○
WAV	.wav	×	○

1. ラジオの操作

ラジオの操作のしかたを説明します。

ラジオの放送を受信する

1 AV ソースを【FM】または【AM】にする (→ P.163)

2 受信したい放送局にタッチする



インフォメーション

- プリセットされた周波数や放送局がリスト表示されます。
- 放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。

【ソース選択】	ソース選択画面を表示します。(→ P.162)
【音設定】	音設定メニュー画面を表示します。(→ P.186)
【交通情報】	交通情報画面を表示します。(→ P.166)
【<】 / 【>】	周波数を順に送ります。 長くタッチすると、受信できる放送局を自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
【エリア】	プリセットの種類 (→ P.165) を切り替えます。
【AUTO.P】	長くタッチすると、受信状態の良い放送局を自動的にマニュアルプリセットに登録します。(→ P.166)

インフォメーション

- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが登録した放送局（マニュアルプリセット）を呼び出するか、あらかじめ本機に登録されている自車位置付近の放送局（エリアプリセット）を呼び出するかを選びます。

1 【エリア】にタッチする (→ P.165)

タッチすることにより、「マニュアル.P」⇔「エリア.P」が切り替わります。

インフォメーション

- エリアプリセットに設定しておくと、自車周辺の放送局がリスト表示され、かんたんに放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

放送局を手動で登録する

マニュアルプリセットに、FM、AM それぞれ 6 局まで、手動で登録することができます。

1 「マニュアルプリセット」に切り替える (→ P.165)

2. ラジオを聞く

1. ラジオの操作

2 【<】または【>】にタッチして、登録したい放送局（周波数）を選ぶ

3 登録したいプリセットの枠に長くタッチする



現在受信中の周波数が、選んだプリセットに登録されます。

放送局の自動登録

受信状態の良い放送局をマニュアルプリセットに自動的に登録することができます。

1 【AUTO.P】に長くタッチする (→ P.165)



自動登録が完了すると、マニュアルプリセットに放送局が登録されます。



インフォメーション

- ・自動登録を途中で中止する場合、再度【AUTO.P】にタッチします。
- ・受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、以前に登録した放送局が残る場合があります。

交通情報を受信する

幹線道路などで放送されている交通情報の受信のしかたを説明します。

1 【交通情報】にタッチする (→ P.165)

交通情報画面が表示され、前回聞いた周波数の交通情報を受信します。



【ソース選択】	ソース選択画面を表示します。(→ P.162)
【1620kHz】	1620 kHz にします。
【1629kHz】	1629 kHz にします。



インフォメーション

- ・交通情報を受信しているときに、音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。他の AV ソースに切り替えて音量を調整しても、次に交通情報を受信したときは、前回設定した音量で聞くことができます。

1. テレビの操作

ワンセグ放送の視聴のしかたを説明します。



警告

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のため、モニターに映像は表示されません。



インフォメーション

- ・ テレビソースを初めて使用するときや設定を初期化したとき、別のエリアに移動したときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）」（P.170）

テレビ（ワンセグ放送）を受信する

1 AV ソースを【TV】にする （→ P.163）



テレビソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

テレビ基本画面



【ソース選択】	ソース選択画面を表示します。（→ P.162）
【1】～【12】	キーを押してプリセットチャンネルを選局します。
【全画面】	映像を全画面で表示します。
【音設定】	音設定画面を表示します。（→ P.186）
【サービス切替】	同じ放送局内のサービスを切り替えます。（→ P.169）
【放送局リスト】	放送局リスト画面を表示します。（→ P.169）
【設定】	テレビ設定画面を表示します。（→ P.171）

放送局リスト画面



リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
【全画面】	映像を全画面で表示します。
【番組内容】	番組内容を表示します。（→ P.169）
【番組表】	番組表を表示します。（→ P.169）



インフォメーション

- ・ ワンセグの音量は、他の AV ソースより低いいため、他の AV ソースからワンセグに切り替えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターで AV ソースごとの音量の違いをそろえることができます。（→ P.189）

3. テレビ（ワンセグ放送）を見る

1. テレビの操作

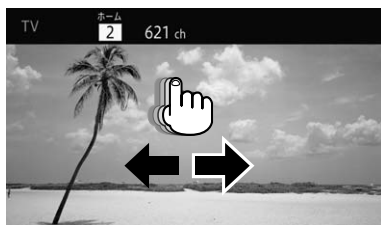
アンテナインジケータについて

テレビ基本画面左端に電波の受信状態を表すアンテナインジケータ（）が表示されます。

フリック操作

画面に触れた指を上下左右に払うような操作を「フリック操作」といいます。

テレビ（ワンセグ放送）を受信中に画面を左右にフリックすると、チャンネルを切り替えることができます。



インフォメーション

- フリック操作説明メッセージが表示されます。【了解】または【次回表示しない】にタッチしてメッセージ表示の設定を行ってください。

放送局を手動で登録する

ホームプリセット、またはトラベルプリセットにそれぞれ12局まで、現在受信中の放送局を手動で登録することができます（マニュアルプリセット）。

1 【設定】にタッチする (→ P.167)

2 【ホーム / トラベルプリセット設定】にタッチする (→ P.171)



インフォメーション

- 【ホーム / トラベルプリセット設定】が選択できない場合は、プリセットモードをホームプリセット、またはトラベルプリセットに切り替えてください。(→ P.171)

3 登録したい放送局を受信する

4 登録したいプリセットの枠に長くタッチする



現在受信中の放送局が、選んだプリセットに登録されます。

サービスを切り替える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、サービスを切り替えることができます。

1 【サービス切替】にタッチする (→ P.167)

別のサービスが表示されます。

番組表を表示する

現在視聴している放送局の番組表を最大10番組まで表示できます。

1 【放送局リスト】にタッチする (→ P.167)

2 番組表を見たい放送局を選んで 【番組表】にタッチする

選んだ放送局の番組表が表示されます。



👉 インフォメーション

- リスト項目にタッチすると、番組内容を表示します。(→ P.169)
- ⏮ にタッチすると、放送局リスト画面に戻ります。
- 選択中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、【サービス切替】にタッチすると、サービスを切り替えることができます。(→ P.169)

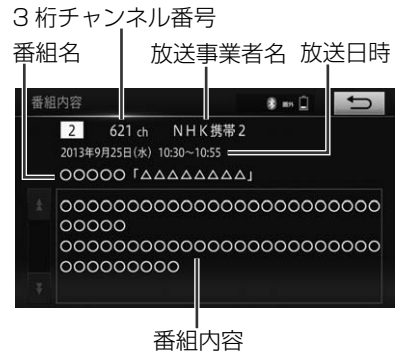
番組内容を表示する

視聴している番組の番組内容を表示します。

1 【放送局リスト】にタッチする (→ P.167)

2 番組内容を見たい放送局を選んで 【番組内容】にタッチする

番組内容が表示されます。



👉 インフォメーション

- 番組表画面でリスト項目にタッチしても番組内容を表示できます。(→ P.169)
- ⏮ にタッチすると、放送局リスト画面、または番組表画面に戻ります。

1. テレビの操作

放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)

受信可能な放送局をホームプリセット、またはトラベルプリセットに自動的に登録することができます。

1 【設定】 にタッチする (→ P.167)

2 【ホーム / トラベルプリ セット設定】 にタッチする (→ P.171)



インフォメーション

- ・【ホーム / トラベルプリセット設定】が選択できない場合は、プリセットモードをホームプリセット、またはトラベルプリセットに切り替えてください。(→ P.171)

3 【スキャン】 に長くタッチする



【キャンセル】 にタッチすると、スキャンを中止します。



現在受信中の放送局が自動的に登録されます。【OK】 にタッチすると、ホーム / トラベルプリセット設定画面に戻ります。

2. ワンセグの機能設定をする

テレビ（ワンセグ放送）を受信する際の機能を設定します。

1 【設定】にタッチする (→ P.167)

2 設定したい機能を選んでタッチする



【プリセットモード】	ホーム／トラベル／エリアからプリセットの種類を切り替えられます。(→ P.171)
【放送局サーチ】	受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。(→ P.171)
【各種切替】	字幕／音声／画面のワイドモードを切り替えられます。(→ P.172)
【ホーム／トラベルプリセット設定】	ホームプリセット、またはトラベルプリセットにお好みの放送局をそれぞれ12局まで登録できます。(→ P.170)

プリセットの種類を切り替える

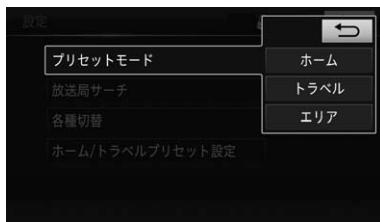
ホームプリセット、トラベルプリセット、またはエリアプリセットを切り替えます。

1 【プリセットモード】にタッチする (→ P.171)



プリセットモード選択ポップアップが表示されます。

2 表示したいプリセットモードにタッチする



【ホーム】	普段ご覧になるときに使用するモードです。ホームプリセットに記憶したチャンネルが表示されます。
【トラベル】	旅先などでこのモードを使用すると、ホームとは別にプリセットスイッチにチャンネルを記憶することができます。
【エリア】	自車周辺の地域で放送されているチャンネルが自動的にプリセットスイッチに表示されます。



インフォメーション

- ・エリアプリセットに設定しておくと、自車周辺の放送局がリスト表示され、かんたんに放送局を選ぶことができます。
- ・エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

オート放送局サーチ設定

受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。

1 【放送局サーチ】にタッチする (→ P.171)

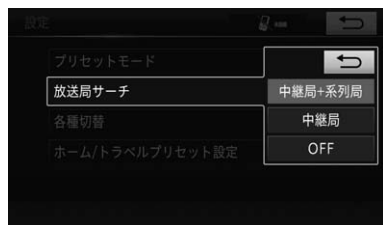


放送局サーチ選択ポップアップが表示されます。

3. テレビ（ワンセグ放送）を見る

2. ワンセグの機能設定をする

2 放送局を選ぶ

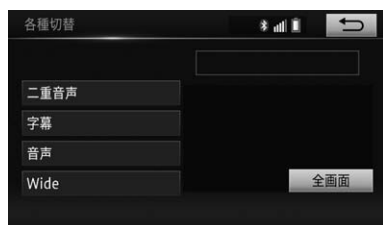


【中継局 + 系列局】	自動で中継局・系列局を探します。
【中継局】	自動で中継局を探します。
【OFF】	中継局・系列局は探しません。

各種設定を切り替える

1 【各種切替】 にタッチする (→ P.171)

2 項目を選んでタッチする



【二重音声】	2 カ国語放送の音声を切り替えられます。
【字幕】	番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示の ON/OFF を切り替えます。
【音声】	番組に複数の音声があるときに、音声を切り替えます。
【Wide】	通常の映像をワイド映像に拡大します。
【全画面】	映像を全画面で表示します。

2 カ国語放送（二重音声）の切り替え

2 カ国語放送の音声を切り替えられます。

1 【二重音声】 にタッチする (→ P.172)



タッチするごとに次のように切り替わります。

MAIN → SUB → MAIN/SUB → MAIN
に戻る

字幕の切り替え

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示の ON/OFF を切り替えます。

1 【字幕】 にタッチする (→ P.172)



タッチするごとに次のように切り替わります。

第 1 言語 → 第 2 言語 → OFF → 第 1 言語
に戻る

複数音声の切り替え

番組に複数の音声があるときに、音声を切り替えます。

1 【音声】 にタッチする (→ P.172)



タッチするごとに次のように切り替わります。

音声 1 → 音声 2 → 音声 1 に戻る

ワイドモードの切り替え

通常の映像をワイド映像に拡大します。

1 【Wide】 にタッチする (→ P.172)

2 【Wide】 にタッチする



▼
ワイドモードに切り替わります。



インフォメーション

- **【Normal】** にタッチすると、ノーマルモードに切り替わります。

1. 音楽 CD を聞く

音楽 CD の基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する (→ P.30)



自動的に再生が始まります。



インフォメーション

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AV ソースを切り替えてください。(→ P.162)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては→「**再生できるディスクの種類**」(P.194)を参照してください。
- 楽曲名、アルバム名、アーティスト名は、CD-TEXT から情報が取得できた場合のみ表示されます。それ以外では、以下のように表示されます。
 - 楽曲名：No Title
 - アルバム名：No Title
 - アーティスト名：No Name
- 音楽データ (CD) と WMA/MP3 データが混在しているディスクを再生した場合、CD のみ再生されます。

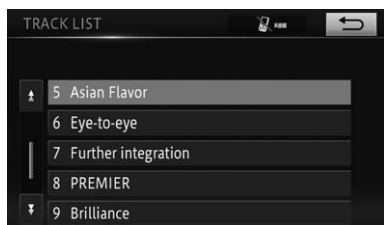
【ソース選択】	ソース選択画面を表示します。(→ P.162)
【<】 / 【>】	トラックをダウン／アップします。
トラック名	トラックリストを表示します。(→ P.175)
【音設定】	音設定メニュー画面を表示します。(→ P.186)
【<<】 / 【>>】	早戻し／早送りします。
【▶】 / 【 】	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
【RPT】	リピート再生を行います。(→ P.175)
【RAND】	ランダム再生を行います。(→ P.175)

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい楽曲を直接選ぶことができます。

1 トラック名にタッチする (→ P.174)

2 聞きたい楽曲(トラック)にタッチする



インフォメーション

- 通常再生画面に戻るには、にタッチします。

リピート再生

再生中の楽曲を繰り返し聞くことができます。

1 [RPT] にタッチする (→ P.174)

タッチするごとに、リピート再生の ON/OFF が切り替わります。



インフォメーション

- リピート再生「ON」の場合は、スイッチ横のインジケーターが点灯し、画面に「RPT」と表示されます。通常再生である「OFF」の場合は、画面に表示されません。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 [RAND] にタッチする (→ P.174)



タッチするごとに、ランダム再生の ON/OFF が切り替わります。



インフォメーション

- ランダム再生「ON」の場合は、スイッチ横のインジケーターが点灯し、画面に「RAND」と表示されます。通常再生である「OFF」の場合は、画面に表示されません。
- ランダム再生中にリピート再生を行うと、ランダム再生が中止されます。

2. CD-R/RW (WMA/MP3) を聞く

CD-R/RW (WMA/MP3) の基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する (→ P.30)

自動的に再生が始まります。

ファイル種別 再生中トラックの経過時間



トラック名 (楽曲名)

アーティスト名

【ソース選択】 ソース選択画面を表示します。(→ P.162)

【<】 / 【>】 フォルダまたはトラックをダウン/アップします。

トラック名 再生中のファイルを含む、トラックリストを表示します。(→ P.176)

フォルダ名 ルートフォルダを表示します。(→ P.176)

【音設定】 音設定メニュー画面を表示します。(→ P.186)

【<<】 / 【>>】 早戻し/早送りします。

【▶】 / 【||】 再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。

【RPT】 リピート範囲を切り替えます。(→ P.177)

【RAND】 ランダム再生を行います。(→ P.177)



インフォメーション

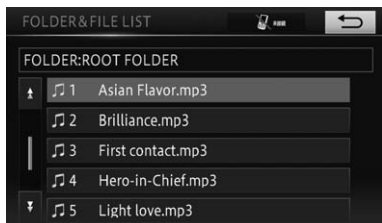
- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AV ソースを切り替えてください。(→ P.162)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては→「**再生できるディスクの種類**」(P.194)を参照してください。
- ID3 Tag/ WMA Tag (→ P.196) からタイトル情報を取得できた場合は、楽曲名やアルバム名、アーティスト名が表示されます。
- タイトル情報を取得できなかった場合は以下のように表示されます。
 - 楽曲名：ファイル名
 - アルバム名：フォルダ名
 - アーティスト名：No Name
- WMA のときに Tag の Author 情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- DRM (デジタル著作権管理) が設定されたファイルは再生できません。
- 音楽データ (CD) と WMA/MP3 データが混在しているディスクを再生した場合、CD のみ再生されます。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい楽曲を直接選ぶことができます。

1 トラック名またはフォルダ名にタッチする (→ P.176)

2 聞きたい楽曲(ファイル)にタッチする



インフォメーション

- ルートフォルダーの場合、 にタッチすると通常再生画面に戻ります。それ以外の場合、上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- フォルダーリスト表示中にフォルダー名にタッチすると、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- リストに表示されるフォルダー数は最大 192、ファイル数は 255 です。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲を TRACK REPEAT に指定すると、再生中のトラックを繰り返し聞くことができます。

1 [RPT] にタッチする (→ P.176)



タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り替わります。

DISC REPEAT → TRACK REPEAT → FOLDER REPEAT → DISC REPEAT
に戻る

リピート再生の範囲	画面表示	内容
DISC REPEAT	—	通常の再生状態です。ディスク内のトラックを繰り返し再生します。

リピート再生の範囲	画面表示	内容
TRACK REPEAT	RPT	再生中のトラックを繰り返し再生します。
FOLDER REPEAT	FLD.RPT	再生中のフォルダー内のトラックを繰り返し再生します。



インフォメーション

- TRACK REPEAT または FOLDER REPEAT の場合は、スイッチ横のインジケーターが点灯します。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作 (TRACK REPEAT 中の選曲操作など) を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生の範囲は画面に表示されますが、通常再生である DISC REPEAT は、画面に表示されません。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 [RAND] にタッチする (→ P.176)



タッチすることにより、ランダム再生の ON/OFF が切り替わります。



インフォメーション

- ランダム再生「ON」の場合は、スイッチ横のインジケーターが点灯し、画面に「RAND」と表示されます。通常再生である「OFF」の場合は、画面に表示されません。
- リピート再生の範囲が TRACK REPEAT の場合、ランダム再生を「ON」にすると、リピート再生の範囲は FOLDER REPEAT に自動的に切り替わります。
- FOLDER REPEAT とランダム再生中に他のフォルダーの楽曲を再生した場合、DISC REPEAT に切り替わります。

1. SD の操作のしかた

本機に接続した SD カード内の音楽ファイル（WMA/MP3/AAC/WAV）の操作について説明します。

注意

- SD カードの出し入れは、決められた手順で行ってください（→P.32）。異なる手順で出し入れを行うと、SD カードに保存したデータが破損する場合があります。



インフォメーション

- ・本機は、以下のメディアに対応しています。
 - SD カード：最大容量 256 GB、ファイルシステム：FAT16, FAT32, exFAT
- ・SD メモリーカードに関する注意点は、→「SD メモリーカードについて」（P.7）をご覧ください。
- ・再生可能なファイルに関しては、→「本機で再生可能なメディアとファイルの種類」（P.164）をご覧ください。

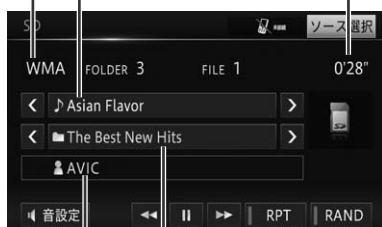
再生する

1 AV ソースを【SD】にする （→P.163）

前回再生していたファイルから再生されます。

ファイル種別 再生中トラックの経過時間

ファイル名（楽曲名）



フォルダー名（アルバム名）

アーティスト名

【ソース選択】 ソース選択画面を表示します。（→P.162）

【<】 / 【>】 フォルダーまたはトラックをダウン／アップします。

ファイル名 再生中のファイルを含む、トラックリストを表示します。（→P.179）

フォルダー名	ルートフォルダーを表示します。（→P.179）
【音設定】	音設定メニュー画面を表示します。（→P.186）
 / 	早戻し／早送りします。
 / 	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
【RPT】	リピート範囲を切り替えます。（→P.180）
【RAND】	ランダム再生を行います。（→P.180）



インフォメーション

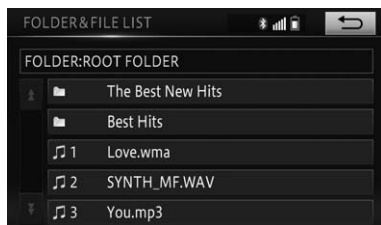
- 再生中の MP3/WMA/AAC ファイルに Tag 情報が存在する場合は、楽曲名やアルバム名、アーティスト名が表示されます。
- Tag 情報を取得できなかった場合や WAV ファイルの場合は以下のように表示されます。
 - 楽曲名：ファイル名
 - アルバム名：フォルダー名
 - アーティスト名：No Name
- WMA のときに Tag の Author 情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- フォルダー No. は、階層の深いフォルダーを優先にファイルシステムから見つかった順に割り振られます。
- ファイル No. は、同一フォルダー内でファイルシステムから見つかった順に割り振られます。
- DRM（デジタル著作権管理）が設定されたファイルは再生できません。
- フォルダー名+ファイル名が 258 文字を超えるファイルは再生できません。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい楽曲を直接選ぶことができます。

1 ファイル名、またはフォルダー名にタッチする（→ P.178）

2 聞きたい楽曲(ファイル)にタッチする



インフォメーション

- ルートフォルダーの場合、 にタッチすると通常再生画面に戻ります。それ以外の場合、上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- フォルダーリスト表示中にフォルダー名にタッチすると、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- リストに表示されるフォルダー数は最大 300、ファイル数は最大 5,000 です。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲を FILE REPEAT に指定すると、再生中のファイルを繰り返し聞くことができます。

1 [RPT] にタッチする (→ P.178)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り替わります。

**MEDIA REPEAT → FILE REPEAT →
FOLDER REPEAT → MEDIA REPEAT
に戻る**

リピート再生の範囲	画面表示	内容
MEDIA REPEAT	—	通常の再生状態です。メディア (SD) 内のトラックを繰り返し再生します。
FILE REPEAT	RPT	再生中のトラックを繰り返し再生します。
FOLDER REPEAT	FLD.RPT	再生中のフォルダー内のトラックを繰り返し再生します。



インフォメーション

- FILE REPEAT、または FOLDER REPEAT の場合は、スイッチ横のインジケータが点灯します。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作 (FILE REPEAT 中の選曲操作など) を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生の範囲は画面に表示されますが、通常再生である MEDIA REPEAT は、画面に表示されません。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 [RAND] にタッチする (→ P.178)

タッチすることにより、ランダム再生の ON/OFF が切り替わります。



インフォメーション

- ランダム再生「ON」の場合は、スイッチ横のインジケータが点灯し、画面に「RAND」と表示されます。通常再生である「OFF」の場合は、画面に表示されません。
- リピート再生の範囲が FILE REPEAT の場合、ランダム再生を「ON」にすると、リピート再生の範囲は FOLDER REPEAT に自動的に切り替わります。
- FOLDER REPEAT とランダム再生中に他のフォルダーの楽曲を再生した場合、MEDIA REPEAT に切り替わり、ランダム再生のみの再生となります。

1. Bluetooth Audio の操作のしかた

AV プロファイルに対応した Bluetooth 機器と本機をワイヤレス接続することで、Bluetooth Audio 機器内の音楽データを本機で再生することができます。AV プロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

接続プロファイル	音声伝送	選曲操作	特殊再生操作	情報表示
A2DP Ver1.0	○	×	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.0	○	△ *	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.3	○	△ *	△	△
A2DP+AVRCP Ver1.4	○	△	△	△

○：できます。 △：Bluetooth Audio 機器により異なります。 ×：できません。

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。

AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) とは、楽曲の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。

* A2DP+AVRCP Ver1.0 または A2DP+AVRCP Ver1.3 で、Bluetooth Audio 機器と接続した場合、リストから選んで再生することはできません。

Bluetooth Audio 機器の登録

Bluetooth Audio 機器をお使いになるには、あらかじめ本機に Bluetooth Audio 機器を登録する必要があります。→「2. Bluetooth 設定をする」(P.129)

登録が行われ、A2DP に対応している Bluetooth Audio 機器は、AV ソースが Bluetooth Audio に切り替えられた時点で自動的に本機と接続され再生が始まります。接続された機器によっては、再生が始まる場合と始まらない場合があります。



インフォメーション

- 本機に登録されていない Bluetooth Audio 機器は、接続することができません。
- 優先接続する Bluetooth Audio 機器を変更したい場合は、Bluetooth 設定で行ってください。→「Bluetooth 機器を切り替える」(P.131)
- Bluetooth Audio 機器が別のプロファイルで接続中は、接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio 機器の全てのプロファイルを切断してから接続してください。

再生する

1 AV ソースを [Bluetooth] にする (→ P.163)



自動的に Bluetooth Audio 機器と接続を行い、再生が始まります。



インフォメーション

- Bluetooth 機器が未登録の場合は、未登録をお知らせするメッセージが表示されます。**【接続】** にタッチして、登録操作を行ってください。(→ P.129)



1. Bluetooth Audio の操作のしかた

【ソース選択】	ソース選択画面を表示します。(→ P.162)
【<】 / 【>】	アルバムまたはトラックをダウンロード/アップします。
トラック名	トラックリストを表示します。(→ P.182)
フォルダー名	アルバムリストを表示します。(→ P.182)
【接続】	機器登録・接続画面を表示します。(→ P.129)
【音設定】	音設定メニュー画面を表示します。(→ P.186)
⏮ / ⏭	早戻し/早送りします。
⏸	一時停止します。
▶	再生します。一時停止中は、再生を再開します。
【RPT】	リピート範囲を切り替えます。(→ P.183)
【RAND】	ランダム状態を切り替えます。(→ P.183)



インフォメーション

- 自動的に再生が始まらない場合は、▶ にタッチしてください。
- お使いの Bluetooth Audio 機器によっては、▶ にタッチしても再生が開始されない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio 機器側で再生を開始させてください。
- Bluetooth Audio 機器によっては、早戻し/早送りに音が出る場合と出ない場合があります。
- A2DP 接続のみの場合は▶ や⏸などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、Bluetooth Audio 機器側で操作してください。
- Bluetooth Audio 使用中に、ハンズフリー機能や電話帳転送機能を使用すると、一時的に Bluetooth Audio の機能は停止します。
- A2DP + AVRCP 接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。

- A2DP+AVRCP Ver1.3 または A2DP+AVRCP Ver1.4 で接続した場合は、トラックタイトルやアーティスト名などの情報が表示されます。(Bluetooth Audio 機器によっては表示されない場合もあります。) また、何らかの理由により再生が始まらない場合や接続が切断された場合は、一時的にそれらの情報が表示されなくなりますが、再生が始まると再表示されます。
- お使いになる Bluetooth Audio 機器によっては使用できない機能や制限事項があります。詳しくは、販売店にご確認ください。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい楽曲を直接選ぶことができます。

1 トラック名またはアルバム名にタッチする (→ P.182)

2 聞きたい楽曲(ファイル)にタッチする



選んだファイルが再生されます。

1. Bluetooth Audio の操作のしかた



インフォメーション

- にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。Bluetooth Audio 機器によってはルートフォルダーより下の階層をトップ階層にしている場合があります。
- フォルダー名にタッチした場合は、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- A2DP Ver1.0、A2DP+AVRCP Ver1.0、または A2DP+AVRCP Ver1.3 で、Bluetooth Audio 機器と接続した場合、リストから選んで再生することはできません。



インフォメーション

- REPEAT OFF 以外の場合は、スイッチ横のインジケーターが点灯します。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作（TRACK REPEAT 中の選曲操作など）を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生の範囲は画面に表示されますが、通常再生である REPEAT OFF は、画面に表示されません。
- 通常のリピート再生の範囲はお使いの機器によって異なります。

3

オーディオ&ビジュアル

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲を TRACK REPEAT に指定すると、再生中のトラックを繰り返し聞くことができます。

1 [RPT] にタッチする (→ P.182)



タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り替わります。

REPEAT OFF → TRACK REPEAT →
ALBUM REPEAT → ALL REPEAT →
REPEAT OFF に戻る

リピート再生の範囲	画面表示	内容
REPEAT OFF	—	通常の再生状態です。
TRACK REPEAT	RPT	再生中のトラックを繰り返し再生します。
ALBUM REPEAT	A.RPT	再生中のアルバム内のトラックを繰り返し再生します。
ALL REPEAT	ALL.RPT	Bluetooth Audio 機器内のトラックを繰り返し再生します。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 [RAND] にタッチする (→ P.182)



タッチすることにより、ランダム再生の範囲が以下のように切り替わります。

RANDOM OFF → ALBUM RANDOM
→ ALL RANDOM → RANDOM OFF
に戻る

ランダム再生の範囲	画面表示	内容
RANDOM OFF	—	通常の再生状態です。
ALBUM RANDOM	RAND	再生中のアルバム内のトラックをランダムに再生します。
ALL RANDOM	A.RAND	すべての楽曲をランダムに再生します。



インフォメーション

- RANDOM OFF 以外の場合は、スイッチ横のインジケーターが点灯します。
- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- 選んだランダム再生の範囲は画面に表示されますが、通常再生である RANDOM OFF は、画面に表示されません。

2. Bluetooth Audio 機器の接続について

一時的に接続が切断された場合

本機との接続が成功した Bluetooth Audio 機器は、以下のような理由により一時的に Bluetooth 接続が切断された場合、自動的に再接続を行います。

- ACC を OFF/ON した場合
- 電話帳転送を行った場合
- Bluetooth 機器の登録を行った場合



インフォメーション

- 以下の場合、自動接続の対象外となります。Bluetooth 設定メニューから再接続してください。(→ P.129)
 - Bluetooth Audio 機器側の操作で Bluetooth 接続を切断した場合
 - その他、何らかの理由により再接続が失敗した場合

Bluetooth Audio 機器が自動的に接続されない場合

お使いになる Bluetooth Audio 機器によっては、Bluetooth Audio 機器の登録が行われていても自動的に接続できないことがあります。その場合は、以下の手順で接続してください。

1 【接続】にタッチ (→ P.182)、または Bluetooth Audio 機器を操作して本機と接続する



Bluetooth Audio 機器との接続を開始します。



インフォメーション

- 接続を開始してから 10 秒以内に接続が完了しない場合、接続処理は中断されます。
- Bluetooth Audio 機器側の接続操作は、Bluetooth Audio 機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

1. AUX を使う

本機にポータブルオーディオプレーヤーなどの外部音声機器を接続すると、その音声を本機の AV ソース (AUX) として聞くことができます。

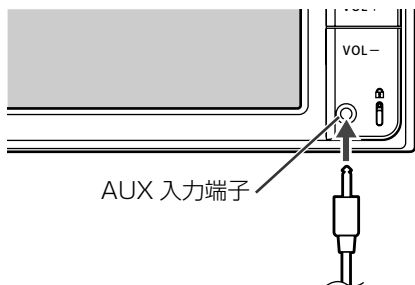


インフォメーション

- 本機に外部音声機器を接続するには、市販の ϕ 3.5 mm ミニプラグケーブルが必要です。

外部機器の音声を聞く

1 ϕ 3.5 mm ミニプラグケーブルを本機の AUX 入力端子に接続する



2 AV ソースを [AUX] にする (→ P.163)



外部機器の音声が再生されます。



インフォメーション

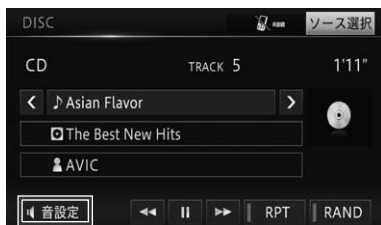
- AUX を使用しているときに、音量を調整すると、AUX 用の音量として設定することができます。他の AV ソースに切り替えて音量を調整しても、次回 AUX を使用したときは、前回設定した音量で聞くことができます。
- AUX 入力端子からミニプラグケーブルを抜いた場合、AUX 用の音量は初期状態に戻ります。

1. オーディオの設定をする

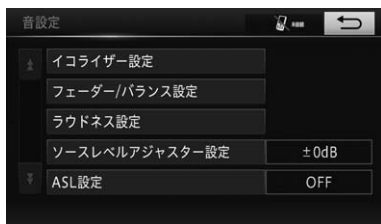
お好みに合わせてオーディオの音や機能などを設定することができます。

1 AV ソース画面を表示する (→ P.162)

2 [音設定] にタッチする



音設定メニュー画面が表示されます。



 AV ソース画面に戻ります。

【イコライザー設定】 あらかじめ用意された5つの設定（初期設定カーブ）とお好みに調節した設定（Custom）からイコライザーカーブを選ぶことができます。（→ P.186）

【フェーダー／バランス設定】 前後左右の音量バランスを設定することができます。（→ P.188）

【ラウドネス設定】 小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。（→ P.188）

【ソースレベルアジャスター設定】 AV ソースを切り替えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各 AV ソースの音量の差をそろえることができます。（→ P.189）

【ASL 設定】 車の走行速度に合わせて、音量を自動で調整することができます。（→ P.189）



インフォメーション

- 走行中は操作できない設定項目があります。
- オーディオ設定メニュー画面を操作中に、音声案内、ハンズフリー通話などがあった場合は、オーディオ設定の各種設定はできません。
- AV ソース OFF 時や MUTE 中は、設定できません。
- 設定を終了する場合は、 にタッチします。

イコライザー設定

工場出荷時は「Flat」です。

1 【イコライザー設定】にタッチする (→ P.186)

2 お好みの設定にタッチする



1. オーディオの設定をする

▼
タッチする設定によって、イコライザーカーブが切り替わります。

【詳細設定】	
	選んだ初期設定カーブを補正します。
初期設定カーブ	[Super Bass] 低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
	[Powerful] 低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな楽曲がメリハリよく聞こえます。
	[Natural] 自然なバランスで、聞き疲れしない心地良い音を再生します。
	[Vocal] 中高音域が厚みを持ち、のびやかなボーカルを際立たせます。
	[Flat] 音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り替えて、イコライザーの効果を確認するときにご使用ください。
[Custom 1]、[Custom 2] Custom メモリーに登録した調整値を呼び出します。	



インフォメーション

- Custom1 は AV ソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - FM、AM
 - CD、CD-R/RW
- 設定を終了する場合は、 にタッチします。

イコライザーを補正する

選んだ初期設定カーブの各周波数を、さらに細かくレベル補正することができます。補正した値は、Custom 1 に登録されます。



インフォメーション

- Custom2 を選んで補正した値は、Custom2 に登録されます。
- すでにイコライザー設定 (→ P.186) で、Custom1 に補正値を登録済みの場合、ここで補正した値が上書きされます。

1 初期設定カーブを選ぶ (→ P.186)

2 【詳細設定】にタッチする (→ P.187)

3 補正する周波数を選び、 または にタッチしてレベルを補正する



100 Hz、315 Hz、1.25 kHz、3.15 kHz、8 kHz から周波数を選べます。
- 12 dB ~ +12 dB の間で 2 dB ごとに調整できます。



インフォメーション

- 設定を終了する場合は、 にタッチします。

8. オーディオの設定

1. オーディオの設定をする

フェーダー／バランス設定

AV ソースを切り替えたときに、音量の違いが出ないように FM の音量を基準にして、各 AV ソースの音量の差をそろえることができます。

工場出荷時は以下のとおりです。

フェーダー：「0」

バランス：「0」

1 【フェーダー／バランス設定】にタッチする（→ P.186）

2 [↑]、[↓]、[←]、[→] にタッチして、前後左右のバランスを調整する



カーソルの位置で前後左右の音のバランスを確認できます。



インフォメーション

- 設定を終了する場合は、[戻る] にタッチします。

ラウドネス設定

工場出荷時は以下のとおりです。

設定：「OFF」

効果：「MID」

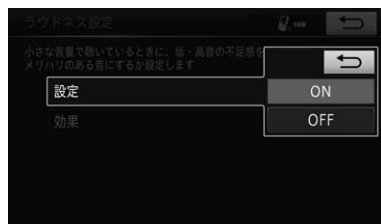
1 【ラウドネス設定】にタッチする（→ P.186）

2 【設定】にタッチする



設定用のポップアップが表示されます。

3 【ON】にタッチする



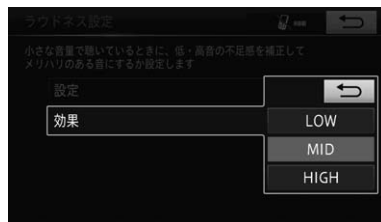
ラウドネスを働かせない場合は、【OFF】を選びます。

4 【効果】にタッチする

5 お好みの効果にタッチする



設定用のポップアップが表示されます。



【LOW】、【MID】、【HIGH】にタッチすると設定が変わり、ポップアップが閉じます。

ソースレベルアジャスター設定

工場出荷時は「± 0 dB」です。



インフォメーション

- FM の音量を基準に他の AV ソースとの音量を調節するため、FM を聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- AV ソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - CD、CD-R/RW
 - AM、交通情報

1 [ソースレベルアジャスター設定] にタッチする (→ P.186)

設定用のポップアップが表示されます。

2 [+ または -] にタッチする



− 8 dB 〜 + 8 dB の範囲で 2 dB ごとに調節できます。



インフォメーション

- 音設定画面に戻るには、 にタッチします。

ASL 設定

オート・サウンド・レベライザー (ASL) を設定すると、走行速度に応じて音量をリアルタイムに補正し、快適な聞き心地を保ちます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 [ASL 設定] にタッチする (→ P.186)

設定用のポップアップが表示されます。

2 お好みの感度にタッチする



[OFF]、[LOW]、[MID LOW]、[MID]、[MID HIGH]、[HIGH] にタッチすると設定が変わり、ポップアップが閉じます。



インフォメーション

- 本機能が働いて音量が上がりすぎたとき、音がゆがむことがあります。その場合は、音量を調整するか、感度を下げてください。

1. 故障とお考えになる前に

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

共通項目

症状	考えられること	処置
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
	ミュートになっている。	ミュートを解除してください。
映像が出ない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
	画面を一時的に消している状態になっている。	画面を一時的に消している状態を解除してください。→「 画面を一時的に消す 」(P.25)
モニターにナビゲーションの映像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り替わっていない。	現在地 で画面を切り替えてください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節・設定してください。→「 フェーダー／バランス設定 」(P.188)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	
液晶画面の中に小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—
勝手に音量が上下する	オート・サウンド・レベライザー(ASL)機能が働いているためです。故障ではありません。	ASL機能を解除してください。→「 ASL設定 」(P.189)

FM/AM

症状	考えられること	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。受信感度が悪い。	放送局の電波が弱い。	受信状態のよい場所へ車を移動させるか、他の放送局を選局してみてください。→「 ラジオの放送を受信する 」(P.165)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→「 ラジオの放送を受信する 」(P.165)

CD/CD-R/RW (WMA/MP3)

症状	考えられること	処置
CD-R や CD-RW を再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3 ファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。
	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	ファイルの対応ビットレートをご確認のうえ (→ P.196, 197)、対応しているビットレートで記録された WMA/MP3 ファイルにしてください。
WMA/MP3 ファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があていない。	ディスクを交換してください (WMA 形式でないファイルに「.wma」、MP3 形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けた CD-R/RW を再生しないでください)。
聞きたい WMA/MP3 ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3 ファイル再生順が記録した順と異なる。	WMA/MP3 ファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字 (01、02 など) を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。
「高温、または低温のため、再生できません ディスクを取り出して ください」というメッセージが表示される。	エアコン吹き出し口の近くに設置したことなどが原因で、ナビゲーション本体の内部温度が高くなったり低くなった。	ディスクを取り出し、正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。

1. 故障とお考えになる前に

症状	考えられること	処置
「DISC をお確かめください」というメッセージが表示される。 「再生できるデータがありません」というメッセージが表示される。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりの無いディスクに交換してください。
	ディスクの表裏を逆にして挿入している。	ディスクのレーベル面を上にして挿入してください。
	本機で再生できないディスクを挿入している。	→「 再生できるディスクの種類 」(P.194) をご確認ください。本機で再生できるディスクに交換してください。

テレビ

症状	考えられること	処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。 映像が止まって、音が出ない。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
放送を受信できない。 「放送を受信できません」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていない。	はじめてホームプリセットまたはトラベルプリセットをご使用の際は、チャンネルスキャンを行ってください。→「 放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン) 」(P.170)
	移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。	他の中継局 (チャンネル) に切り換えてみてください。エリアプリセット以外の方法で受信している場合でも、オート放送局サーチ設定に従って、自動的に受信可能な中継局や系列局に切り換えます。受信可能な中継局や系列局を自動的に探して切り換えることができます。→「 オート放送局サーチ設定 」(P.171)
	放送局 (チャンネル) が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わった。	受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。→「 放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン) 」(P.170)
	受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。

SD カード

症状	考えられること	処置
WMA/MP3/AAC/WAV ファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」、WAV ファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
	対応していないビットレートで記録されている。	ファイルの対応ビットレートをご確認のうえ(→ P.196, 197)、対応しているビットレートで記録された WMA/MP3/AAC ファイルにしてください。
聞きたい WMA /MP3/ AAC/WAV ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」、WAV ファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
お持ちのパソコンで認識している SD カードが、本機で認識しない。 「この SD カードは本機では使用できません」というメッセージが表示される。	本機が対応していない SD カードを挿入した。	本機が対応している SD カードをご確認ください。(→ P.178) 専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。 フォーマットをすると、SD カードに記録されたデータが全て消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。 フォーマットソフトは、SD アソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL : https://www.sdcard.org/jp/
「SD カードが正しく挿入されていることをお確かめください」というメッセージが表示される。	SD カードが完全に挿入されていない。	SD カードを完全に挿入してください。(→ P.32)

AUX

症状	考えられること	処置
AUX 使用時、片方しか音が出ない。	モノラル音声用の ϕ 3.5mm ミニプラグケーブルを使用している。	ステレオ音声用 ϕ 3.5mm ミニプラグケーブルをご使用ください。
	ご使用のケーブルのプラグが、確実に挿入されていない。	ご使用のケーブルが確実に挿入されているかどうかご確認ください。

2. ディスクについて

再生できるディスクの種類

下記のマークがあるディスクをご利用ください。マークは、ディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

CD



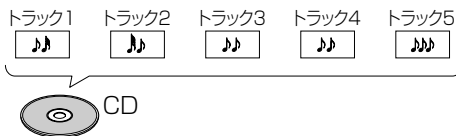
- CD-EXTRA は、音楽 CD として再生することができます。
- コピーガード機能付き CD (Copy Control CD など) は正式な CD 規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用 CD レコーダーで録音したもの以外の CD-R/RW ディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RW ディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていない CD-R/RW ディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD (Double Density CD) 形式で録音された CD-R/RW ディスクは再生できません。
- 音楽用 CD レコーダーで録音した音楽用 CD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC (パソコン) で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。(詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。)
- 本機は、音楽データ (CD) と WMA/MP3 (CD-R/RW) のいずれかのデータが混在しているディスクの再生には対応していますが、再生できるデータは音楽データ (CD) のみとなります。

ディスクの構成について

CD は、ディスクをトラックという単位で分けています。

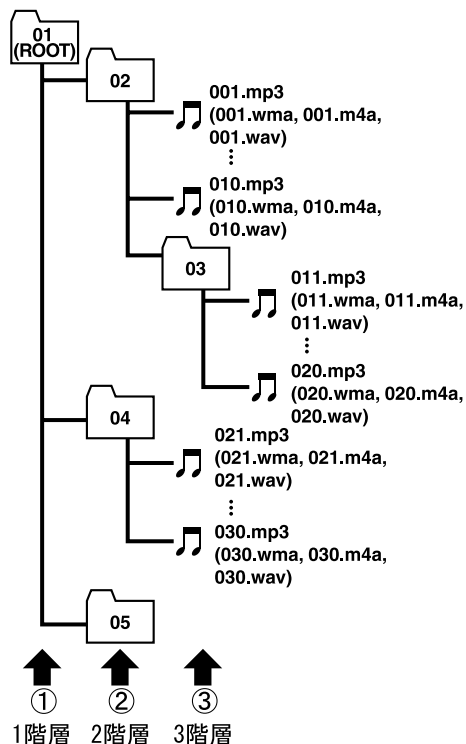
一般的には、1 曲が 1 つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



3. WMA/MP3/AAC/WAV ファイルについて

フォルダーと WMA/MP3/AAC/WAV ファイルについて

- WMA/MP3 ファイルを収録したディスクや、WMA/MP3/AAC/WAV ファイルを収録した SD カード内のイメージは下図のようになります。



- 本機は WMA/MP3 ファイルが記録された CD-R/RW (CD-ROM モードはモード 1、モード 2、FORM1、FORM2 に対応) や、WMA/MP3/AAC/WAV ファイルが収録された SD カードの再生に対応しています。
- ディスクは、ISO9660 のレベル 1、およびレベル 2、および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。

- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。再生可能なセッションは 1st セッションのみです。
- パケットライトには対応していません。
- m3u のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- 再生できるフォルダー数の合計は、最大 192 (CD-R/RW の場合) / 300 (SD の場合) です。
- 再生できるファイル数の合計は、最大 255 (CD-R/RW の場合) / 5,000 (SD の場合) です。
- 拡張フォーマット (Romeo) に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から 28 文字、半角では先頭から 56 文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

👉 インフォメーション

- ・ フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- ・ WMA/MP3/AAC/ WAV ファイルを含まないフォルダーは認識しません (フォルダー番号の表示をせず、スキップします)。
- ・ 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を 2 つ以下にすることをおすすめします。
- ・ ディスクに含まれるフォルダーの合計が 192 個まで再生可能です。

3. WMA/MP3/AAC/WAV ファイルについて

WMA とは？

WMA とは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮方式です。

WMA データは、Windows Media Player Ver.7 以降を使用してエンコードすることができます。



インフォメーション

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

- 対応ビットレートは 48 kbps ～ 320 kbps (CD-R/RW の場合) / 5 kbps ～ 320 kbps (SD の場合) です。VBR に対応しています。
- デジタル著作権管理 (DRM) で保護されたファイルは再生できません。すべてのファイルが DRM で保護されている場合、本機では再生できません。
- 下記形式には対応していません。
 - Windows Media Audio 9 Professional
 - Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio 9 Voice

再生できる WMA ファイルについて



インフォメーション

- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けないでください。**
- 本機では、Windows Media Player Ver7 / 8 / 9 を使用してエンコードした WMA ファイルを再生することができます。
- 画像データを含む WMA ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- WMA Tag の album (アルバム名として表示)、title (楽曲名として表示)、artist (アーティスト名として表示) の表示に対応しています。
- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 32 kHz ～ 48 kHz (CD-R/RW の場合) / 8 kHz ～ 48 kHz (SD の場合) です。

MP3 とは？

MP3 とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できる MP3 ファイルについて



インフォメーション

- MP3 ファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けないでください。**
- ID3 Tag の album (アルバム名として表示)、title (楽曲名として表示)、artist (アーティスト名として表示) の表示に対応しています。

3. WMA/MP3/AAC/WAV ファイルについて

- 対応可能な ID3 Tag のバージョンは 1.0, 1.1, 2.2, 2.3, 2.4 です。なお、ID3 Tag の Ver.1.X と Ver.2.X が混在している場合は、Ver.2.X が優先されます。
- 再生可能な MP3 ファイルの対応サンプリング周波数は、16 kHz ～ 48 kHz (CD-R/RW の場合) / 8 kHz ～ 48 kHz (SD の場合) です。エンファシスに対応しています。
- 対応ビットレートは 8 kbps ～ 320 kbps です。VBR に対応しています。

AAC とは？

AAC とは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できる AAC ファイルについて

インフォメーション

- AAC ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- AAC ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.m4a) を付けてください。
- 本機は、iTunes で作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルを AAC ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、AAC ファイル以外には拡張子 (.m4a) を付けしないでください。**
- 画像データを含む AAC ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AAC Tag の album (アルバム名として表示)、title (楽曲名として表示)、artist (アーティスト名として表示) の表示に対応しています。

- AAC ファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能な AAC ファイルのサンプリング周波数は 8 kHz ～ 48 kHz です。対応ステレオビットレートは 8 kbps ～ 320 kbps です。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
 - Apple Lossless

WAV とは？

WAV とは、「Waveform」の略で、Windows® での標準音声フォーマットです。

再生できる WAV ファイルについて

インフォメーション

- WAV ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wav) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wav) が付いているファイルを WAV ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、WAV ファイル以外には拡張子 (.wav) を付けしないでください。**
- 本機は LPCM 形式でエンコードされた WAV ファイルの再生に対応しています。
- 本機は 16 kHz ～ 48 kHz のサンプリング周波数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。
- 一般的に WAV ファイルは、量子化ビット数が多いほど音質は良くなります。本機は 8/16 bit の量子化ビット数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、より高い量子化ビット数で記録することをおすすめします。

情報

1. 情報について

1. 交通ナビ関連情報について 200

JAF または道路交通情報センターの
情報を表示する 200

メモリ地点の電話番号を表示する 200

目的地の情報を表示する 200

2. その他の情報の利用 201

シリアルナンバーを確認する 201

データバージョンを確認する 201

1. 交通ナビ関連情報について

JAF または道路交通情報センターの情報を表示する

1 **MENU** を押し、**【電話】** にタッチする (→ P.50)

2 **【交通ナビ】** にタッチする



3 **【JAF】** または **【道路交通情報センター】** にタッチする



JAF または道路交通情報センターの全国共通代表電話番号が表示されます。

メモリ地点の電話番号を表示する

1 **MENU** を押し、**【電話】** - **【交通ナビ】** にタッチする (→ P.200)

2 **【メモリ地点】** にタッチする

3 **メモリ地点の名称にタッチする**



メモリ地点の電話番号が表示されます。



インフォメーション

- メモリ地点の電話番号が未登録の場合は、電話番号未登録のメッセージが表示されます。
- 【地図】** にタッチすると、メモリ地点の地図画面が表示されます。

目的地の情報を表示する

1 **MENU** を押し、**【電話】** - **【交通ナビ】** にタッチする (→ P.200)

2 **【目的地】** にタッチする

目的地の電話番号が表示されます。



インフォメーション

- 複数の目的地が設定されている場合は、目的地の名称にタッチしてください。
- 目的地の電話番号が未登録の場合は、電話番号未登録のメッセージが表示されます。

2. その他の情報の利用

本機の持ついろいろな機能の情報をすることができます。

シリアルナンバーを確認する

本機のシリアルナンバーを確認することができます。

- 1 **MENU** を押し、**【設定・編集】** — **【共通設定】** — **【セキュリティ設定】** にタッチする
(→ P.138)



シリアルナンバーが表示されます。



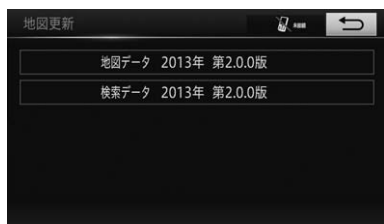
データバージョンを確認する

本機に収録された地図データおよび検索データのバージョンを確認することができます。

- 1 **MENU** を押し、**【設定・編集】** — **【地図更新】** にタッチする
(→ P.52)



データバージョンが表示されます。



周辺監視

1. バックガイドモニターを使う

1. バックガイドモニターについて 204
 バックガイドモニターについての注意点 204
 カメラについての注意 205
2. ガイド方法の選びかた 206
 並列駐車（車庫入れ）をするとき 206
 縦列駐車をするとき 206
3. バックガイドモニター画面への
 切り替え 207
 後方の映像を映す 207
 画面に映る範囲について 207
4. 並列駐車する
 （進路表示モード） 209
 画面の見かた 209
 並列駐車を開始する 210
5. 並列駐車する
 （駐車ガイド線表示モード） 212
 画面の見かた 212
 並列駐車を開始する 213
6. 縦列駐車する
 （縦列ガイドモード） 215
 車の動きと画面・音声案内の流れ 215
 縦列駐車を開始する 217
7. 縦列駐車する
 （駐車ガイド線表示モード） 226
 画面の見かた 226
 縦列駐車を開始する 227
8. バックガイドモニターの注意点 230
 画面と実際の路面との誤差 230
 立体物が近くにあるときの注意点 231

9. バックガイドモニターの設定 232
 縦列ガイドの音量の設定 232
 はじめのコツの表示 232
 駐車ガイド線の表示 233
 システム初期化中表示が出たときは 233
 バッテリーの脱着、または本機を
 載せ換えたときは 234

2. バックモニターを使う

1. バックモニターについて 235
 バックモニターについての注意点 235
 カメラについての注意 235
2. バックモニターの映像 237
 後方の映像を映す 237
 ガイド線の表示 237
 画面の見かたについて 238
3. バックモニターの注意点 240
 画面と実際の路面との誤差 240

3. 知っておいていただきたいこと

1. 故障とお考えになる前に 241
 バックガイドモニター 241

1. バックガイドモニターについて

本機に販売店装着オプションのバックガイドモニターを装着すると、後退（特に駐車時）の運転操作をアシストします。車の後方の映像に表示されるガイド線、音声案内にしたがって運転操作することで、駐車の手苦手な方でもかんたんに駐車することができます。

（ご使用の車に合わせたガイド線の表示設定は、販売店にて行います。）

バックガイドモニターについての注意点

警告

- 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、角度センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 本機能は、各車種での設定が必要です。したがってお車をお買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け換えるときは必ず販売店でバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください（他の車では本機能をご使用にならない場合があります）。
- バックガイドモニターを過信しないでください。一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。特に周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
- 画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶついたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - 凍結していたり、すべりやすい路面、または雪道
 - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
 - バックドアが完全に閉まっていないとき
 - 坂道など平坦でない道
- バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。また、駐車するときは、必ず駐車スペースに駐車できるか確認してから操作を行ってください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。



インフォメーション

- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

カメラについての注意

カメラは、車両の後方に取り付けられています（車種によって車両後方の取り付け位置は異なります）。

注意

- バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことに注意してください。
 - カメラ部を強くたたいたり、物にぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取付角度がずれるおそれがあります。
 - カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。
 - カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすことがあります。
 - カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコーティング剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
 - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
 - カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
 - 高圧洗車機を使用する場合、カメラまたはカメラの周辺に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。



インフォメーション

- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

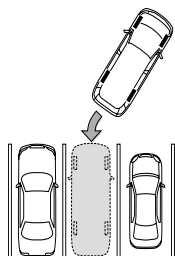
2. ガイド方法の選びかた

バックガイドモニターには以下の3つのモードがあります。

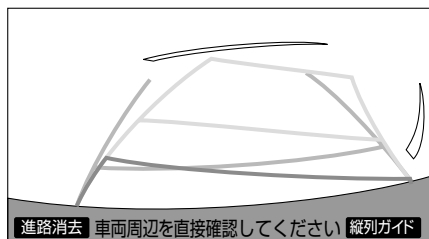
- ・進路表示モード ・駐車ガイド線表示モード ・縦列ガイドモード

並列駐車（車庫入れ）をするとき

進路表示モード、または駐車ガイド線表示モードを使用します。

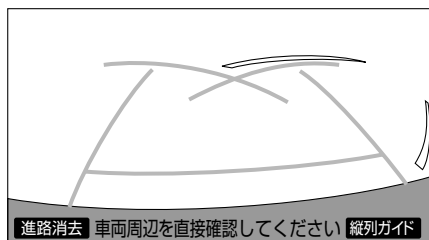


進路表示モード（→ P.209）：



ハンドルの操作に連動した予想進路線などが表示されるモードです。

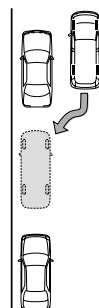
駐車ガイド線表示モード（→ P.212）：



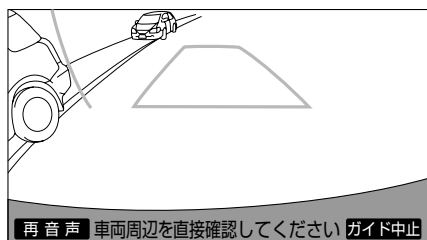
ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。
車両感覚になれた方（進路表示モードを必要とせずに駐車できる方）はご使用ください。

縦列駐車をするとき

縦列ガイドモード、または駐車ガイド線表示モードを使用します。

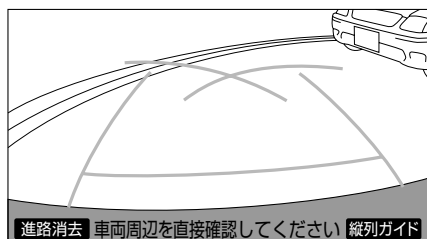


縦列ガイドモード（→ P.215）：



画面表示と案内音声により縦列駐車を補助するモードです。

駐車ガイド線表示モード（→ P.226）：



ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。
縦列ガイドモードを必要とせずに駐車できる方や縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

3. バックガイドモニター画面への切り替え

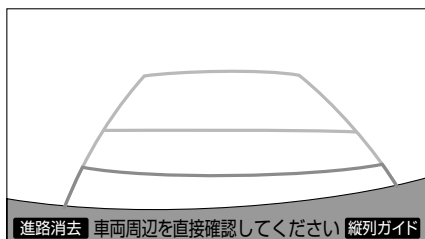
後方の映像を映す

1 エンジンスイッチが ON のとき、シフトレバーを R (リバース) にする

バックガイドモニターの映像が表示されます。

進路表示モード (→ P.209) (または駐車ガイド線表示モード (→ P.212, 226)) が表示されます。

シフトレバーを他のギアに切り替えると、画面表示は元の映像に切り替わります。



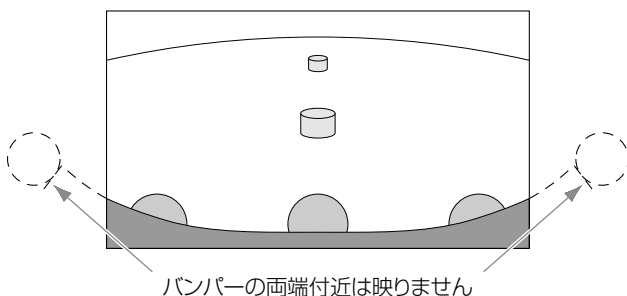
インフォメーション

- バックガイドモニター映像を表示中に、**現在地**、**AUDIO**、**MENU**を押すと、バックガイドモニター映像は解除されます。

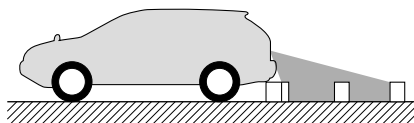
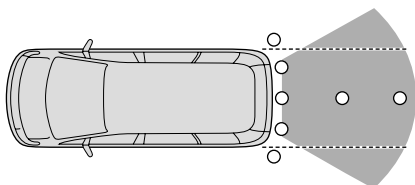
5

画面に映る範囲について

バンパー後端から車の後方 (下図の範囲) が映ります。



<映る範囲>



周辺監視

1. バックガイドモニターを使う

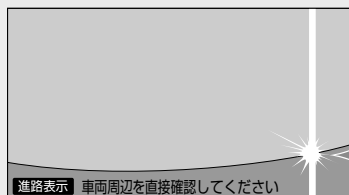
3. バックガイドモニター画面への切り替え



インフォメーション

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限界があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感を実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - 暗いところ。(夜間など)
 - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。(雨天時など)
 - カメラ付近に異物(泥など)がついたとき。
 - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
 - 高輝度の点(車体に反射した太陽など)がカメラに映ると、CCD カメラ特有のスミヤ現象*が発生することがあります。

<画面の状況>

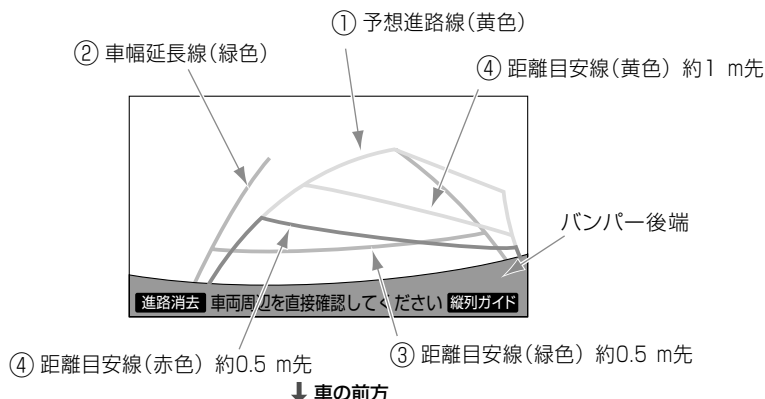


*スミヤ現象： 高輝度の点（車体に反射した太陽など）がカメラに映るとその点が上下(縦方向)に尾を引く現象。

- 画面のコントラスト、明るさ、色合い、色の濃さ、黒の濃さ、色温度を調整することができます。
→ 「画質を調整する」(P.26)

4. 並列駐車する（進路表示モード）

画面の見かた



① 予想進路線 (黄色)	車が後退していく進路の目安を示します。 ・ ハンドル操作と連動します。
② 車幅延長線 (緑色)	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ・ 実際の車幅より広く表示しています。 ・ ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっているときは、予想進路線と重なります。
③ 距離目安線 (緑色) 約 0.5 m 先	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ・ 約 0.5 m 先を示します。
④ 距離目安線 (赤色) ／黄色)	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ・ ハンドル操作と連動します。予想進路線とともに動きます。 ・ それぞれの中心位置で、約 0.5 m 先 (赤色)・約 1 m 先 (黄色) を示します。 ・ ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっていないときは誤差が生じます。 ・ 上記の画面では、距離目安線が示す実際の距離（赤色：約 0.5 m 先、黄色：約 1 m 先）より、右側は近くの位置に、左側は遠くの位置に表示されます。

警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路がずれているときは、できるだけ曲がり角・カーブなどがなく、渋滞の少ない道路を前進で約 5 分以上走行してください。それでも直らないときは、販売店で点検を受けてください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。



インフォメーション

- ・【進路消去】にタッチすると、予想進路線・車幅延長線が表示されなくなります。また、このとき距離目安線が固定（ハンドル操作と連動しなくなる）されます。【進路表示】にタッチすると元に戻ります。

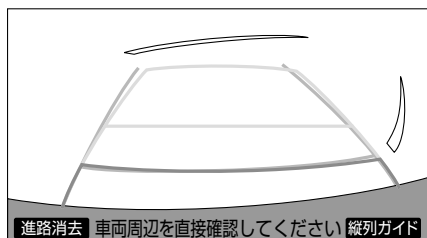
並列駐車を開始する

下記の手順と逆方向の駐車スペースに駐車する場合は、ハンドル操作が全て左右逆になります。

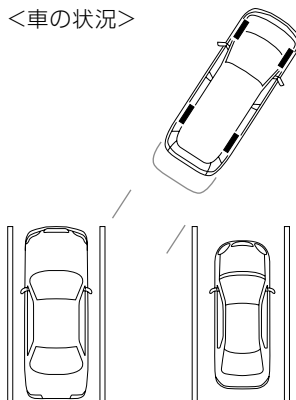
1 シフトレバーをR（リバース）にする

バックガイドモニターの映像が表示されます。

<画面>



<車の状況>

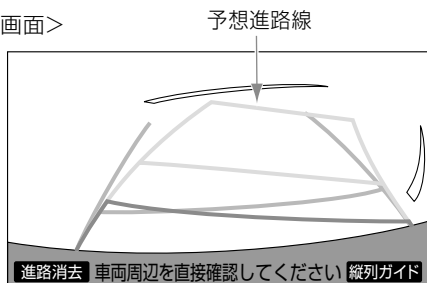


インフォメーション

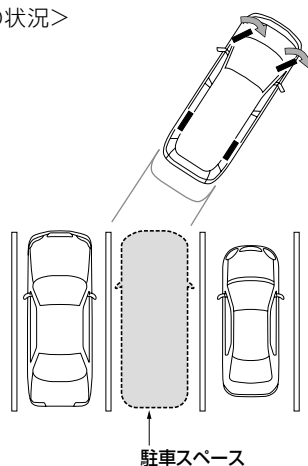
・ 進路表示モードになっていない場合は、進路表示モードにしてください。→「駐車ガイド線の表示」(P.233)

2 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する

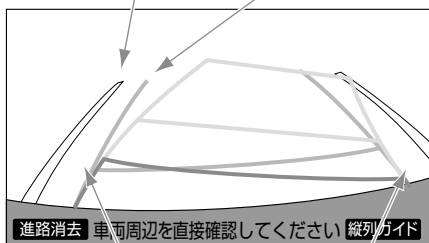
<画面>



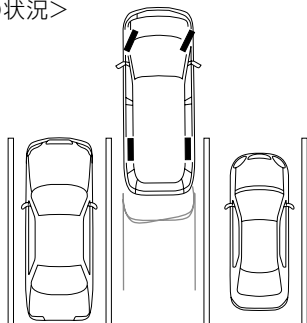
<車の状況>



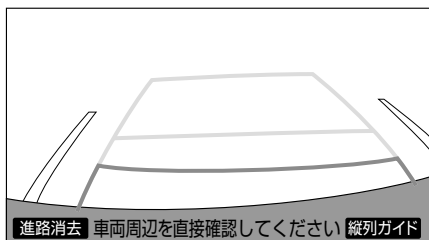
＜画面＞ 駐車場の区画線 車幅延長線



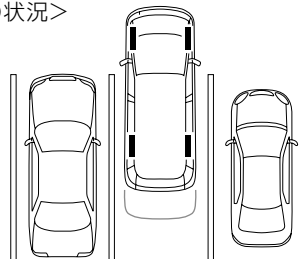
＜車の状況＞



<画面>



＜車の状況＞

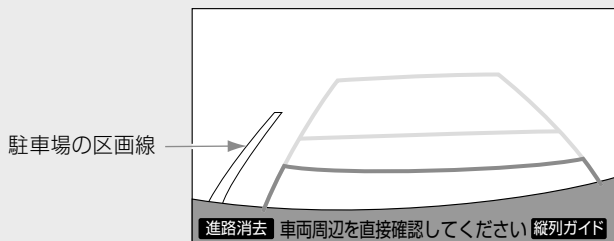


周边監視



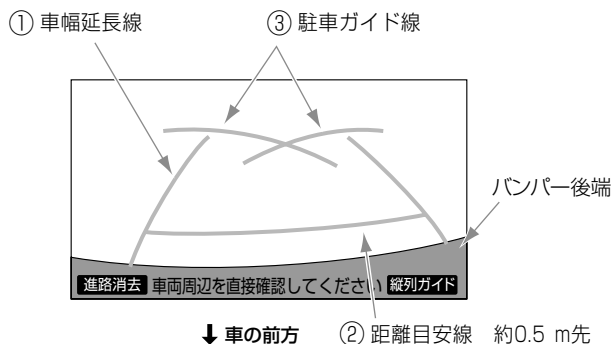
インフォメーション

- ・ 駐車するときは、画面の映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず直接確認してください。
- 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても、実際には平行でないことがあります。
- 駐車場の区間線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行でないことがあります。



5. 並列駐車する（駐車ガイド線表示モード）

画面の見かた



① 車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ・ 実際の車幅より広く表示しています。
② 距離目安線 約 0.5 m 先	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ・ 約 0.5 m 先を示します。
③ 駐車ガイド線	ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。 ・ 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。



インフォメーション

- **【進路消去】**にタッチすると、車幅延長線・駐車ガイド線が表示されなくなります。**【進路表示】**にタッチすると元に戻ります。

並列駐車を開始する

下記の手順と逆方向の駐車スペースに駐車する場合は、ハンドル操作が全て左右逆になります。

1 シフトレバーを R（リバース）にする

バックガイドモニターの映像が表示されます。

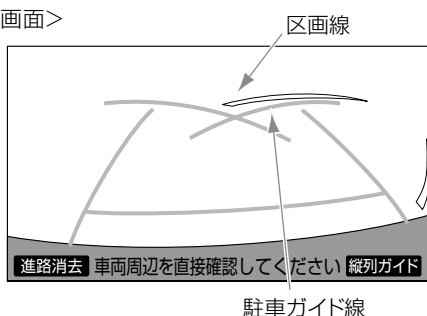


インフォメーション

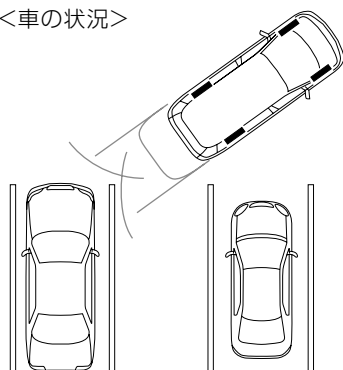
- ・ 駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、駐車ガイド線表示モードにしてください。→「**駐車ガイド線の表示**」(P.233)

2 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退して止まる

＜画面＞



＜車の状況＞

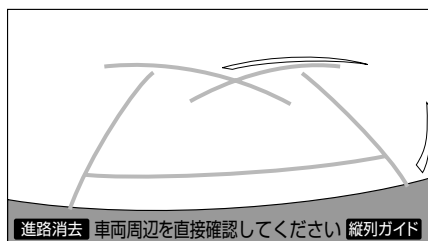


インフォメーション

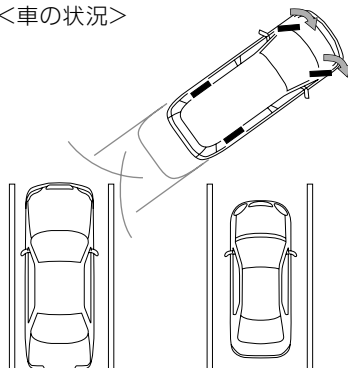
- ・ 画面のように駐車ガイド線と区画線に合わせて後退すると、駐車スペースの幅が約 2.2 m の場合にほぼ中央に進入します。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

3 ハンドルを右いっぱい回して、ゆっくり後退する

<画面>



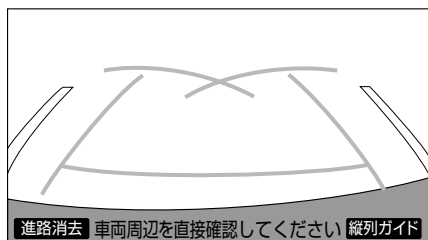
<車の状況>



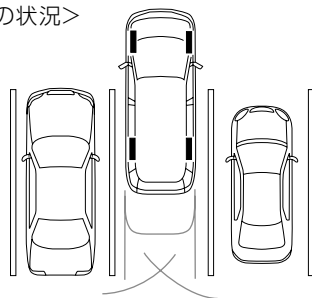
4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする

画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終えます。

<画面>



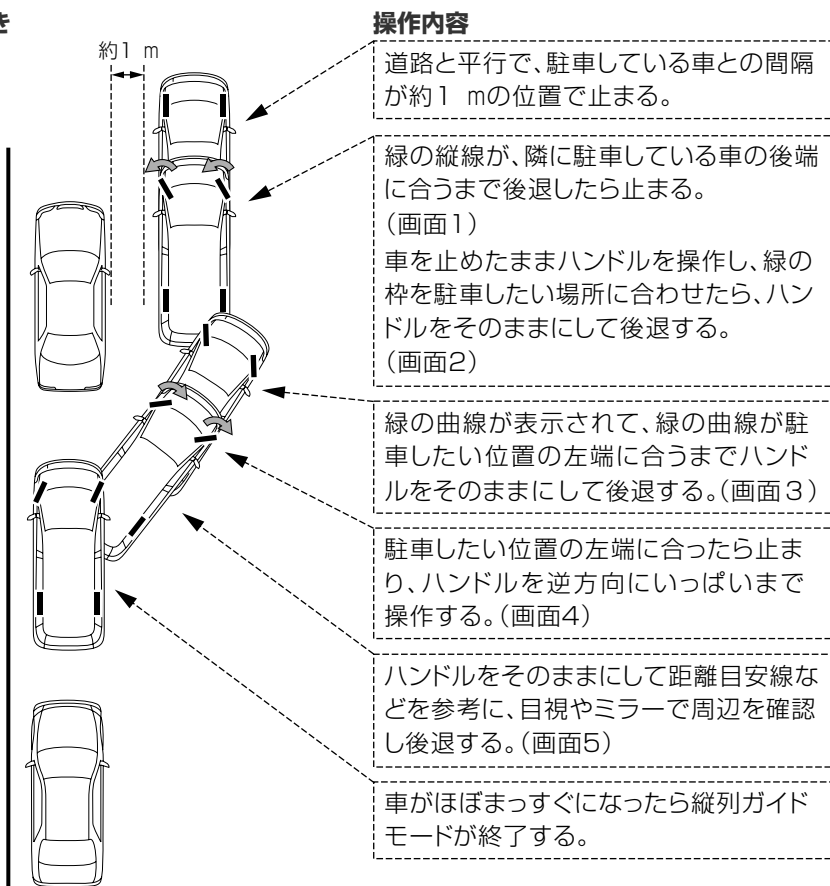
<車の状況>



6. 縦列駐車する（縦列ガイドモード）

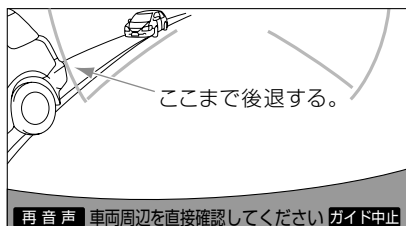
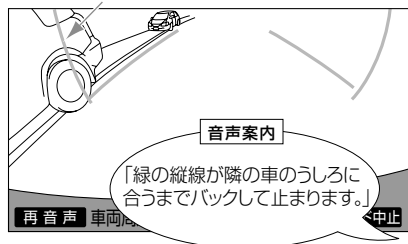
車の動きと画面・音声案内の流れ

車の動き



画面・音声の流れ

<画面1> 緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退する。

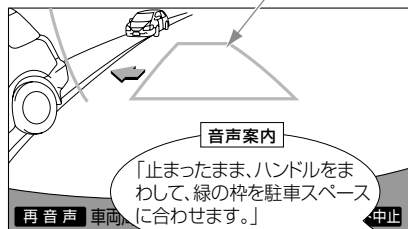


1. バックガイドモニターを使う

6. 縦列駐車する（縦列ガイドモード）

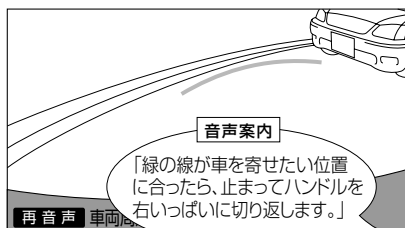
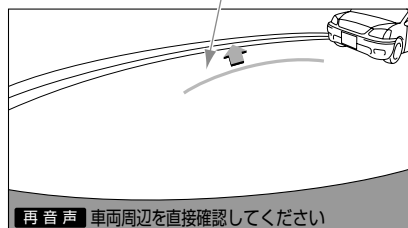
<画面 2>

緑の枠を駐車したい場所に合わせる。



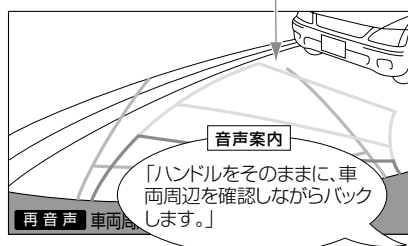
<画面 3>

緑の曲線が駐車したい場所の左端に合うまで後退する。



<画面 5>

距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確認した後退する。



警告

- カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路では、使用しないでください。
- ハンドル操作は必ず車を止めた状態で行ってください。



インフォメーション

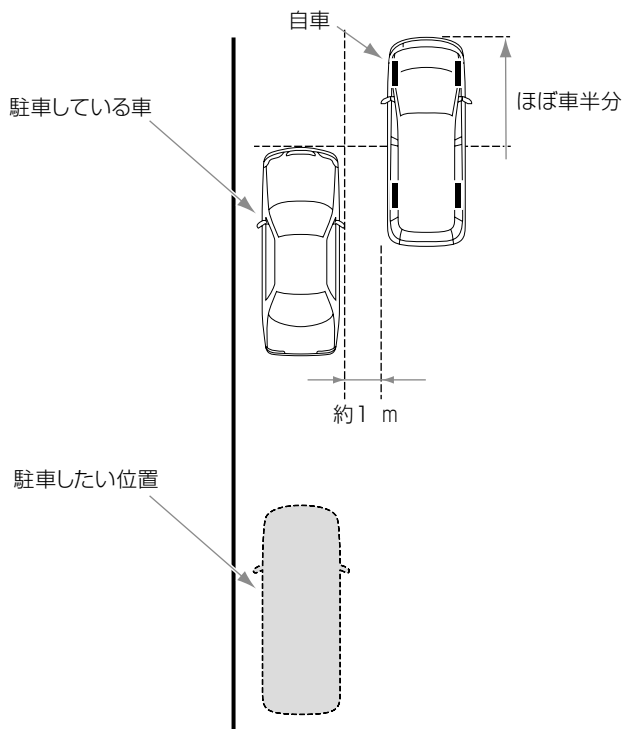
- ・ ガイドを中止したいときは、**【ガイド中止】** にタッチします。
- ・ 音声案内を再度聞きたいときは、**【再音声】** にタッチします。
- ・ 音声案内の音量は調整することができます。→ **「縦列ガイドの音量の設定」(P.232)**

縦列駐車を開始する

ここでは、左側の駐車スペースに駐車する場合の手順を説明します。右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作などが全て左右逆になります。

1 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約 1 m の位置に止まり、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする

前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。

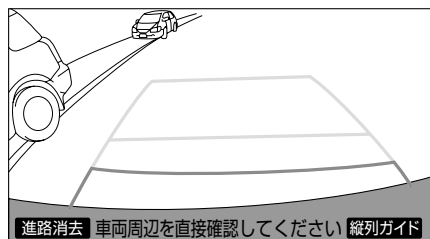


2 シフトレバーを R（リバース）にする

バックガイドモニターの映像が進路表示モードまたは駐車ガイド線表示モードで表示されます。

3 車の位置を確認し、縦列ガイドにタッチする

画面で駐車している車のリアタイヤよりうしろの部分が映っていることを確認してください。映っていないときは車を正しい位置まで前進させ操作をやり直します。



4 表示された画面と同じ位置に車が止まっていることを確認したら、**【次へ】** にタッチする



インフォメーション

- ・ **【次回からこの表示を省略】** にタッチすると、この画面は表示されなくなります。再度、表示させたいときは、→ **「はじめのコツの表示」** (P.232) を参照してください。
- ・ **【ガイド中止】** にタッチすると、前の画面に戻ります。

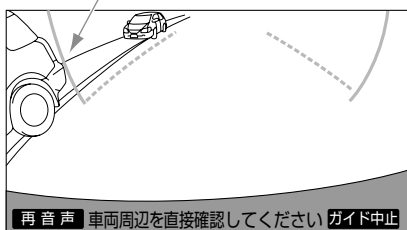
5 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしたまま緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し止まる

<画面> 緑の縦線

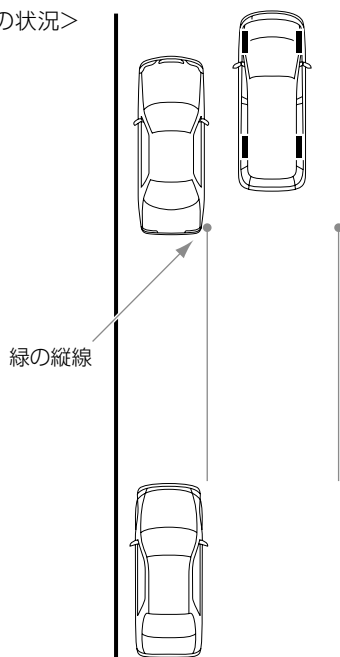


車を後退させる

ここまで後退し止まる。



<車の状況>



5

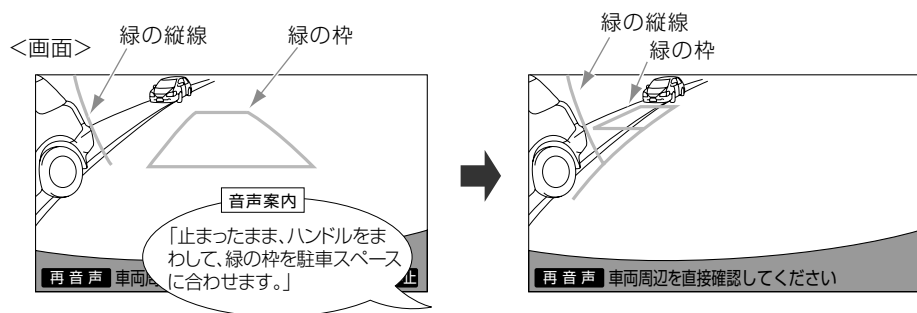
周辺監視



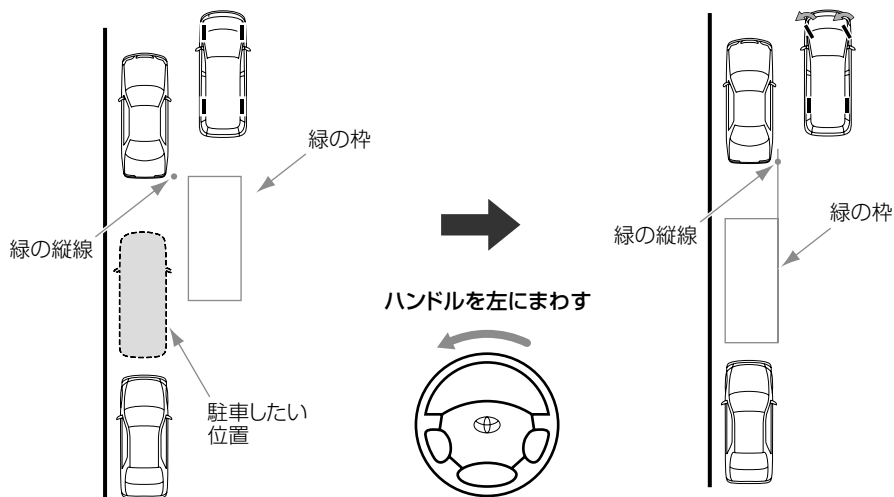
インフォメーション

- ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。その場合は、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やり直してください。
- シフトレバーを R（リバース）以外の位置にしても、10 秒以内に R（リバース）に戻すと、この画面に戻ります。

6 音声で案内され緑の枠が表示されたら、止まったままハンドルを左に回して、緑の枠を駐車したい位置に合わせる



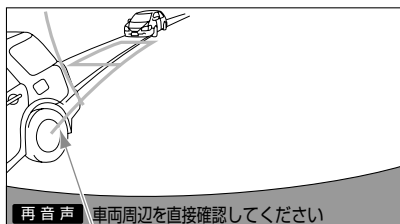
<車の状況>



警告

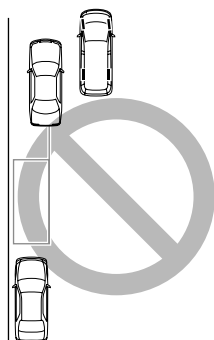
- 緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用することはできません。
- 緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に伸びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。

<画面>



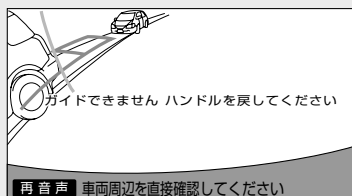
延長線がタイヤにかかっている

<車の状況>

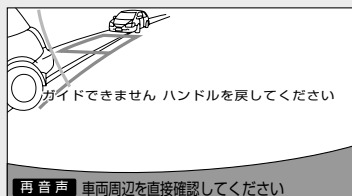


インフォメーション

- ・ 画面の中にメッセージが表示されることがあります。
 - 枠が赤くなって、下記のようなメッセージが表示されたら、ガイドすることができませんので、ハンドルを戻してください。

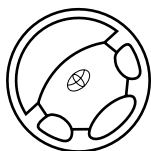


- 枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、下記のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩から離れすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔（約 1 m）を確認してください。



7 音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する

ハンドルはそのまま

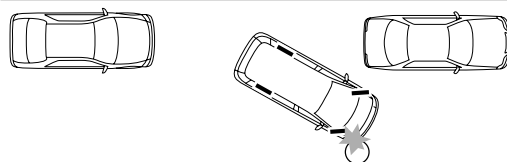


音声案内

「枠を合わせたら、ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

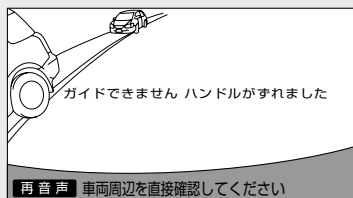
⚠ 注意

- 車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



インフォメーション

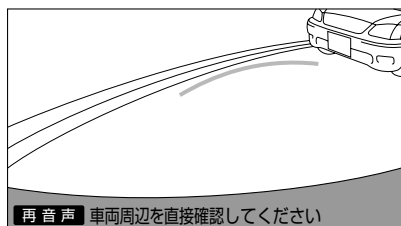
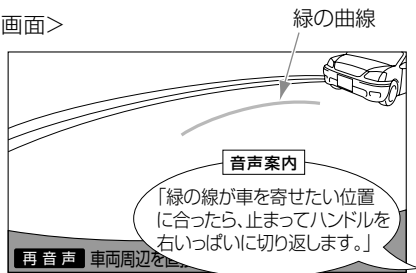
- ・後退している途中でハンドルを動かした場合、ガイドを継続できなくなります。その場合は、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やり直してください。



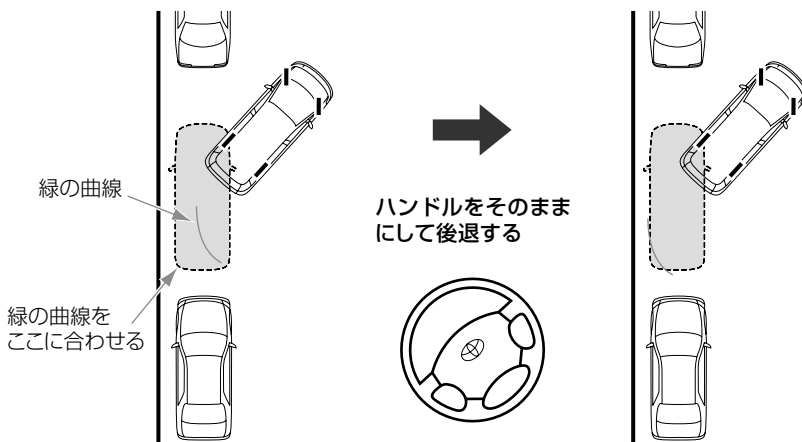
8 音声で案内され緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する

緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まります。

<画面>



<車の状況>



5

周辺監視

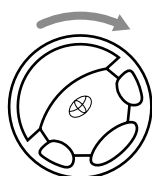


インフォメーション

- ・ 後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

9 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいまで回す

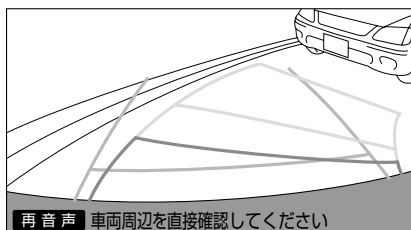
必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。



ハンドルを右いっぱいまでまわす

10 画面が切り替わり音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する

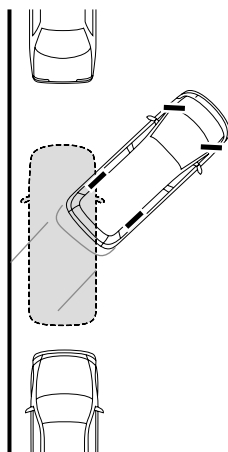
<画面>



音声案内

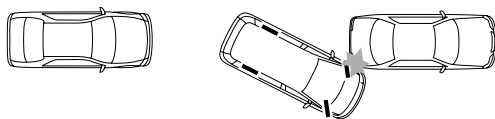
「ハンドルをそのままに、
車両周辺を確認しながら
バックします。」

<車の状況>



注意

- 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。

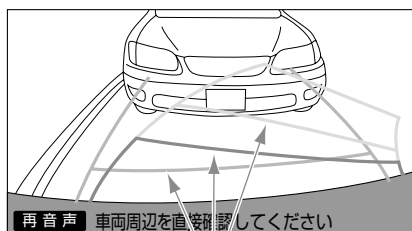


11 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）に戻す

12 距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認し、ゆっくり後退して止まる

車がほぼまっすぐになると、音声案内されて縦列ガイドモードが終了します。

<画面>

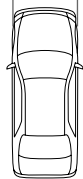
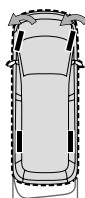
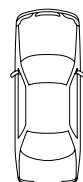


距離目安線

音声案内

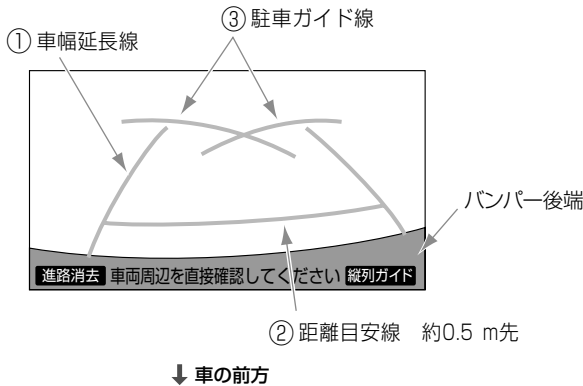
「縦列ガイドを終了します。」

<車の状況>



7. 縦列駐車する（駐車ガイド線表示モード）

画面の見かた



① 車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ・ 実際の車幅より広く表示しています。
② 距離目安線 約 0.5 m 先	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ・ 約 0.5 m 先を示します。
③ 駐車ガイド線	ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。 ・ 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。



インフォメーション

- **【進路消去】**にタッチすると、車幅延長線・駐車ガイド線が表示されなくなります。**【進路表示】**にタッチすると元に戻ります。

縦列駐車を開始する

下記の手順と逆方向の駐車スペースに駐車する場合は、ハンドル操作が全て左右逆になります。

1 シフトレバーを R（リバース）にする

バックガイドモニターの映像が表示されます。

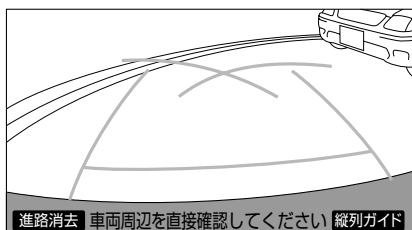


インフォメーション

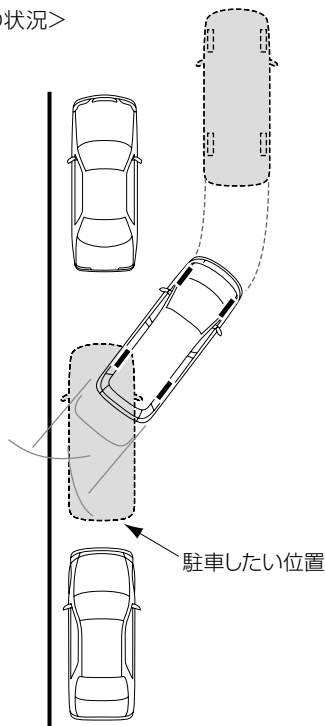
- ・ 駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、駐車ガイド線表示モードにしてください。→「**駐車ガイド線の表示**」(P.233)

2 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まる

<画面>

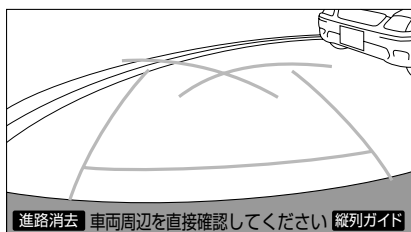


<車の状況>

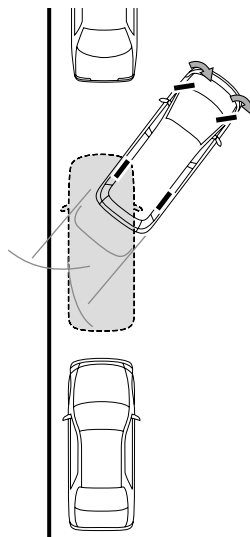


3 ハンドルを右いっぱい回して、ゆっくり後退する

<画面>

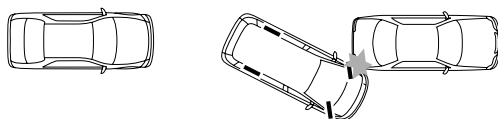


<車の状況>



⚠ 注意

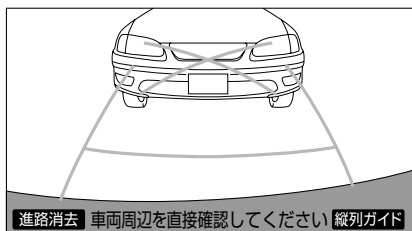
- 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



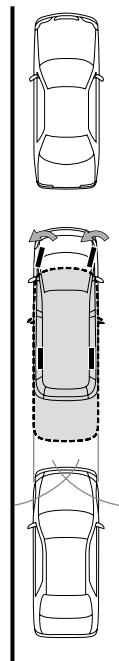
4 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする

画面を参考に必ず目視やミラーで車の前後を確認し、最適な位置まで後退して駐車を終えます。

<画面>



<車の状況>

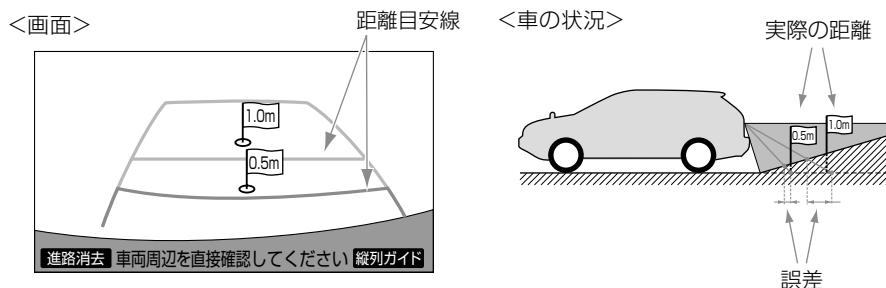


8. バックガイドモニターの注意点

画面と実際の路面との誤差

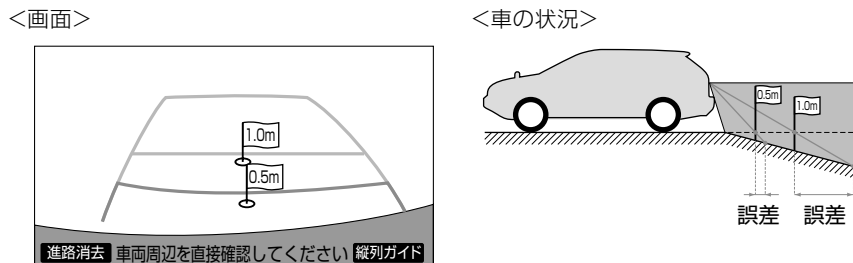
距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。
(イラストは標準的カメラ取り付け位置の場合を示します)

急な上り坂が後方にあるとき：



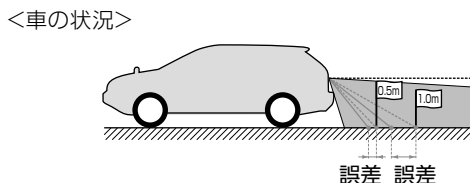
上り坂が後方にあるときは、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

急な下り坂が後方にあるとき：



下り坂が後方にあるときは、実際の距離より後ろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

車が傾いているとき：



乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

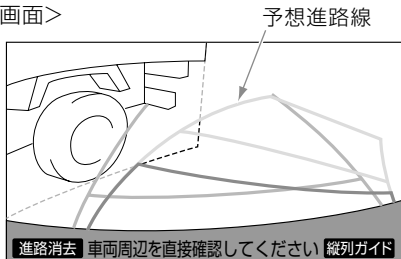
立体物が近くにあるときの注意点

画面のガイドは平面物（道路など）を対象にしています。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことに注意してぶつからないようにしてください。

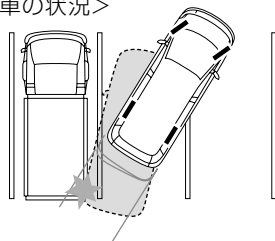
予想進路線：

予想進路線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することはできません。

<画面>



<車の状況>

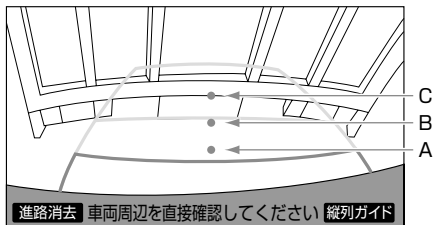


画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えますが、実際には荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。このように予想進路線が障害物の近くを通るときは、後方や周囲の安全を直接確認してください。

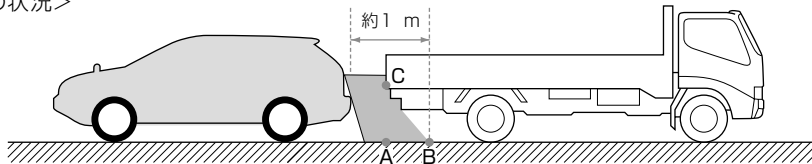
距離目安線：

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

<画面>



<車の状況>



画面では、距離目安線により約 1 m 先（B の位置）にトラックが駐車しているように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。

画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A、C より遠い距離にあります。

9. バックガイドモニターの設定

縦列ガイドの音量の設定

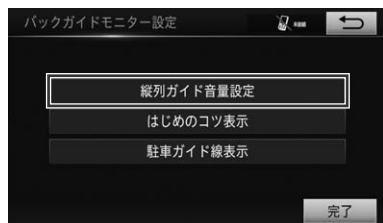
音声案内の音量を調整することができます。

1 **MENU**を押し、**【設定・編集】**－**運転支援**にタッチする
(→ P.51)

2 **【バックガイドモニター設定】**
にタッチする



3 **【縦列ガイド音量設定】**にタッチする



4 設定したい音量にタッチする



5 **【完了】**にタッチする

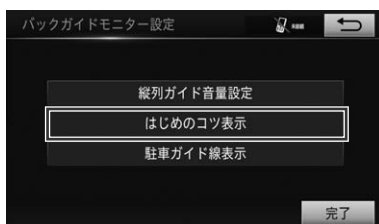
はじめのコツの表示

縦列ガイドモードで表示される「はじめのコツ」を表示するかしないかを設定できます。

1 **MENU**を押し、**【設定・編集】**－**運転支援**にタッチする
(→ P.51)

2 **【バックガイドモニター設定】**
にタッチする (→ P.232)

3 **【はじめのコツ表示】**にタッチする



4 **【する】**または**【しない】**にタッチする



5 **【完了】**にタッチする

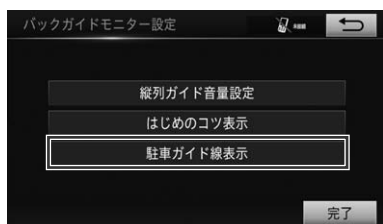
駐車ガイド線の表示

駐車ガイド線表示モードにするか進路表示モードにするか、設定できます。

1 **[MENU]**を押し、**[設定・編集] - 運転支援**にタッチする
(→ P.51)

2 **[バックガイドモニター設定]**にタッチする (→ P.232)

3 **[駐車ガイド線表示]**にタッチする



4 **[する]** または **[しない]** にタッチする

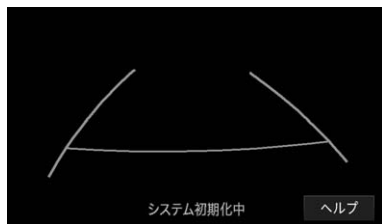


[する]	駐車ガイド線表示モードになります。
[しない]	進路表示モードになります。

5 **[完了]** にタッチする

システム初期化中表示が出たときは

バッテリーの脱着・バッテリー能力が低下した場合などには、システム初期化中画面が表示されます。



この場合は、以下のどちらかを選んでください。

- 車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいに回した後、右いっぱいまで回す (左右どちらが先でも可)。
- できるだけ曲がり角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約5分間以上走行する。

通常の画面に戻れば、設定終了です。
システム初期化中画面が表示されたままのときは、販売店で点検を受けてください。



インフォメーション

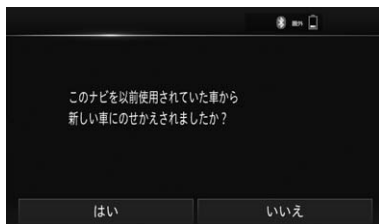
- システム初期化中画面で、ヘルプにタッチすると、操作方法を表示させることができます。



- 画面に表示されている操作を行い、通常の画面に戻れば設定終了です。
- システム初期化中、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、販売店で点検を受けてください。
- 【了解】**にタッチすると、元の画面に戻ります。

バッテリーの脱着、または本機を載せ換えたときは

バッテリーの脱着、または本機を別の車に載せ換えた場合などには、確認画面が表示されます。



この場合には、以下の操作または販売店での設定が必要となります。

【はい】にタッチすると、ガイド線の設定が削除されます。ご使用の車に合わせたガイド線の表示設定を、販売店に依頼してください。

【いいえ】にタッチすると、ガイド線を表示して、車の後方を映すことができます。(本機を別の車に載せ換えたときは、載せ換える前に設定した車種のガイド線が表示されます)

【いいえ】をタッチした直後にシフトレバーをRにした場合、システム初期化中の画面が表示されます。→「システム初期化中表示が出たときは」(P.233)に記載されている操作をして、通常の画面に戻れば設定終了です。

システム初期化中画面が表示されたままのときは、販売店で点検を受けてください。

1. バックモニターについて

本機に販売店装着オプションのバックモニターを装着すると、バックギアにシフトしたとき、本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド線（車両の車幅や距離感覚を補う補助線）を映すことができます。（ご使用の車に合わせたガイド線の表示設定は販売店にて行います。）

バックモニターについての 注意点

警告

- バックモニターを過信しないでください。
- 本機（バックモニター）は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 自車の状況（乗車人数・積載量）により、画面のガイド線の示す位置は変化します。必ず、後方および周辺の安全を直接確認しながら運転してください。
- モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - 凍結していたり、すべりやすい路面、または雪道
 - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
 - バックドアが完全に閉まっていないとき
 - 坂道など平坦でない道
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。



インフォメーション

- ・ カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

カメラについての注意

カメラは、車両の後方に取り付けられています（車種によって車両後方の取り付け位置は異なります）。

注意

- バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことに注意してください。
 - カメラ部を強くたたいたり、物にぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
 - カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。
 - カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすことがあります。
 - カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコーティング剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
 - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
 - カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
 - 高圧洗車機を使用する場合、カメラまたはカメラの周辺に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。

2. バックモニターを使う

1. バックモニターについて



インフォメーション

- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。
- 太陽光を直接長時間撮影しないでください。焼付け現象が残ることがあります。
- モニター画像に映る範囲は車種によって異なります。
- バックギアにシフトした瞬間は、カメラによってはいったん白画面になる場合がありますが、その後次第に安定します。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCD の特性によるものです。
- 50 Hz 電源地域の蛍光灯では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- バックモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

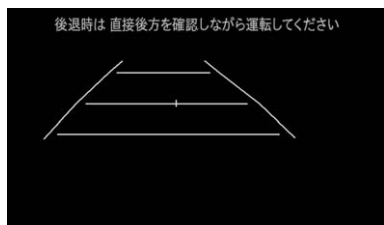
2. バックモニターの映像

後方の映像を映す

- 1 エンジンスイッチが ON のとき、シフトレバーを R（リバース）にする



バックモニターの映像が表示されます。



シフトレバーを他のギアに切り替えると、画面表示は元の映像に切り替わります。

ガイド線の表示

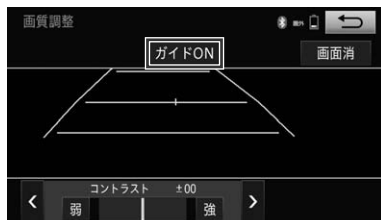
ガイド線の表示／非表示を切り替えることができます。

- 1 バックモニターの表示画面で、**MENU**を長く押す

- 2 **【画質・消】** にタッチする



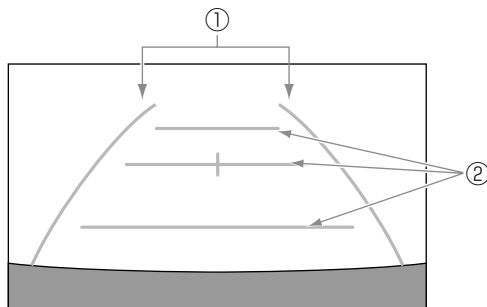
- 3 **【ガイド ON】** または **【ガイド OFF】** にタッチする



画面の見かたについて

表示線の見かた：

シフトレバーをR（リバース）にすると、モニター画面がバックモニターの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うバックガイド線が表示されます。



① 車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 実際の車幅より広く表示しています。
② 距離目安線	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ハンドル操作と連動しません。 それぞれの中心位置で、約 0.5 m 先（1 本目）、約 1 m 先（2 本目）、約 2 m 先（3 本目）を示します。

警告

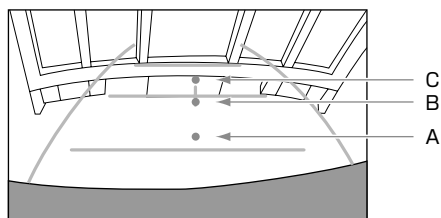
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。



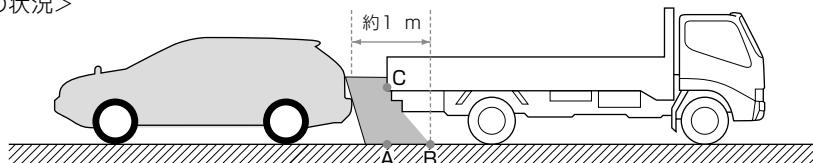
インフォメーション

- ・ 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- ・ カメラに映る範囲は限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- ・ 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- ・ 画面のコントラスト、明るさ、色合い、色の濃さ、黒の濃さ、色温度を調整することができます。
→ 「画質を調整する」(P.26)
- ・ 車両によりバックガイド線が左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

<画面>



<車の状況>



距離目安線：

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

画面では、距離目安線により約 1 m 先 (B の位置) にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。

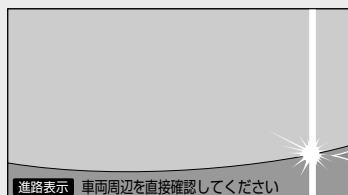
画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A、C より遠い距離にあります。



インフォメーション

- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - 暗いところ。(夜間など)
 - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。(雨天時など)
 - カメラ付近に異物(泥など)がついたとき。
 - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
 - 高輝度の点(車体に反射した太陽など)がカメラに映ると、CCD カメラ特有のスミヤ現象*が発生することがあります。

<画面の状況>



*スミヤ現象：高輝度の点(車体に反射した太陽など)がカメラに映るとその点が上下(縦方向)に尾を引く現象。

高輝度の点

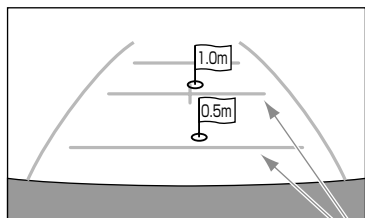
3. バックモニターの注意点

画面と実際の路面との誤差

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。
(イラストは標準的カメラ取り付け位置の場合を示します)

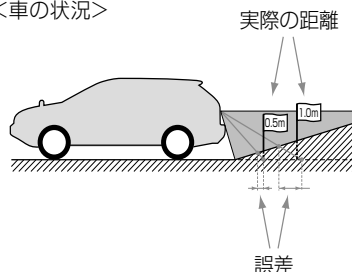
急な上り坂が後方にあるとき：

<画面>



距離目安線

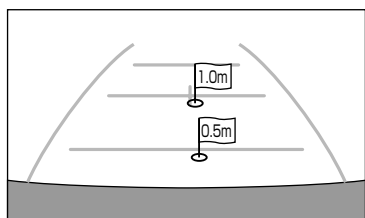
<車の状況>



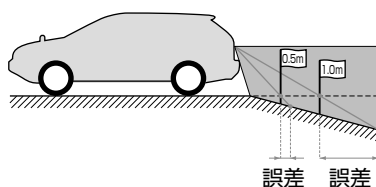
上り坂が後方にあるときは、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くに見えるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

急な下り坂が後方にあるとき：

<画面>



<車の状況>



下り坂が後方にあるときは、実際の距離より後ろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くに見えるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

1. 故障とお考えになる前に

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

バックガイドモニター

症状	考えられること	処置
バックガイドモニターの 予想進路線が表示されな い。	駐車ガイド線表示の設定が「する」 になっている。	駐車ガイド線表示の設定を「しない」 にしてください。
	予想進路線が非表示になっている。	【進路表示】 をタッチしてください。 (→ P.209, 212, 226)
システム初期化中画面が 表示される。	バッテリーの脱着が行われた。	→ 「システム初期化中表示が出た ときは」 (P.233) に記載されて いる動作を行ってください。

ETC システム

1. ETC の操作

- 1. ETC 情報を利用する 244
 - ETC 利用履歴を表示する245
 - ETC 登録情報を表示する245
 - ETC 設定を行う245
- 2. 故障とお考えになる前に 246

1. ETC 情報を利用する

本機に販売店装着オプションのナビ連動 ETC システムを接続すると、ETC カードに記憶された履歴情報や ETC 車載器の登録情報を見たり、ETC 利用時の案内の設定ができます。

 インフォメーション

- ETC (Electronic Toll Collection) サービスは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
- 本機に販売店装着オプションのナビ連動 ETC システムが接続され、さらに ETC カードが挿入済みの場合、ステータスバーに ETC マークが表示されます。

1 **MENU** を押し、**【情報】**
— **【ETC】** にタッチする
(→ P.51)

▼
ETC メニューが表示されます。
ETC ステータス通知表示



イラスト

【履歴情報表示】	ETC カードの利用履歴を表示します。
【登録情報表示】	ETC カードの登録情報を表示します。

ETC 車載器の状況に応じて、ETC ステータス通知表示とイラストが画面に表示されます。

ETC 車載器の状況	ETC ステータス通知表示
ETC カード挿入済みの場合	「ETC カード認証完了」
ETC セットアップ完了の場合	「セットアップ完了」
ETC カード未挿入の場合	「ETC カード未挿入」
ETC 認証中の場合	「認証中」
ETC 未セットアップの場合	「未セットアップ」
ETC カード異常の場合	「ETC カード異常」
システム異常の場合	「システム異常」

 インフォメーション

- 【履歴情報表示】** は、ETC 車載器に ETC カードが挿入されていないと選択できません。

ETC 利用履歴を表示する

1 【履歴情報表示】にタッチする

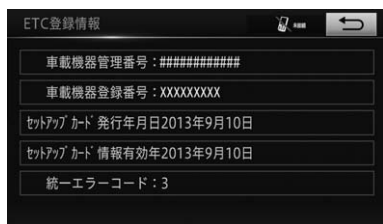


インフォメーション

- 利用履歴は新しいものから最大 100 件まで表示されます。
- 乗降したインターチェンジ名が不明の場合は、インターチェンジ番号が表示されます。
- ETC ゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができないことがあります。

ETC 登録情報を表示する

1 【登録情報表示】にタッチする



インフォメーション

- ETC 登録情報が取得できない、または情報取得エラーなどの理由で情報が表示されない場合があります。

ETC 設定を行う

1 **MENU** を押し、**【設定・編集】** — **ETC** — **【通知設定】** にタッチする (→ P.51, 53)

2 設定したい項目にタッチし、**【する】** または **【しない】** にタッチする



【ETC 割込表示】

ETC を利用するときに、利用料金などの割り込み表示をするかしないかの設定を行います。

【ETC 音声案内】

ETC を利用するときに、利用料金などの音声案内をするかしないかの設定を行います。

【ACC オン時警告表示】

エンジンスイッチを LOCK から ACC にした時に、ETC カードの異常などを画面に表示するかしないかの設定を行います。

【ACC オン時警告音声案内】

エンジンスイッチを LOCK から ACC にした時に、ETC カードの異常などを音声で案内するかしないかの設定を行います。

【カード抜き忘れ警告】

エンジンスイッチを ACC から LOCK にした時に、ETC カードの抜き忘れをお知らせするかしないかの設定を行います。

2. 故障とお考えになる前に

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

症状	考えられること	処置
ETC の料金音声が案内されない。	【ETC 音声案内】 が 【しない】 に設定されている。 【音量設定】 が 【消音】 に設定されている。	【ETC 音声案内】 を 【する】 に設定してください。(→ P.245) お好みに合わせて、音量を調節してください。→「 音量設定をする 」(P.134)
ETC の履歴表示が表示できない。	ETC 車載器に ETC カードが挿入されていない。	利用履歴のある ETC カードを挿入してください。
「ETC カードが挿入されていません」 というメッセージが表示される。	ETC カードの挿入不良。料金所にて車両の停止が案内（表示）される場合があります。	ETC カードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。それでもメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
「ETC カードが読みません カードをお確かめ下さい」 というメッセージが表示される。	「ETC カード挿入時」 挿入された ETC カードのデータ が読み出せない。	再度挿入してください。それでもメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
「ETC カードに書き込みできません カードをお確かめ下さい」 というメッセージが表示される。	挿入されたカードが ETC カード であるか認識できない。	正しい ETC カードであることをご確認のうえ、再度挿入してください。それでもメッセージが表示される場合は ETC カード発行者（クレジットカード会社など）、またはお買い上げの販売店にご相談ください。
「ETC に異常が発生しました ETC はご利用できません」 というメッセージが表示される。	ETC 車載器が故障している。	お買い上げの販売店にご相談ください。
「ETC ゲートとの通信に失敗しました」 というメッセージが表示される。	ETC 車載器と料金所間における データ処理にエラーが発生した。	料金所の係員の指示に従ってください。後日、お買い上げの販売店にご相談ください。

ハンズフリー

1. ハンズフリーについて

1. ハンズフリー通話をする 248
 ハンズフリー通話をするには.....248
 ハンズフリー通話でエコー（残響音）が
 気になるときは.....248

4. 知っておいていただきたいこと

1. 故障とお考えになる前に 263

2. ハンズフリーの操作

1. 電話の受けかた 249
 2. 電話のかけかた 250
 電話番号を入力して電話をかける250
 電話帳から電話をかける251
 発信履歴から電話をかける.....251
 ワンタッチダイヤルから電話をかける
252
 交通ナビから電話をかける252
 地図に登録された電話番号にかけると254
 通話中メニューの操作254

3. ハンズフリーの設定を変更する

1. ハンズフリーの詳細設定を変更する
 255
 着信割り込み表示画面の設定.....255
 電話帳／履歴転送確認表示の設定255
 音の設定256
 2. 携帯電話情報を設定する 257
 電話帳データを転送する257
 電話帳データを削除する259
 ワンタッチダイヤルに登録する.....259
 ワンタッチダイヤルを削除する.....260
 発信履歴または着信履歴を削除する261
 電話帳／履歴自動転送を設定する262

1. ハンズフリー通話をする

本機に携帯電話を Bluetooth 接続すると、ハンズフリー通話を行うことができます。



警告

- 安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短かに終了するようにしてください。



インフォメーション

- ・通話相手の音声聞き取りやすいように、受話音量を調整してください。(→ P.256)
- ・次のような場合は、通信相手側にこちらの音声聞こえにくくなることがあります。
 - 悪路走行時
 - 高速走行時
 - 窓を開けているとき
 - エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
 - エアコンのファンの音が大きいとき
 - 携帯電話をマイクに近づけたとき
- ・使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- ・本機に携帯電話を Bluetooth 接続している場合、ステータスバーに Bluetooth マーク、電波強度マーク、およびバッテリー残量マークが表示されます。

ハンズフリー通話するには

Bluetooth に対応した携帯電話が必要です。また、事前に携帯電話を本機に登録しておく必要があります。詳しくは→「2. Bluetooth 設定をする」(P.129)をご覧ください。



インフォメーション

- ・携帯電話をお使いになるときは、必ず→「Bluetooth 機器使用上のご注意」(P.129)をよくお読みください。
- ・本機は、割込通話および三者通話サービスには対応していませんので、車を止めて携帯電話側で操作してください。なお、割込通話や三者通話サービスのご利用中に本機を操作すると、通話が切れることがあります。

ハンズフリー通話でエコー（残響音）が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通し

てマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声マイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合があります。

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- ・通話中に、受話音量を本体の **VOL** で小さくする
- ・お互いに一呼吸おいて話す

ただし、本機内部のエコーキャンセラーのしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。



インフォメーション

- ・通話中メニューで受話音量を調整することもできます。(→ P.254)
- ・携帯電話によっては、一部機能が制限される場合があります。詳しくは、販売店へお問い合わせください。

1. 電話の受けかた

電話がかかってくると、以下のような電話の着信を案内する着信割り込み表示画面が表示され、着信音が流れます。



 にタッチすると電話につながり、通話することができます。

インフォメーション

- メモリ地点に登録されている電話番号と一致すると、その地点の名称が表示されます。
- 電話帳 (→ P.257) に登録されている電話番号と一致すると、電話帳に登録された名称が表示されます (メモリ地点と電話帳の電話番号が同一の場合は、メモリ地点の名称が表示されます)。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできます。
- 携帯電話側で応答保留にしても、 にタッチすることで応答保留を解除できます。
- 電話の切りかたは、→ 「通話中メニューの操作」(P.254) をご覧ください。
- 着信割り込み表示画面は、全画面表示または簡易表示に切り替えることができます。(→ P.255)

2. 電話のかけかた

いろいろな方法で電話をかけることができます。

1 **MENU** を押し、**[電話]** にタッチする (→ P.50)



インフォメーション

- Bluetooth 機器が未登録の場合は、登録を促すメッセージが表示されます。**[はい]** にタッチして、登録操作を行ってください。(→ P.129)

タッチキー	内容	ページ
[履歴]	発信履歴または着信履歴が登録されている電話番号から電話をかけることができます。 発信履歴、着信履歴、および不在着信履歴は、それぞれ最大 10 件ずつ表示できます。	251

2 電話をかける方法にタッチする



インフォメーション

- 発信中、通話中は、画面に通話中メニュー (→ P.254) が表示されます。

電話番号を入力して電話をかける

1 電話番号を入力し、 にタッチする (→ P.250)



相手先に電話が発信されます。



インフォメーション

- 携帯電話でダイヤルすることもできます。(携帯電話によっては、ハンズフリーにならない場合があります。)

タッチキー	内容	ページ
[交通ナビ]	JAF や道路交通情報センターなどへ電話をかけることができます。また、メモリ地点や目的地に登録されている電話番号に電話をかけることができます。	252
[接続]	Bluetooth 機器の登録、選択、接続を行うことができます。	129
	電話番号を入力して電話をかけることができます。	—
[電話帳]	接続中の携帯電話から読み込んだ電話帳リストを呼び出して電話をかけることができます。	251
[ワンタッチダイヤル]	よくかける電話番号をワンタッチダイヤルとして登録しておく、かんたんな操作で電話をかけることができます。ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。	252 259

電話帳から電話をかける



インフォメーション

- 電話帳データは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り替える(→P.131)と、表示される電話帳の内容も切り替わります。

1 【電話帳】にタッチする (→ P.250)

2 相手先を選んでタッチする



3 選んだ相手先に含まれる電話番号を選んでタッチする



4 にタッチする



相手先に電話が発信されます。

発着信履歴から電話をかける

1 【履歴】にタッチする (→ P.250)

2 表示したい履歴に切り替え、 相手先を選んでタッチする



選んだ履歴がリスト表示されます。

3 にタッチする



相手先に電話が発信されます。

ワンタッチダイヤルから電話をかける

1 【ワンタッチダイヤル】にタッチする (→ P.250)

2 相手先を選んでタッチする



インフォメーション

- **ワンタッチ 1、ワンタッチ 2、ワンタッチ 3**にタッチするとページを切り替えることができます。
- **【機能】**にタッチするとワンタッチダイヤルの登録、削除を行うことができます。(→ P.259, 260)

交通ナビから電話をかける

1 【交通ナビ】にタッチする (→ P.250)



交通・ナビ関連メニューが表示されます。

【JAF】	JAF 全国共通代表電話番号に電話をかけることができます。(→ P.252) ほかの施設を検索することはできません。
【道路交通情報センター】	道路交通情報センター全国共通代表電話番号に電話をかけることができます。(→ P.252) ほかの施設を検索することはできません。
【メモリ地点】	メモリ地点に設定した電話番号に電話をかけることができます。(→ P.253)
【目的地】	目的地の電話番号を検索し、電話をかけることができます。(→ P.253)

JAF または道路交通情報センターの施設情報から電話をかける

1 【JAF】または【道路交通情報センター】にタッチする



JAF または道路交通情報センターの全国共通代表電話番号が表示されます。

2 電話にタッチする



相手先に電話が発信されます。

メモリ地点から電話をかける

- 1 **【メモリ地点】にタッチする**
(→ P.252)
- 2 **リスト項目から相手先を選んで**
タッチする



- 3 **☎にタッチする**



▼
相手先に電話が発信されます。

 **インフォメーション**

- ・ **【ソート】** にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとリスト項目を並べ替えることができます。

【マーク順】 メモリ地点のマーク順に並べ替えます。

【登録順】 登録順に並べ替えます。

- ・ **【地図】** にタッチすると、メモリ地点の地図画面が表示されます。

目的地から電話番号を検索し電話をかける

- 1 **【目的地】にタッチする**
(→ P.252)

 **インフォメーション**

- ・ 目的地が複数の場合は、目的地リスト画面が表示されます。リスト項目から相手先を選んでタッチしてください。

- 2 **☎にタッチする**



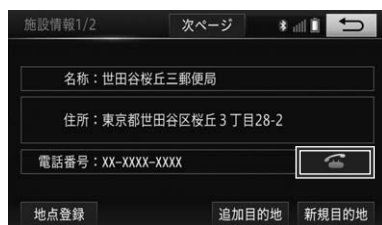
▼
相手先に電話が発信されます。

地図に登録された電話番号にかける

検索した施設情報に収録されている電話番号や、メモリ地点に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 場所を探して (→ P.68)、施設の詳細情報 (→ P.76) を表示させる

2 にタッチする



登録されている電話番号に発信されます。

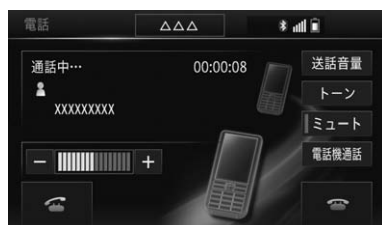


インフォメーション

- 検索方法や施設によって、操作できない場合があります。

通話中メニューの操作

通話中は、通話中メニューが自動的に表示され、受話音量の調整やハンズフリー機能の ON/OFF、電話を切る操作を行うことができます。



【送話音量】	送話音量画面が表示されます。－4～4の範囲で送話音量を設定できます。工場出荷時の値は「±0」です。 【－】 にタッチすると送話音量を下げます。 【＋】 にタッチすると送話音量を上げます。
【トーン】	ダイヤルトーン画面が表示されます。数字、*、#を入力できます。
【ミュート】	タッチすることによって送話のミュート機能を ON/OFF します。ON のときはスイッチ横のインジケータが点灯します。OFF のときはインジケータが消灯します。
【電話機通話】 / 【ハンズフリー通話】	タッチすることによってハンズフリー通話と電話機通話を切り替えます。
	電話を切ります。
【－】 / 【＋】	受話音量を 0 ～ 16 段階の範囲で設定できます。工場出荷時の設定は「8」です。 【－】 にタッチすると受話音量を下げます。 【＋】 にタッチすると受話音量を上げます。



インフォメーション

- 電話機通話 / ハンズフリー機能を OFF にすると、本機と携帯電話とのワイヤレス接続が切断される場合があります。
- 携帯電話で電話を切ることもできます。
- 受話音量を「0」に設定された場合、次回通話時には設定前の音量に戻ります。
- ミュートを ON に設定された場合、次回通話時には OFF に戻ります。

1. ハンズフリーの詳細設定を変更する

着信割り込み表示画面の設定

着信を案内する画面表示の設定ができます。
工場出荷時は「全画面」です。

1 **MENU** を押し、**【設定・編集】**－**電話** にタッチする
(→ P.51)

2 **【電話詳細設定】** にタッチする
(→ P.52)

3 **【着信割り込み表示】** にタッチし、**【全画面】** または **【簡易】** にタッチする



電話帳／履歴転送確認表示の設定

電話帳／履歴データ自動転送完了時の確認表示の設定ができます。
工場出荷時は「する」です。

 インフォメーション

- この機能は PBAP 接続 (→ P.129) に対応している携帯電話だけが対象となります。

1 **MENU** を押し、**【設定・編集】**－**電話** にタッチする
(→ P.51)

2 **【電話詳細設定】** にタッチする
(→ P.52)

3 **【電話帳／履歴転送確認表示】** にタッチし、**【する】** または **【しない】** にタッチする



電話詳細設定を初期状態に戻す

設定された機能を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 **MENU** を押し、**【設定・編集】**－**電話**－**【電話詳細設定】** にタッチする

2 **【初期状態】** にタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 **【はい】** にタッチする

電話詳細設定が初期化されます。

3. ハンズフリーの設定を変更する

1. ハンズフリーの詳細設定を変更する

音の設定

携帯電話の受話音量、着信音量、送話音量を調整することができます。

1 【音設定】 にタッチする (→ P.52)

2 調整したい項目にタッチする



3 【+】 または 【-】 にタッチして音量を調整する



4 ↶ にタッチする



インフォメーション

- 通話中は、着信音量を調整できません。

音の設定を初期状態に戻す

音の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 【音設定】 にタッチする (→ P.52)

2 【初期状態】 にタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 【はい】 にタッチする



音の設定が初期化されます。

2. 携帯電話情報を設定する

電話帳データの読み込みや削除、各履歴の削除を行うことができます。

1 MENUを押し、[設定・編集] - 電話にタッチする (→ P.51)

2 [電話帳設定] にタッチする



3 項目を選んでタッチする



【電話帳編集】	電話帳データの転送、削除を行うことができます。 (→ P.257, 259)
【ワンタッチダイヤル編集】	ワンタッチダイヤルの登録、削除を行うことができます。 (→ P.259, 260)
【履歴削除】	発信履歴または着信履歴の削除を行うことができます。 (→ P.261)

電話帳データを転送する

電話帳機能を使用するには、事前に携帯電話に登録されている電話帳データを本機に読み込んでおいてください。携帯電話から最大 2,500 件のデータを本機に読み込むことができます。



インフォメーション

- 1 件につき 3 つの電話番号まで保存可能です。
- お使いの携帯電話によっては、電話帳データの転送に対応していない場合があります。
- 名称、電話番号のデータを読み込むことができます。
- 電話帳データは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り替える (→ P.131) と、表示される電話帳の内容も切り替わります。
- 読み込んだデータは本機内蔵のメモリーに保存されます。
- 読み込んだ電話帳データを編集することはできません。
- 電話帳データの削除方法は、→「**電話帳データを削除する**」(P.259) を参照してください。
- 1 人あたり複数の電話番号を登録できる携帯電話では、電話番号の登録状態や機種によって、全データを読み出せない場合があります。

1 【電話帳編集】にタッチする (→ P.257)

2 【転送】にタッチする



OPP 接続に対応した携帯電話の場合：
すでに読み込んだデータがある場合は、
【上書き】または【追加】を選んでください。

PBAP 接続に対応した携帯電話の場合：
【電話帳転送】にタッチする

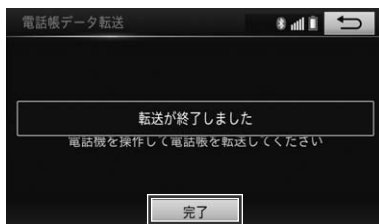


インフォメーション

- 【電話帳／履歴自動転送】が【しない】の場合は、確認メッセージが表示されます。【はい】にタッチすると、PBAP 接続で電話帳転送を行い、次回起動後自動転送が始まります。【いいえ】にタッチすると OPP 接続での電話帳転送になります。

3 携帯電話を操作して、電話帳データを転送する

4 【完了】にタッチする



【中止】にタッチすると電話帳データの転送を中止します。



転送完了のメッセージが表示され、ダイヤル画面または各設定、編集画面に戻ります。



インフォメーション

- 電話帳データの読み込みを行う際は、接続されている携帯電話から電話帳データの転送の操作（携帯電話により異なりますが、全件転送、1 件転送などがあります）が必要です。
- PBAP 接続 (→ P.129) に対応した携帯電話の場合、【電話帳転送】にタッチした時点で、携帯電話側の操作なしで本機に電話帳データが読み込まれます。お使いの携帯電話によってはアクセス許可を認めるかの表示が携帯電話側に表示されます。また PBAP 接続の場合には自動で上書き読み込みされます。追加読み込みはできません。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリー件数は、携帯電話によって異なります
- お使いの携帯電話によっては携帯電話のシークレット機能により登録された電話帳データも読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号も電話帳データと同時に読み込まれる場合があります。

電話帳データを削除する

不要になった電話帳データを削除することができます。



インフォメーション

- 本機に記録されている電話帳データが削除されます。接続した携帯電話側の電話帳データおよび履歴情報は削除されません。
- 削除可能な電話帳データは、現在本機に接続中の携帯電話から読み込んだもののみです。接続する携帯電話を切り替える(→P.131)と、削除可能な電話帳データの内容も切り替わります。
- 電話帳データの削除中は、電話帳データの転送機能(→P.257)が使用できません。
- PBAP 接続(→P.129)に対応した携帯電話の場合、**【電話帳／履歴自動転送】**を**【する】**に設定しているときは、電話帳データを削除できません。削除する場合は、設定を**【しない】**に変更してから、削除の操作をしてください。

1 【電話帳編集】にタッチする (→ P.257)

2 【削除】にタッチする



3 削除したいリストにタッチする



インフォメーション

- 複数のリストを削除する場合、続けてリストにタッチします。
- **【全選択】**にタッチするとすべてのリストが選択されます。**【全選択解除】**にタッチすると、選択されているリストすべてを解除します。

4 【削除】にタッチする



確認メッセージが表示されます。

5 【はい】にタッチする



選んだ電話帳データが削除されます。



インフォメーション

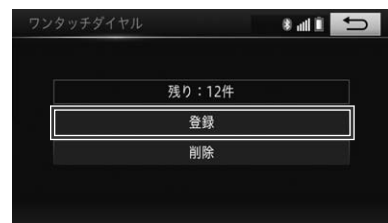
- 電話帳データの削除には、数分かかる場合があります。
- 電話帳データの削除中は、本機の電源をOFF(エンジンスイッチをOFF)にしないでください。選択したデータが削除されない場合があります。

ワンタッチダイヤルを登録する

電話帳に登録している任意の電話番号をワンタッチダイヤルに最大18件まで登録することができます。

1 【ワンタッチダイヤル編集】にタッチする(→ P.257)

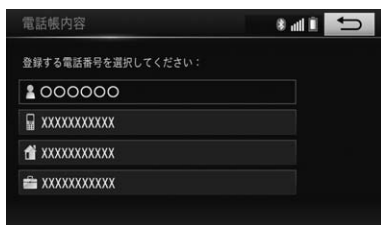
2 【登録】にタッチする



3 登録したいリストにタッチする



4 登録したい電話番号にタッチする



5 登録したいワンタッチダイヤル番号にタッチする



▼
選んだ電話番号が登録されます。



インフォメーション

- 登録済みのワンタッチダイヤル番号にタッチすると置き換え確認メッセージが表示されます。ワンタッチダイヤルに置き換える場合は、**【はい】**にタッチしてください。
- ワンタッチ1**、**ワンタッチ2**、**ワンタッチ3**にタッチするとページを切り替えることができます。
- 自動転送で携帯電話側の電話番号が削除されても、ワンタッチダイヤルの電話番号は削除されません。

ワンタッチダイヤルを削除する

1 【ワンタッチダイヤル編集】にタッチする (→ P.257)

2 【削除】にタッチする



3 削除したいワンタッチダイヤルにタッチする



4 【削除】にタッチする

▼
確認メッセージが表示されます。

5 【はい】にタッチする

▼
選んだワンタッチダイヤルが削除されます。



インフォメーション

- 【全選択】**にタッチするとすべてのワンタッチダイヤルが選択されます。**【全選択解除】**にタッチすると、選択されているワンタッチダイヤルすべてを解除します。
- 複数のワンタッチダイヤルを選択することができます。

発信履歴または着信履歴を削除する



インフォメーション

- PBAP 接続 (→ P.129) に対応した携帯電話の場合、電話帳／履歴自動転送 (→ P.262) を【しない】に設定してください。
- 接続する携帯電話を切り替えると、その携帯電話を使用したときの発着信履歴は表示されなくなります。再接続すると、再度表示されます。
- 携帯電話の登録が削除された場合は、その携帯電話を使用したときの発着信の履歴も、自動的に削除されます。



インフォメーション

- 【全選択】にタッチするとすべての履歴情報が選択されます。【全選択解除】にタッチすると、選択されている履歴情報すべてを解除します。

4 【削除】にタッチする



確認メッセージが表示されます。

5 【はい】にタッチする



選んだ履歴情報が削除されます。

1 【履歴削除】にタッチする (→ P.257)

2 削除したい履歴項目を選んで タッチする



3 削除したい履歴情報にタッチする



電話帳／履歴自動転送を設定する

PBAP 接続に対応した携帯電話の場合、電話帳データと履歴を自動転送することができます。

1 【電話帳編集】にタッチする (→ P.257)

2 【転送】にタッチする



3 【電話帳／履歴自動転送】にタッチし、【する】にタッチする



自動転送設定反映のメッセージが表示されます。

1. 故障とお考えになる前に

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

症状	考えられること	処置
ハンズフリー通話時に、通話相手側で響きが大きく聞こえる。	通話相手側の声（スピーカーからの音声）がマイクに入り込んでいる。エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。	通話中に受話音量を本体のVOL-で小さくすることにより、改善できる場合があります。ただし、本機のしくみ上、完全に響き（エコー）をなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。



索引

メニュー索引

目的地メニュー	266
情報メニュー	266
電話メニュー	266
設定・編集メニュー	267

用語索引

五十音順	268
数字・アルファベット順	272

目的地メニュー

MENU > **【目的地】** > **【名称】** → P.69
【住所】 → P.70
【施設】 → P.70
【電話番号】 → P.71
【メモリ地点】 → P.72
【ジャンル】 → P.72
【マップコード】 → P.73
【目的地消去】 → P.92
特別メモリ地点 **【1】** ~ **【5】** → P.74
【履歴】 → P.74
【自宅登録】 / **【自宅に戻る】** → P.67

情報メニュー

MENU > **【情報】** > **【燃費設定】** → P.117
【エコ運転評価履歴】 → P.118
【燃費】 → P.119
【VICS】 → P.112
【ETC】 → P.244

電話メニュー

MENU > **【電話】** > **【交通ナビ】** → P.252
【接続】 → P.250
 → P.250
【電話帳】 → P.251
【ワンタッチダイヤル】 → P.252
【履歴】 → P.251

設定・編集メニュー

- MENU** > **【設定・編集】** > **ナビ**
 - > **【音量設定】** → P.134
 - 【ルート変更】** → P.91
 - 【メモリ地点登録・編集】** → P.95, 99
 - 【地図更新】** → P.201
 - 【ナビ詳細設定】** → P.123
 - 【共通設定】** → P.51
- Bluetooth**
 - > **【機器登録・接続】** → P.129
 - 【Bluetooth 詳細設定】** → P.132
 - 【共通設定】** → P.51
- 電話**
 - > **【音設定】** → P.256
 - 【電話帳設定】** → P.257
 - 【電話詳細設定】** → P.255
 - 【共通設定】** → P.51
- 運転支援**
 - > **【安全・快適走行設定】** → P.141
 - 【バックガイドモニター設定】** → P.232
 - 【共通設定】** → P.51
- メンテナンス**
 - > **【項目設定】** → P.114
 - 【共通設定】** → P.51
- ETC**
 - > **【通知設定】** → P.245
 - 【共通設定】** → P.51

五十音順

あ

明るさ	27
アフターサービス	274
案内音量	40
案内言語	45
案内表示設定	125

い

イコライザー	186
補正	187
イジェクト (ディスク)	31
一時停止	174, 176, 178, 182
色合い	27
色温度	27
色の濃さ	27
インジケーター	140
インターチェンジ (IC)	65, 79

え

英語	45
エコ運転評価	117
エコー (残響音)	248
エコ設定	41, 117
エリアプリセット	165, 171

お

オーディオ設定	186
オートハイウェイモード	64
オート放送局サーチ	171
オートリルート	88
大文字／小文字	35
音送り	28
音楽 CD	174
音声	172
音声圧縮方式	196
音声案内	86, 215
音声設定	126
音量	134, 232

か

外部音声機器	185
学習ルート探索	81
角度調整	26
画質調整	26
画面切り替え (ナビゲーション⇄AVソース)	24
画質・消メニュー	53
韓国語	45

き

キーワード検索	69
記号	37
軌跡表示	55
行選択	28
緊急警報放送 (EWS) の受信について	164
緊急情報の自動表示	111

く

黒の濃さ	27
------------	----

け

携帯電話 受ける	249
かける	250
切り替え	131
現在地画面	23, 54
検索結果画面	74
検索履歴	74

こ

広域	56
効果音	98
交差点	84
交差点案内表示	84
高精度 3D ハイブリッドシステム	148
交通規制情報	108
交通障害情報	108
交通ナビから電話をかける	252
合流案内	141
誤差	149

個人情報初期化.....	143
コントラスト（明暗）.....	27

さ

サービスエリア（SA）.....	65, 66
細街路.....	85
再生.....	174, 176, 178, 181
再探索.....	88
座標.....	62
サンプリング周波数.....	196, 197

し

市街図.....	56, 155
時間規制.....	82
市区町村名.....	70
自転車位置修正.....	137
施設記号.....	60
施設情報.....	65, 66
施設で探す.....	70
自宅	
帰る.....	67
修正.....	101
消去.....	103
登録.....	40, 67, 97
自動登録（放送局）.....	166, 170
字幕を切り替える.....	172
車速パルス.....	147, 148
車両情報.....	41, 135
車両メンテナンス.....	114
ジャンルで探す.....	72
住所で探す.....	70
修正	
自宅.....	101
特別メモリ地点.....	100
メモリ地点.....	99
渋滞オートガイド.....	89, 111
渋滞・規制情報.....	89
渋滞情報.....	108
渋滞情報表示（ハイウェイモード）.....	66
渋滞チェック.....	89, 111
縦列駐車.....	215, 226
収録データベース.....	157
受信状態.....	113
仕様.....	275

消去	
学習ルート.....	107
検索履歴.....	106
自宅.....	103
走行軌跡.....	107
特別メモリ地点.....	102
メモリ地点.....	101
目的地.....	92
詳細（地図のスケール）.....	56
情報メニュー.....	51
消耗品.....	114
ショートカットキー.....	142
初期状態（音の設定）.....	256
初期状態（電話詳細設定）.....	255
初期設定カーブ.....	187
シリアルナンバー.....	201
自立航法.....	147
人工衛星.....	147
信号機.....	64
進行方向案内.....	86
振動ジャイロセンサー.....	147

す

スキャン.....	44
スクロール.....	55
スクロール画面.....	56
図形情報（VICS 情報）.....	112
スケール.....	56
ステアリングスイッチ.....	22
スマート IC.....	65, 81
スマート IC を考慮したルート探索.....	81
スマートフォン連携機能を使う.....	121
スライド操作.....	24
ずれ（自転車位置）.....	137

せ

セーフティインフォメーション.....	63
セキュリティ機能.....	138
セキュリティ設定.....	40, 138
設定・編集メニュー.....	51
全ルート図.....	79

そ

走行軌跡解除.....	107
走行軌跡表示.....	62
ソースレベルアジャスター	189
その他の設定.....	128

た

ターンリスト.....	90
タウンページ.....	153
タッチスイッチ.....	5
タッチパネル.....	24
タブ送り	28
タブスイッチ.....	5
探索条件	79, 93

ち

地図 SD カード	7
地図データ.....	157, 201
地図で探す.....	68
地図に登録された電話番号にかける	254
地図の向き.....	58
地図表示カスタマイズ	41, 59
地図表示設定.....	124
地図への名称表示.....	100
チャンネルスキャン.....	43, 170
中国語	45
駐車場情報.....	108

つ

通行止め考慮オートリルート.....	89
通話中メニューの操作	254

て

ディスク	30, 194
データバージョン	201
テレビ	43, 167
電話帳から電話をかける	251
電話番号で探す	71
電話番号を入力して電話をかける.....	250
電話メニュー.....	51
電話を受ける.....	249
電話をかける.....	250

と

到着予想時刻.....	83
到着予想時刻表示	125
登録	
自宅	40, 67, 97, 101
特別メモリ地点.....	96
場所	95
メモリ地点	95
登録データを移行する	103
道路交通情報センター	200
道路交通情報通信システム	108
特別メモリ地点	
修正	100
消去	102
登録	96
特別メモリ地点で探す	74
時計表示	128
都市高速道路.....	84
都道府県名.....	70
トラック	174, 176, 182, 194

な

ナビゲーション画面.....	24
ナビ詳細設定.....	123
ナビメニュー.....	50

に

二重音声	172
日本語	45

ね

燃費	117
燃費設定	117
燃費履歴	119

の

ノースアップ.....	58
-------------	----

は

パーキングエリア (PA)	65, 66
ハートフル音声	126
ハイウェイモード	58, 64, 65
場所	
探す	68
登録	95
パスワード	103, 139
パスワード初期化	105
パスワード設定	103
バックガイドモニター	204, 241
バックモニター	235
発信者番号通知サービス	249
発着信履歴から電話をかける	251
ハンズフリー通話	248

ふ

フェーダー／バランス	188
フォルダー	195
副音声	172
踏切案内	141
プリセット	165
プリセットチャンネル	167

へ

並列駐車	209, 212
ページ送り	28
別道路切替	128, 137
ヘディングアップ	58
ヘディングアップ (3D)	58

ほ

放送局 (VICS 情報)	112
放送局 (ワンセグ放送)	172
ポータブルオーディオプレーヤー	185
他のルート	80
本体スイッチ	5, 24

ま

マップコード	73
マップコードから探す	73
マップマッチング	148
マニュアルプリセット	165, 168
マルチセッション	195

め

名称で探す	69
メモリ地点	
修正	99
消去	101
登録	95
メモリ地点で探す	72

も

目的地で探す	68
目的地メニュー	50
文字情報 (VICS 情報)	112
文字入力	34
修正	35
スペース	36
全角	34
挿入	36
濁点・半濁点・大文字／小文字	35
半角	34
無変換・変換	36

ゆ

有料道路	64
------------	----

ら

ラウドネス	188
ラジオ	165
ランダム再生	175, 177, 180, 183

り

リスト画面.....	28
リセット	46
立体交差	84
リピート再生.....	175, 177, 180, 183
旅行時間情報.....	108

る

ルート案内.....	83
ルート学習結果の消去	107
ルート系設定.....	127
ルート情報.....	79
ルート探索.....	78
ルートを変更.....	91

れ

レーン案内.....	141
------------	-----

わ

ワイドモード.....	173
ワンセグ	43, 167
ワンタッチダイヤルから電話をかける ...	252

数字・アルファベット順**数字**

2 カ国語放送.....	172
5 ルート	80
50 音リスト.....	28

A

A2DP.....	181
AAC.....	197
ALBUM RANDOM	183
ALBUM REPEAT.....	183
ALL RANDOM.....	183
ALL REPEAT	183
ASL.....	189
ATOK	34
AUX.....	185, 193
AVRCP	181
AV ソース画面.....	24
AV プロファイル	181

B

Bluetooth Audio.....	181
Bluetooth 設定をする	129
Bluetooth の設定.....	42
Bluetooth プロファイル	129

C

CD.....	174, 191, 194
CD-EXTRA	194
CD-R/RW.....	176, 191

D

DISC REPEAT.....	177
------------------	-----

E

ETC カード有効期限.....	66
ETC 情報.....	244

F

FILE REPEAT	180
Flat	187
FM-VICS	108
FM 多重放送	112, 155
FOLDER REPEAT	177, 180

G

GPS	147
-----------	-----

I

IC	65
ISO9660	195

J

JAF	200
-----------	-----

M

MEDIA REPEAT	180
MP3	176, 191, 196
MPEG2	197
MPEG4	197

N

Natural	187
---------------	-----

P

PA	65
PIN コード	130
Powerful	187

Q

QUICK SETUP	39
-------------------	----

S

SA	65
SD カード	5, 10, 32, 178, 193
SD メモリーカード	7
Super Bass	187

T

T-Connect	122
TILT・EJECT メニュー	53
TRACK REPEAT	177, 183

V

VICS (Vehicle Information & Communication System)	108
VICS 交通規制考慮ルート探索	82
VICS 情報	108
地図	108
VICS センター	155
VICS 放送局選択	113
VICS マーク	111
Vocal	187

W

WAV	197
Windows Media Audio	196
Windows Media Audio 9 Lossless	196
Windows Media Audio 9 Professional	196
Windows Media Audio 9 Voice	196
Windows Media Player	196
WMA	176, 191, 196

保証について

1. 保証の内容

トヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場でトヨタ車にお取付けしたトヨタ純正商品に材料、又は製造上の不具合が発生した場合、下記に示す期間と条件に従ってこれを無償修理いたします。

(以下、この無償修理を保証修理といいます。)

保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取外した不具合部品はトヨタの所有となります。

2. 保証の期間、受け方

(1) 保証期間

保証修理を受けられる期間は、商品をトヨタ車にお取付けした日をご使用開始日として起算し3か年間とします。ただし、その期間内でも走行距離が60,000kmまでとします。

(2) 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合はトヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場へ自動車に取付けた状態でお持ちいただき、保証修理をお申しつけください。

3. 保証しない事項

(1) 保証期間内でも、下記に起因する不具合は保証修理いたしません。

- ① トヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場以外での取付け、修理およびトヨタが認めていない改造など。
- ② 取扱書に示す取り扱い方法と異なる使用及び不適切な保管などおよび地震、台風、水害などの天災並びに事故、火災。

(2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

- ① 消耗部品および油脂類など。(ヒューズ、各種電球など。)
- ② 商品を使用できなかった事による不便さ及び損失など。

4. 保証の適用

日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

5. その他

保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買いあげの販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

◆ 共通部

使用電圧	13.2 V DC
	(10.5 V ~ 16.0 V 使用可能)
最大消費電流	15 A
使用温度範囲	- 20 °C ~ + 65 °C

◆ ナビゲーション本体 (GPS 部)

受信方式	マルチチャンネル受信方式
------------	--------------

◆ モニター部

画面サイズ	7.0 型ワイド VGA
画素数	1,152,000 画素
	[水平 800 X 垂直 480 X 3 (RGB)]
方式	TFT アクティブマトリクス方式

◆ オーディオ部

最大出力	40 W x 4
負荷インピーダンス	4 Ω x 4
イコライザー	
(5 バンドグラフィックイコライザー)	
周波数	100 Hz、315 Hz、1.25 kHz、 3.15 kHz、8 kHz
調整幅	± 12 dB (2 dB/step)

◆ CD プレーヤーメカ部

対応ディスク	CD-ROM、CD-DA、 CD-R/RW
デコーディングフォーマット	
MP3	MPEG-1,2 AUDIO LAYER-3
WMA	Windows Media Audio ver.7, 8, 9 (2ch audio)

◆ FM チューナー部

受信周波数帯域	76.0 MHz ~ 90.0 MHz
音声	ステレオ

◆ AM チューナー部

受信周波数帯域	522 kHz ~ 1629 kHz
音声	モノラル

◆ ワンセグチューナー部

放送方式	地上デジタル放送方式 (日本)
受信チャンネル	470 MHz ~ 710 MHz (13ch ~ 52ch)

◆ AUX 部

音声入力レベル	1 Vp-p
---------------	--------

◆ SD カード部

最大メモリー容量	256 GB
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT
デコーディングフォーマット	
MP3	MPEG-1,2,2.5 AUDIO LAYER-3
WMA (ASF)	Windows Media Audio ver.7, 8, 9 (2ch audio)
AAC	iTunes ver. 7.6 (AAC-LC)
WAV	LPCM

◆ Bluetooth 部

Bluetooth バージョン	Bluetooth3.0+EDR
----------------------	------------------

◆ 外形寸法

本体	205.5 mm (W) X 104 mm (H) X 177 mm (D)
----------	---

◆ 質量

本体	2.34 kg
----------	---------

◆ 付属品

取付キット	1 式
取扱書	1 冊

- ・本製品は、電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。



㊞ D13-0023001

㊞ 007-AB0146

- ・Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

- ・本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

- ・MP3 とは「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送*で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送*で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

* 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

- ・iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。



- ・「Made for iPhone」とは、iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

- ・  は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

- ・SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。



- ・Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。



- ・「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。



- ・「マップコード」および「MAPCODE」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- ・本製品は NaviCon[®] と smart nAVVi Link に対応した機種です。
- ・「NaviCon[®]」は株式会社デンソーの商標または登録商標です。
- ・smart nAVVi Link は、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社の商標です。
- ・「Google」、「Android」、「Google Play」は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- ・この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。
- ・Entier（エンティア）は、株式会社日立製作所の日本国及びその他の国における商標です。
 1. 最終需要家は、特定の 1 台の装置にのみ添付ソフト複製物を複製できるものとします。
 2. 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を第三者に対し、有償であると無償であるを問わず、譲渡、使用許諾その他の方法で使用させてはならないものとします。

3. 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を逆アセンブル若しくは逆コンパイル又は改変することはできないものとしします。
4. 最終需要家は、第 1 項に定める場合を除き、添付ソフト複製物の全部若しくは一部を複製し、又は他のプログラムと結合してはならないものとしします。
5. 最終需要家が添付ソフト複製物の全部若しくは一部を単独で又は他の製品と組み合わせ、直接又は間接に次の各号のいずれかに該当する取扱いをする場合、最終需要家は、「外国為替及び外国貿易法」の規制及び米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続をとるものとしします。
 - (1) 輸出するとき。
 - (2) 海外へ持ち出すとき。
 - (3) 非居住者へ提供し、又は使用させるとき。
 - (4) 前 3 号に定めるほか、「外国為替及び外国貿易法」又は外国の輸出関連法規に定めがあるとき。

注 1：上記の「最終需要家許諾条項に記載すべき事項」の内容については、第 5 条第 3 項及び第 4 項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「本件装置用組込用ランタイム」に、第 6 条第 2 項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「結合添付ソフトウェア」にそれぞれ読み替えるものとしします。

注 2：第 6 条第 1 項第 3 号又は同条第 2 項第 2 号の規定に基づき添付ソフト改良版に係る最終需要家許諾条項を本別紙に従い甲が作成する場合、本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「添付ソフト改良版」と読み替えるものとしします。

- ここでは、本製品に使われているソフトウェアの利用許諾（ライセンス）について記載しています。正確な内容を保持するため、原文（英語）を記載しています。

• bsdiff

Copyright 2003-2005 Colin Percival All rights reserved

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted providing that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

• bzip2

This program, "bzip2", the associated library "libbzip2", and all documentation, are copyright (C) 1996-2007 Julian R Seward. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
- 3. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
- 4. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Julian Seward, jseward@bzip.org bzip2/
libbzip2 version 1.0.5 of 10 December
2007

• FreeType

Portions of the software in this product are copyright 1996 - 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved. Licensed under the FreeType Project LICENSE, 2006-Jan-27. (<http://www.freetype.org/FTL.TXT>)

• libjpeg

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

• OpenGL ES 2.0, EGL 1.4

Copyright (C) Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved, Licensed under SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008), <http://oss.sgi.com/projects/FreeB/>

• rapidjson

Copyright (C) 2011 Milo Yip

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES

OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- 本製品に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。
- 弊社は、本製品に収録された地図データなどが完全・正確であること、および本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
- 本製品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- その他、製品名などの固有名詞は各社の商標又は登録商標です。

[illegible]

メモ

[illegible]

This image shows a full page of a document template designed for handwritten notes or essays. It features approximately 28 evenly spaced, thin horizontal grey lines across the entire page. There are no margins, headers, footers, or other markings present.

記号・マーク一覧

地図関連			渋滞情報関連
高速・有料道	発電所	動物園	渋滞
国道	タワー・展望台	植物園	混雑
主要地方道	灯台	水族館	順調
都道府県道	墓地	ホール・劇場	規制区間
一般道	都道府県庁	神社	入口閉鎖・通行止
細街路	市役所	寺院	速度規制
鉄道	町村役場・区役所	キリスト教会・天主堂	進入禁止
都道府県境	公民館・公立図書館	城・城跡	通行止め・閉鎖
① 国道番号	官公署	牧場	大型通行止め
① 都道府県道番号	警察署・交番	競馬場	対面通行
→ 一方通行	消防署	スーパー	片側交互通行
海・川・湖沼	病院・保健所	DIYショップ	徐行
公園・緑地・芝生など	郵便局	デパート	車線規制
施設敷地	NTT	銀行	チェーン規制
施設	学校	ホテル	凍結
駅舎	幼稚園・保育園	トヨタ店	故障車
インターチェンジ/ランプ名	自動車学校	トヨペット店	工事
交差点名	銭湯・温泉	カローラ店	作業
信号機	遊園地・テーマパーク	ネット店	事故
● 指示点	乗馬	ダイハツ	！ 障害物・路上障害
山岳	キャンプ場		入口制限
公園・庭園	ボウリング場	検索・ルート関連	入口閉鎖
工場・研究所・鉱山	スポーツ施設	G 目的地	P 駐車場（空車）
M マンション	ゴルフ場	G1 目的地1〜6	P 駐車場（混雑）
SA サービスエリア	その他スポーツ施設	■ 案内地	P 駐車場（満車）
PA パーキングエリア	野球場・スタジアム	■ 登録地	P 駐車場（閉鎖）
IC 高速入口・出口	体育館	■ 案内中ルート	P 駐車場（不明）
IC スマートICゲート	スキー場	■ 案内中ルート（細街路）	気象
P 駐車場	海水浴場		行事
道の駅	ヨットハーバー		災害
空港・民間飛行場	プール		火災
ヘリポート	モータースポーツ		V 原因/事象なし
フェリーターミナル	テニスコート		
	美術館・博物館		

※記号やマークは、ビューやスケールによって表示されない場合があります。

※実際の色と異なる場合があります。

※地図表示カスタマイズ（→P.124）の設定によって、道路や地図の色は変わります。

[ナビゲーション] 取付け記録

取付け販売店名および取付け店名	
取付け日	
取付け時走行キロ	
備 考 (修理メモ・保証継承情報など)	

販売元

トヨタ自動車株式会社

<NVF-1238ZT>

<KAMA14C> <CRA4689-A>